



**2016年下期の業種別部会長シンポジウム**

**SIMPÓSIO DOS PRESIDENTES DOS  
DEPARTAMENTOS SETORIAIS**

**CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL**

**HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)**

**前半司会**

**大久保 敦 総務・企画委員長**

**APRESENTADOR**

**Presidente da Comissão  
de Coordenação Geral/ Planejamento :**

**Atsushi Okubo**

挨拶

松永 愛一郎 会頭

**Palavras do Presidente da Câmara:**

**Aiichiro Matsunaga**

**浜口教授の略歴紹介**

**平田藤義 事務局長**

**Apresentação do Professor Hamaguchi**

**Fujiyoshi Hirata  
Secretário-Geral**

# 特別スピーチ

神戸大学経済経営研究所 教授・副所長

浜口 伸明

**Professor & Program Director,  
Research Institute for Economics and  
Business Administration (RIEB)  
Kobe University**

**Nobuaki Hamaguchi**

**金融 部会**

**井上 秀司 部会長**

**Departamento Financeiro**

**Presidente: Hideji Inoue**

# 2016年上期の回顧と下期の展望

## ～どん底ならではの戦略は？～

課題整理と対処方策

2016年8月25日(木)

## 2016年上期の回顧と下期の展望

- |             |    |
|-------------|----|
| 1. ブラジル経済動向 | 2  |
| 2. 銀行業界動向   | 17 |
| 3. 保険業界動向   | 21 |

# 1. ブラジル経済動向

### ペトロbras社を巡る 汚職捜査の進展 (1月－6月)

- 6月末時点で、警察・検察による捜査(“ラヴァ・ジャット作戦”)は、第21ステージから第30ステージまで進展(7月8日現在、第32ステージ。)
- 3月4日、連邦警察がルーラ元大統領の身柄を一時拘束する事態に(第24ステージ)。

### Moody's社ソブリン格下げ (2月)

- 米国格付機関のMoody's社は、債務状況悪化や政治的混乱に伴う財政再建の遅れの懸念から、外貨長期格付を「Baa3」から「Ba2」に格下げ実施。
- 主要格付機関3社によるブラジルソブリン格付は、いずれも「投機的水準」となった。

	2014年末		2015年末		2016年6月末	
S & P	BBB-	安定的	BB+	ネガティブ	BB	ネガティブ
Moody's	Baa2	ネガティブ	Baa3	ネガティブ	Ba2	ネガティブ
Fitch	BBB-	安定的	BB+	ネガティブ	BB	ネガティブ

### ルセフ大統領停職 (4月－5月)

- 4月17日、下院本会議にて、ルセフ大統領に対する弾劾裁判設置要請を圧倒的多数で可決。
- 5月11日、下院の決議に基づき、上院本会議にて、弾劾裁判開始を可決。これに伴い、ルセフ大統領は180日間の大統領職停止となった。

### テメル暫定政権発足 (5月－6月)

- 弾劾手続きによるルセフ大統領の職務停止(5月12日)に伴い、テメル副大統領が大統領代行に就任。テメル暫定政権への期待感から、市場センチメントは改善。
- 然乍ら、暫定政権発足から1ヶ月以内に、ペトロbras社汚職関連で、閣僚3名が辞任。
- また、弾劾手続きをリードしてきたクーニャ下院議長も収賄関連容疑による停職(7月7日、議長職辞任)で、不安定な政局が継続。

# 【参考】主要マクロ経済指標の推移と予測

金融部会

		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年 予測	備考
GDP成長率(%)		2.7	1.9	3.0	0.1	▲3.8	▲3.2	
名目 GDP	(BRL/10億)	4,143	4,806	5,316	5,521	5,904	N.A.	
	(USD/10億)	2,473	2,459	2,464	2,345	1,769	N.A.	
貿易収支(USD/10億)		29.8	19.4	2.3	▲4.1	19.7	50.0	
小売売上動向指数(%)		6.7	8.4	4.3	2.2	▲4.3	N.A.	
基礎的財政収支(BRL/10億)		129	105	91	▲33	▲116	▲170	伯国財務省発表
株価【BOVESPA】(ポイント)		56,754	60,952	51,507	50,007	43,350	N.A.	
政策金利【Selicレート】(%)		11.00	7.25	10.00	11.75	14.25	13.75	
インフレ率【IPCA】(%)		6.50	5.84	5.91	6.41	10.67	7.31	
為替レート(リアルドル)		1.8668	2.0516	2.3621	2.6576	3.9608	3.30	

出所：ブラジル中央銀行、Focus(2016年8月12日実施)、IBGE、Bloomberg

## 2016年第1四半期GDP成長率

金融部会

- 2016年第1四半期のGDP成長率は、前年同期比▲5.4%と、8四半期連続のマイナス成長。
- レアル安を背景に輸出は堅調で、前期比▲0.3%とマイナス幅が縮小するも、投資・国内消費が未だ低調であり、景気浮揚までには今しばらく時間を要する模様。

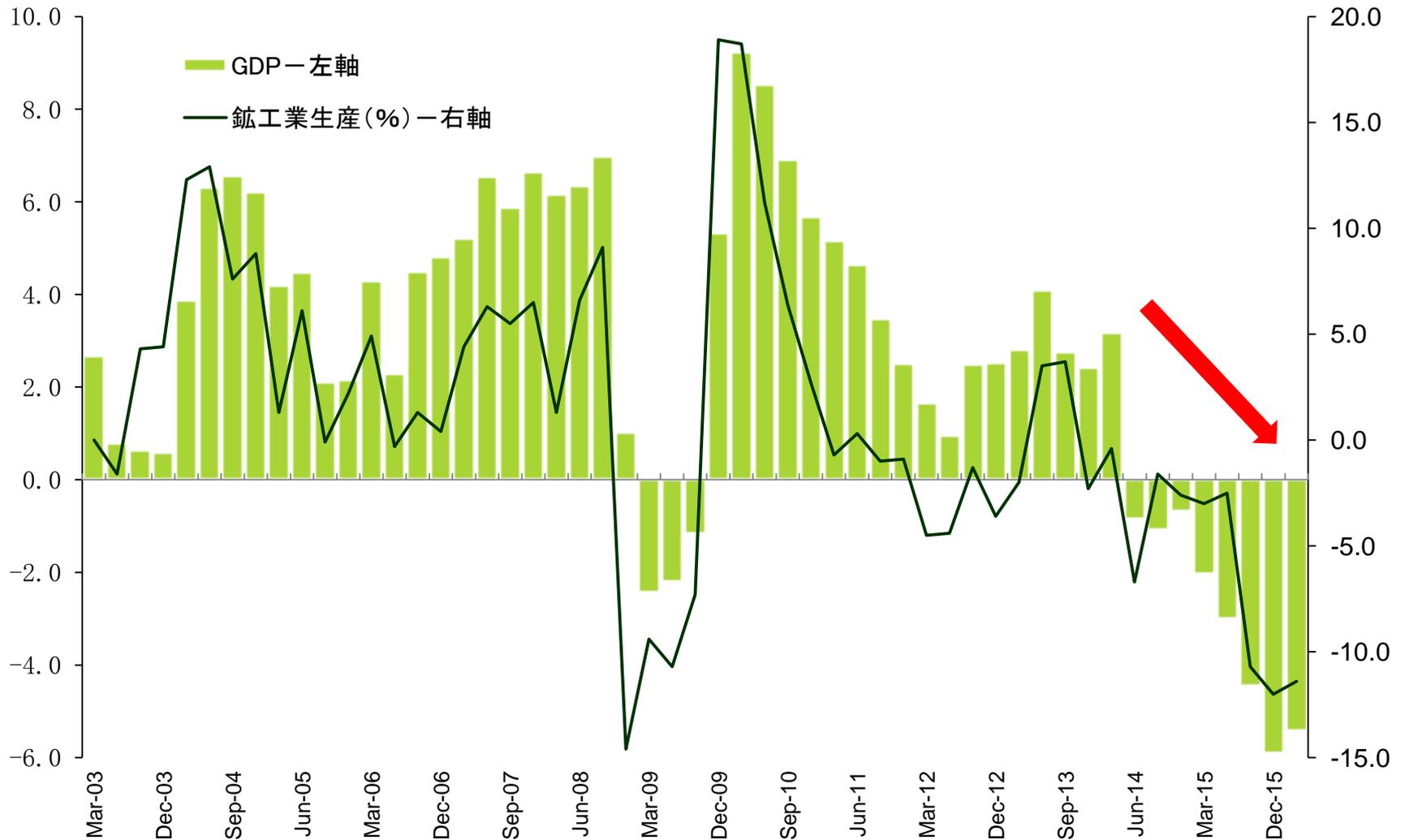
UNIT: %	2015 1Q	2015 2Q	2015 3Q	2015 4Q	2016 1Q
前年同期比	▲2.0	▲3.0	▲4.5	▲5.9	▲5.4
前期比（季節調整済）	▲1.2	▲2.0	▲1.6	▲1.3	▲0.3
当該期までの年内累計と前年比	▲2.0	▲2.5	▲3.2	▲3.8	▲5.4
当該期までの4四半期累計と その直前4四半期累計比	▲1.2	▲1.7	▲2.5	▲3.8	▲4.7

# GDP成長率および工業生産推移(四半期ベース)

金融部会

前年同期比(%)

前年同期比(%)



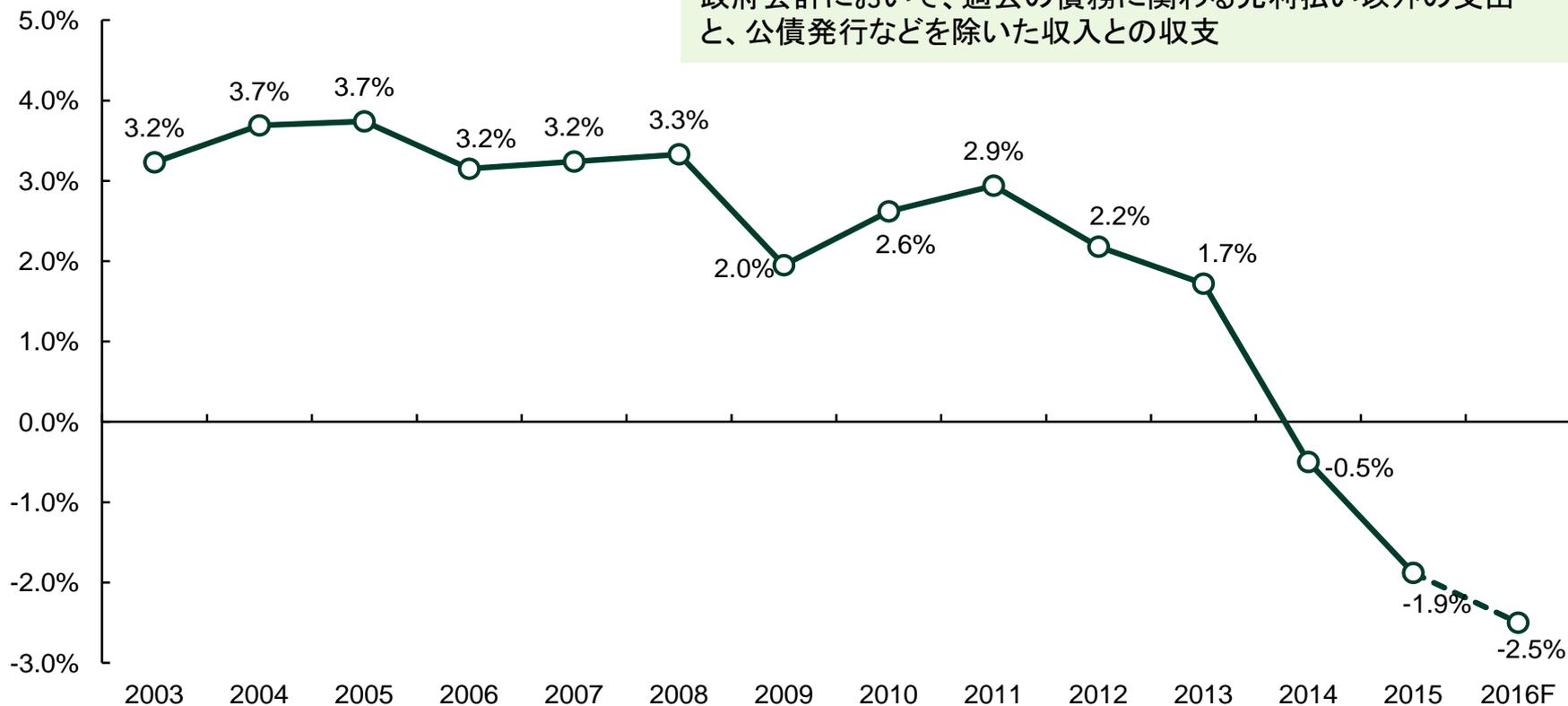
出所: Bloomberg

# 基礎的財政収支(対GDP比)

金融部会

## 基礎的財政収支

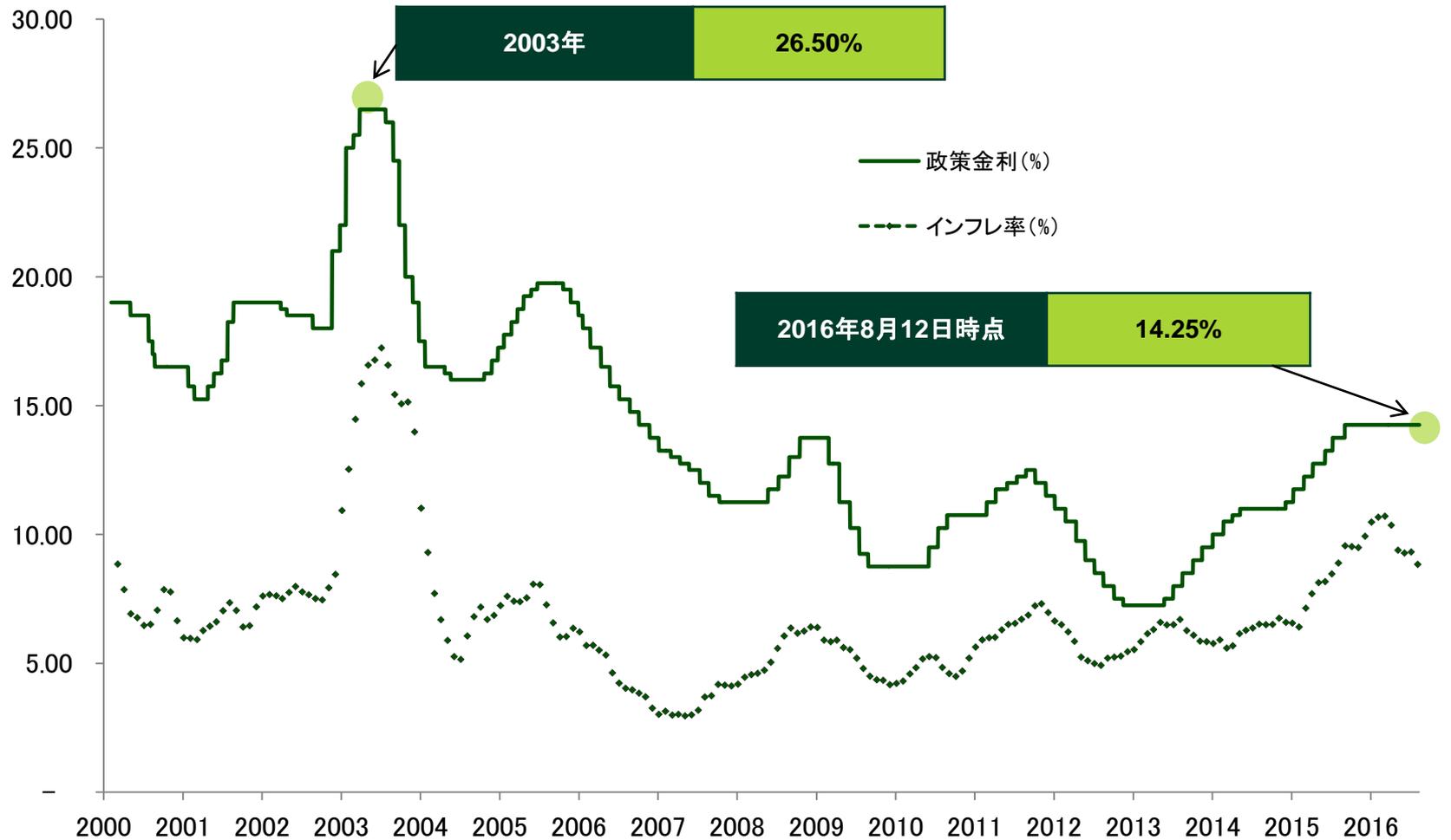
政府会計において、過去の債務に関わる元利払い以外の支出と、公債発行などを除いた収入との収支



ルーラ政権

第1次  
ルセフ政権

第2次  
ルセフ政権

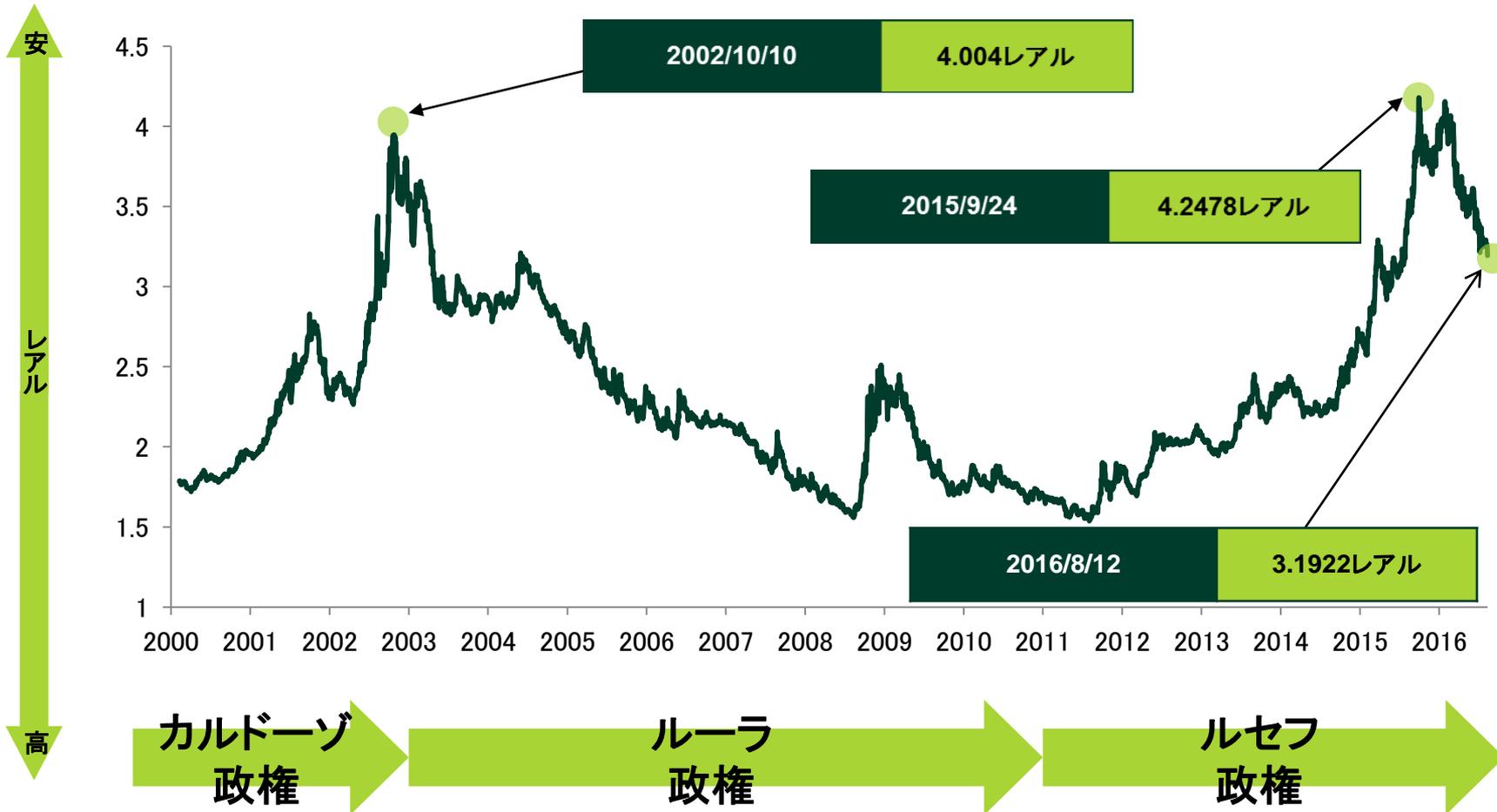


2016年6月末時点：政策金利 14.25% インフレ率 8.84%

# 為替推移①(リアル/ドル)

2000年1月から2016年8月12日迄

(リアル/ドル)



2016年6月末時点: 1ドル=3.2130リアル

# 為替推移②(円/リアル)

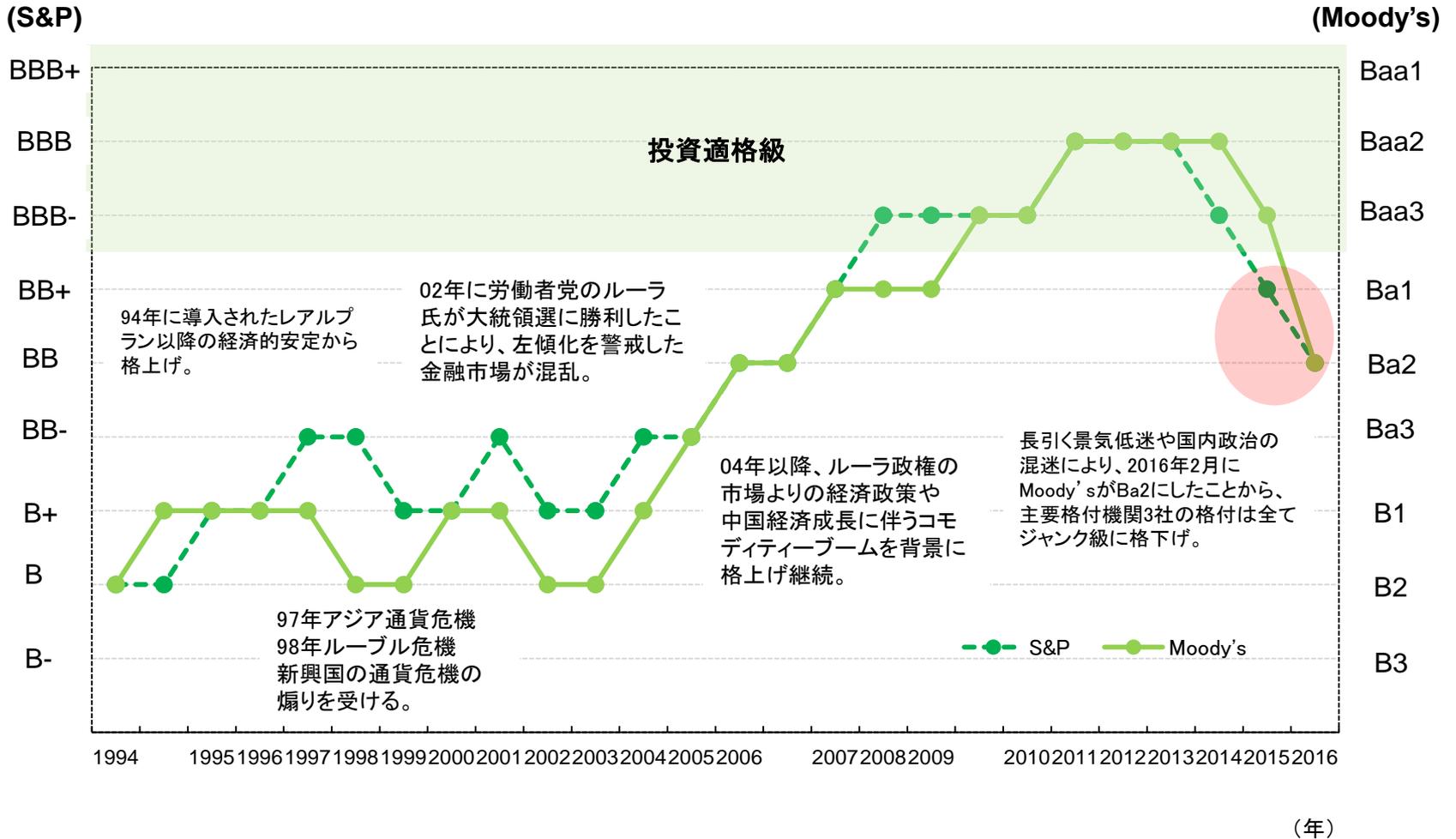
2000年1月から2016年8月12日迄

(リアル/円)



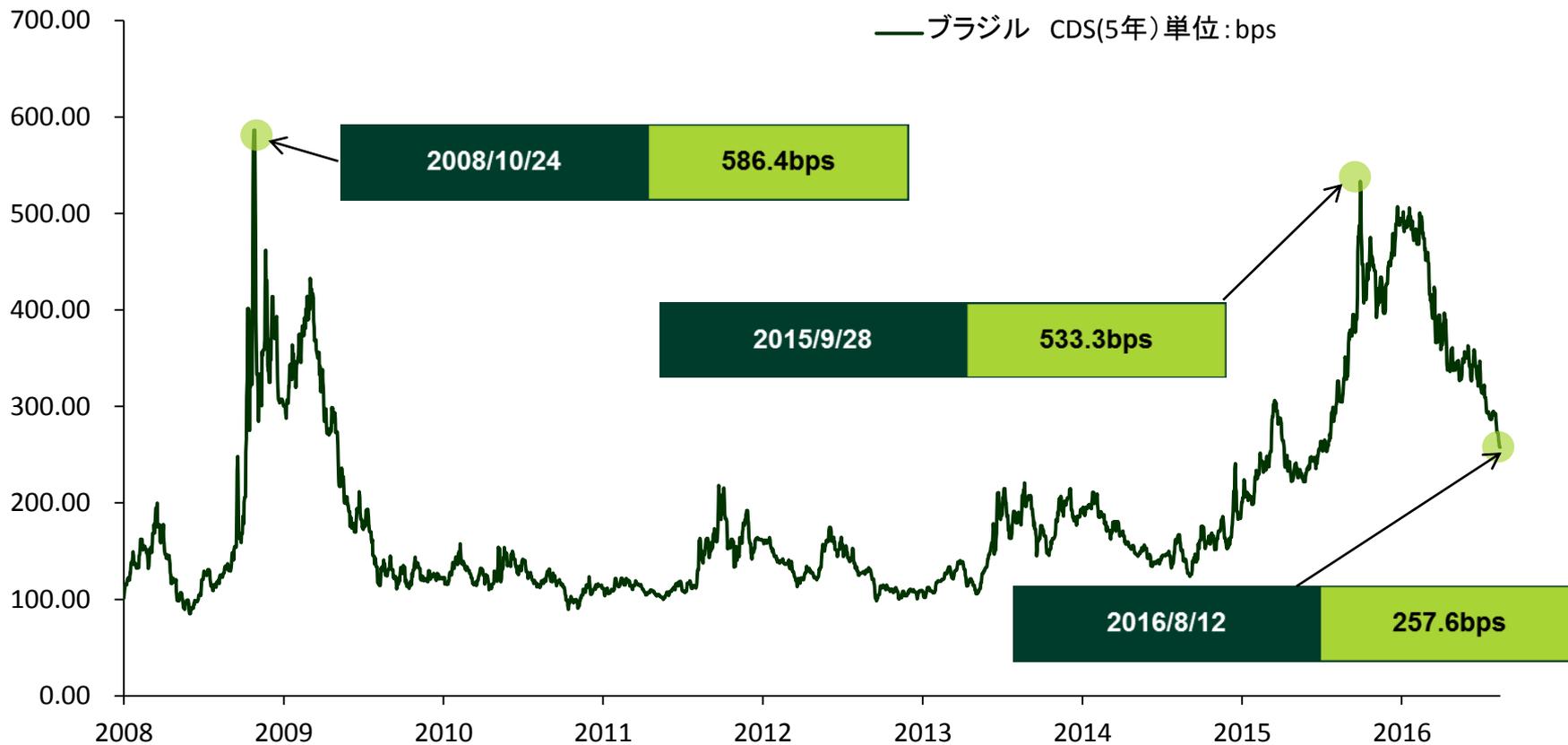
2016年6月末時点: 1リアル=32.11円

# ■ ブラジル外貨建長期国債の格付推移

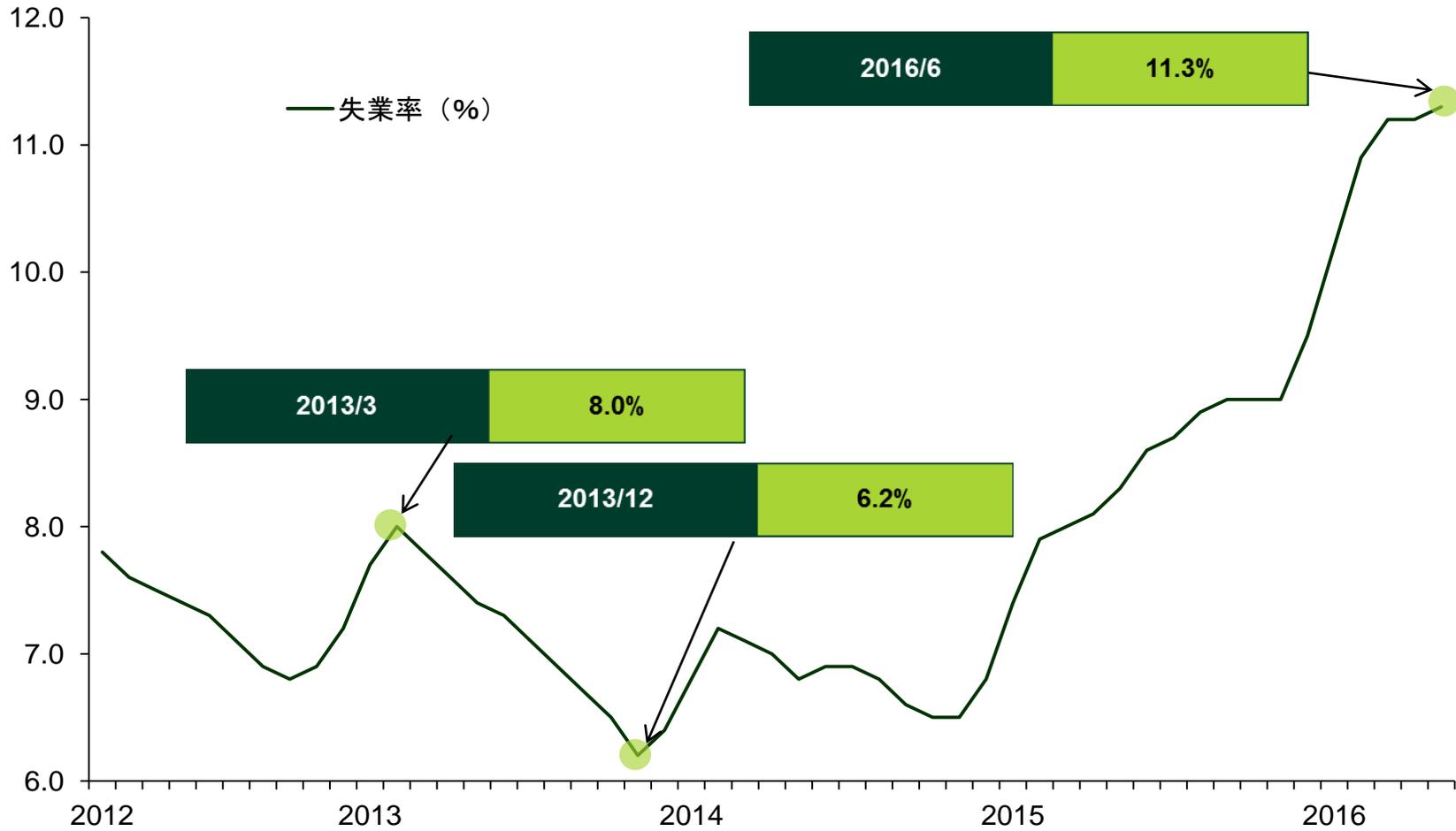


# ■ ブラジル5年物CDS推移

2008年1月から2016年8月12日迄

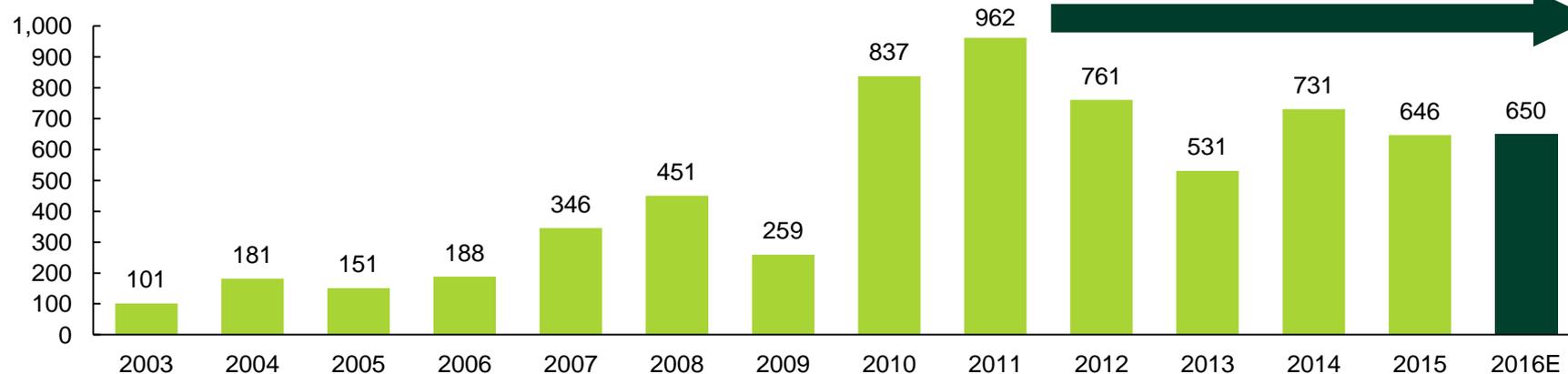


2016年6月末時点: 317.0bps



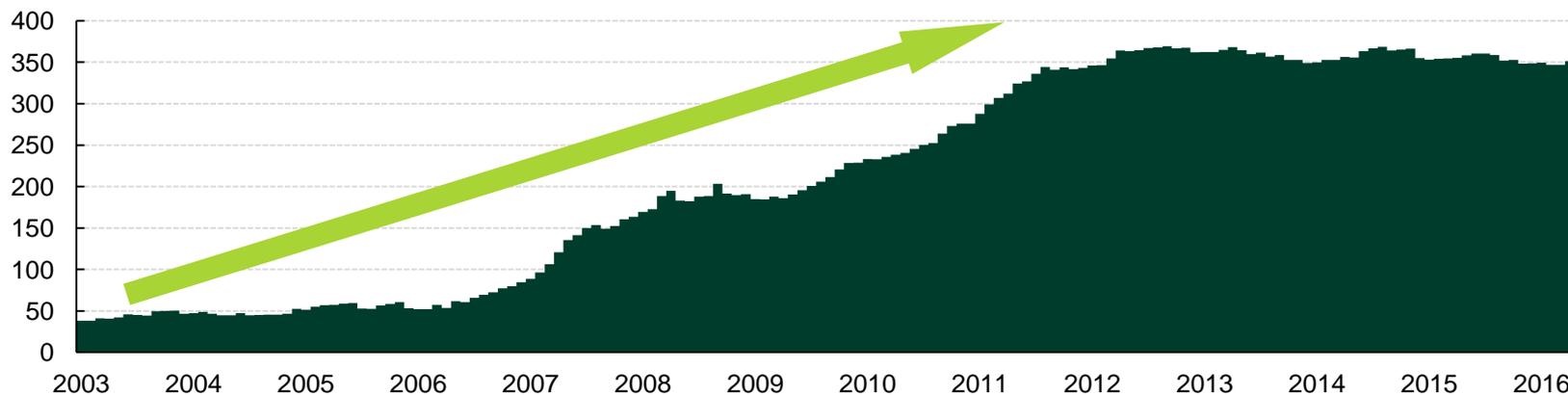
### 外国直接投資

(億ドル)



### 外貨準備高

(十億ドル)



# 2016年ブラジル経済の展望(予想値)

金融部会

指標	2015年			2016年			
	金融部会予測値 (2015年8月予測値)		実績	Focus 予測値		金融部会予測値 (レンジ)	
	メイン シナリオ	リスク シナリオ		上期 (1/22)	下期 (8/12)	上期	下期
GDP成長率 (前年比%)	▲1.7~▲2.2	▲2.0~▲3.0	▲3.8	▲3.00	▲3.20	▲2.50 ~ ▲4.00	▲2.20 ~ ▲3.80
インフレ率 (IPCA%)	9.0~9.4	8.0~10.3	10.67	7.23	7.31	6.50 ~ 9.00	6.91 ~ 7.50
年末為替レート (リアル/ドル)	3.2~3.5	3.7~4.2	3.96	4.30	3.30	4.00 ~ 4.50	3.00 ~ 3.40
年末政策目標 金利 (%)	14.25	12.0~15.0	14.25	14.64	13.75	13.25 ~ 15.25	13.25 ~ 14.25

2016年上期をどのように  
総括するか？

### 政治面

- ・ ルセフ大統領弾劾のプロセス開始から大統領職停止に至るまでの間、非常に大きな政治的混乱に見舞われた半年。
- ・ テーメル暫定政権発足以降は、未だ抜本的な財政・経済施策が打出せないままでの、政治の不透明感は払拭され、落ち着きを取戻し始めた。

### 経済面

- ・ 政治的混乱が主要因として、2年連続のマイナス経済成長。
- ・ テーメル暫定政権発足してからは、売られていたリアルも買い戻される等、同政権に対する期待感からマーケットは大きく回復。世界的低成長という環境下、ブラジルへの期待感や高金利を要因に、引続き外貨流入が継続。
- ・ 但し、実体経済回復までには至っておらず、失業率上昇、雇用の減少、実質賃金の低下から、嘗てブラジルの経済成長を牽引していた内需は未だ低調。

現在、日系企業が直面する  
課題とは？

- ・ 高金利を要因とする現地における資金調達の困難さ。
- ・ 日系企業グループ内における資金調達を行うにしても、政治経済の不透明さから支援が得難い。
- ・ ブラジルレアルのボラティリティの高さに対する対応が困難。
- ・ 受注・生産量減少に伴い、従業員削減の必要があるものの、退職金や労働裁判等の解雇に関わるコストが大きな負担。一方、回復を期待できる環境でもあるので、熟練度の高い労働者をどのように確保すべきかという課題もあり。

その課題を如何に解決すべきか？

- ・ 先ずは、関連情報を幅広く収集し、知見を蓄えていくことが重要。そのためには、日系企業間の情報共有や同業種間における個々のノウハウを共有すること等が有効。
- ・ 日本・アメリカ等の本社サイドの理解を得ることが不可欠であるものの、ブラジルに関する意思決定は、日本語・英語メディアの情報に左右されがちなので、地場における幅広い情報ソースを活用し、正確な状況認識を本社にして貰うことが第一歩。

## 2. 銀行業界動向

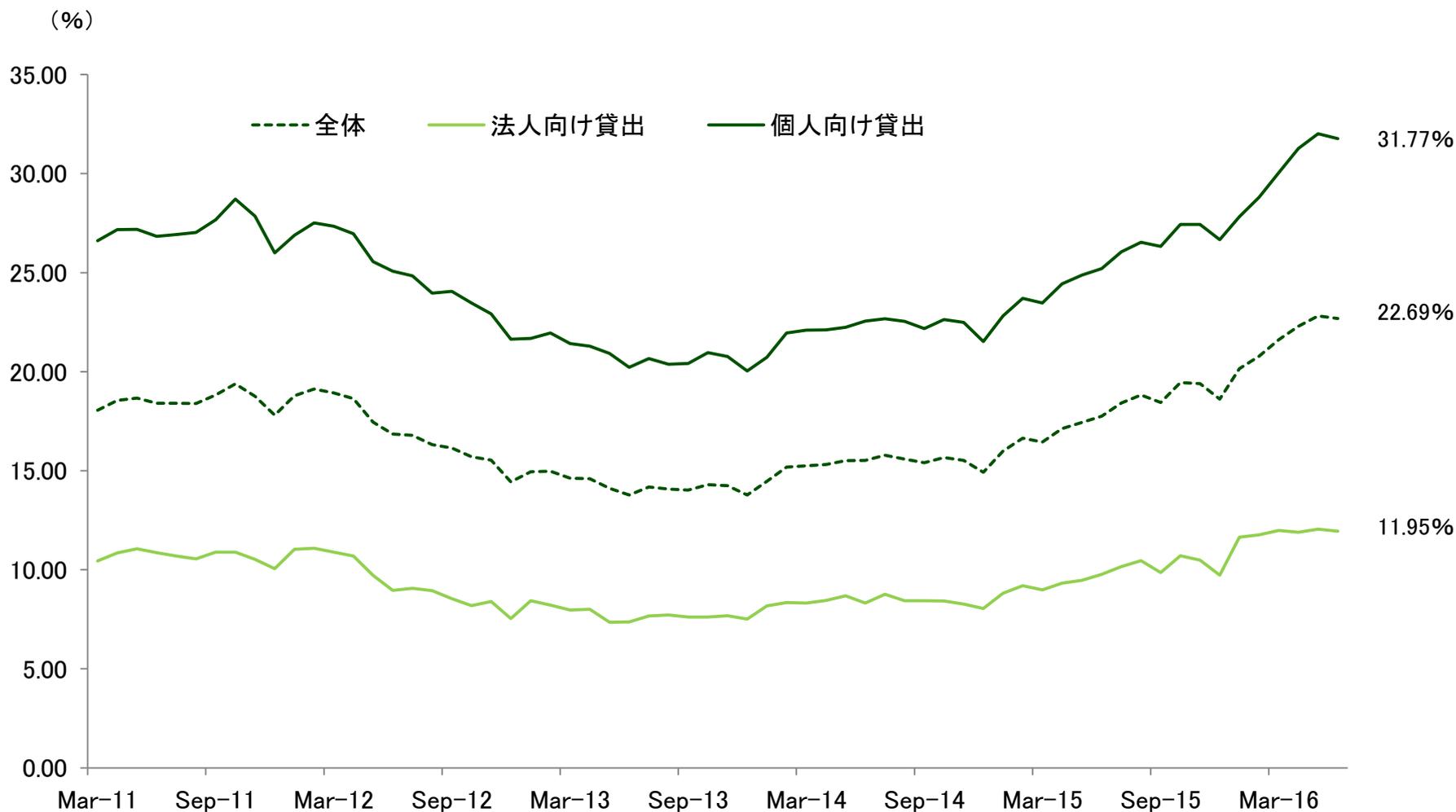
# 貸出残高推移

金融部会

(10億リアル)	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2015年 6月	2016年 6月
個人向け貸出	920	1,074	1,246	1,412	1,512	1,463	1,530
(同増加率)	18.6%	16.7%	16.0%	13.3%	7.1%	N.A.	4.6%
法人向け貸出	1,114	1,294	1,466	1,605	1,707	1,637	1,600
(同増加率)	18.9%	16.2%	13.3%	9.5%	6.4%	N.A.	-2.3%
農業		20	22	23	25	24	24
(同増加率)		N.A.	10.0%	4.5%	8.7%	N.A.	0.0%
鉱工業		610	691	738	778	803	790
(同増加率)		N.A.	13.3%	6.8%	5.4%	N.A.	-1.6%
サービス業等		664	753	844	904	810	786
(同増加率)		N.A.	13.4%	12.1%	7.1%	N.A.	-3.0%
合計	2,034	2,368	2,712	3,017	3,219	3,100	3,130
(同増加率)	18.7%	16.4%	14.5%	11.2%	6.7%	N.A.	1.0%

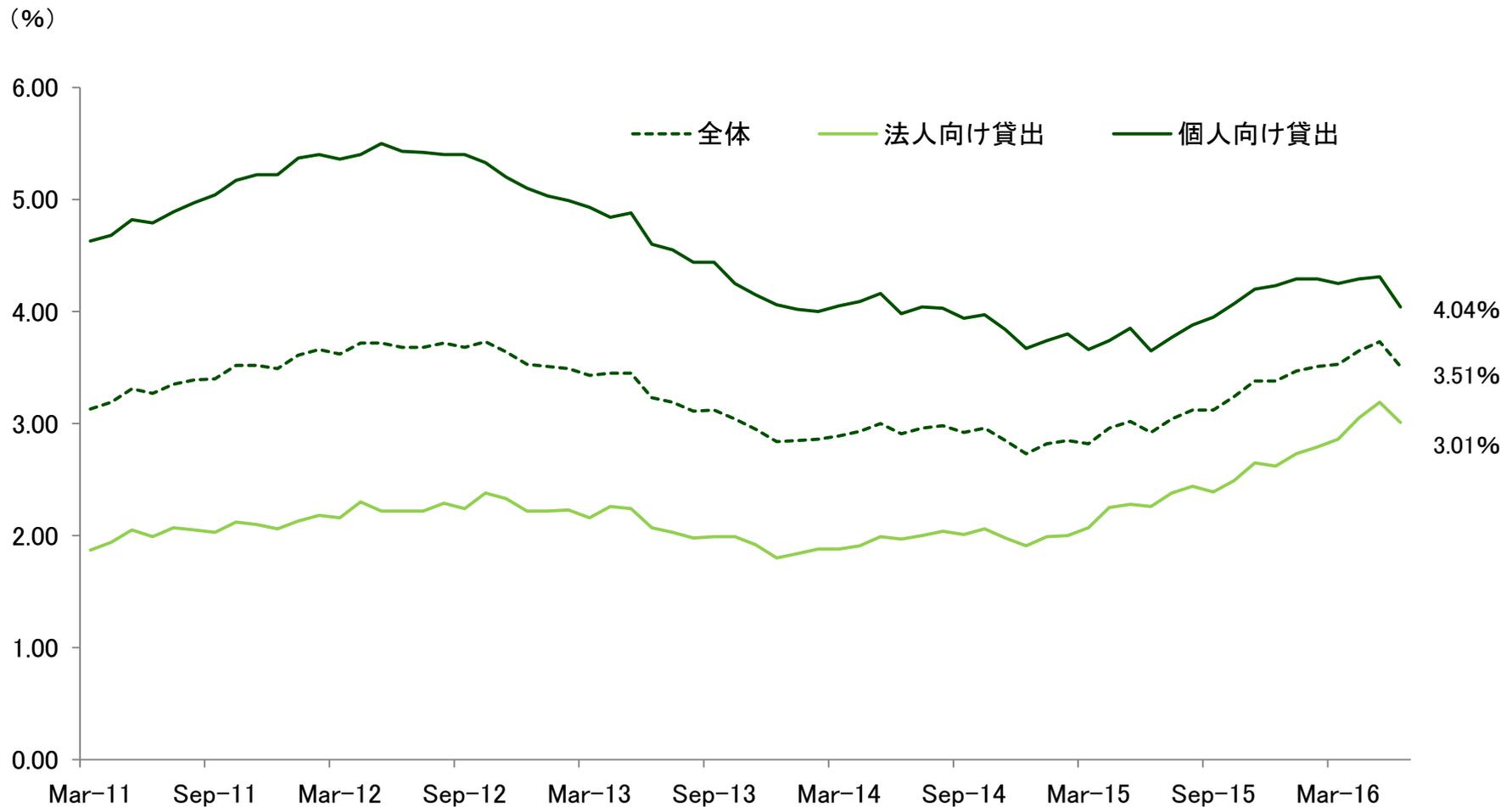
# 新規与信に対する平均スプレッド推移

金融部会



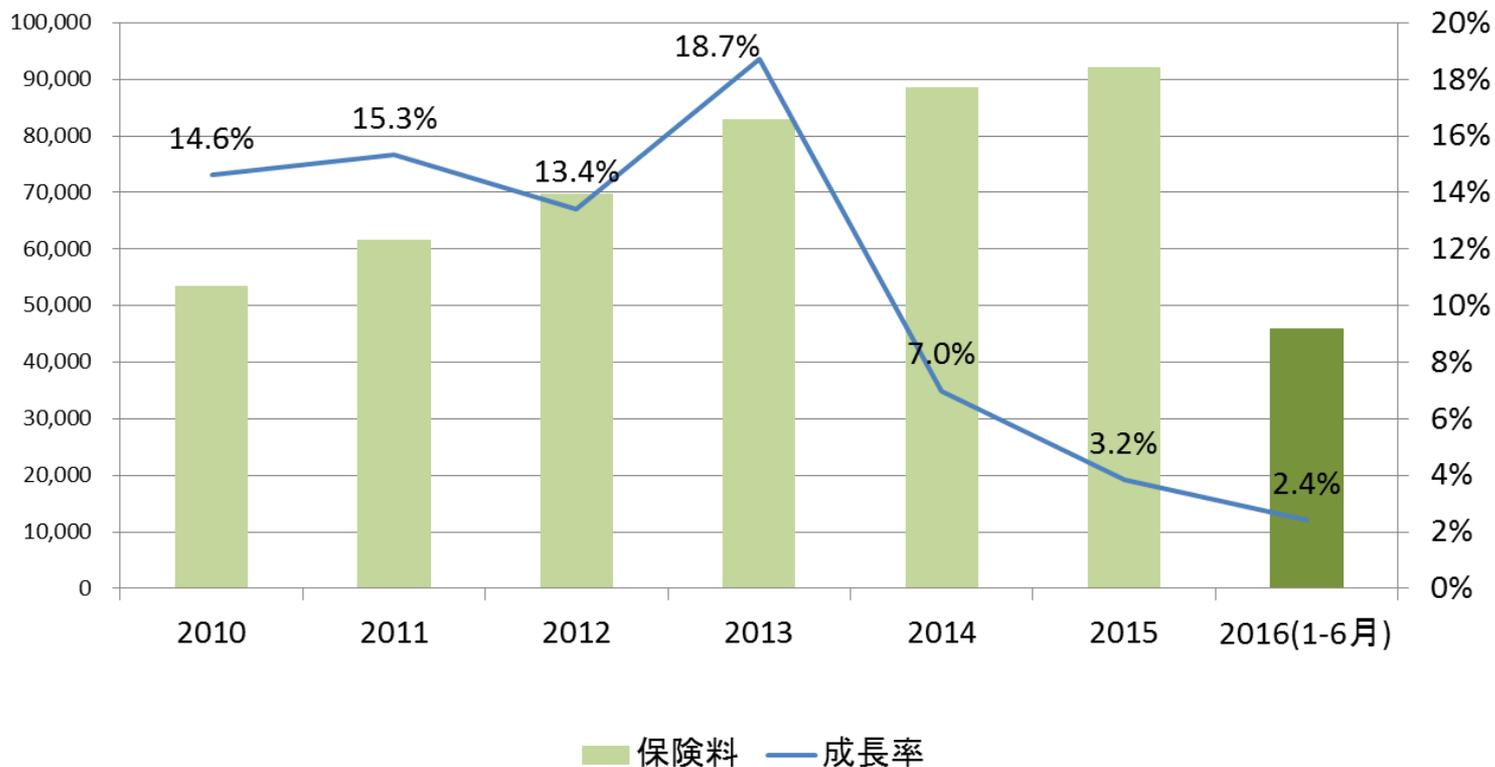
# 不良債権比率推移

金融部会



### 3. 保険業界動向

単位：百万リアル

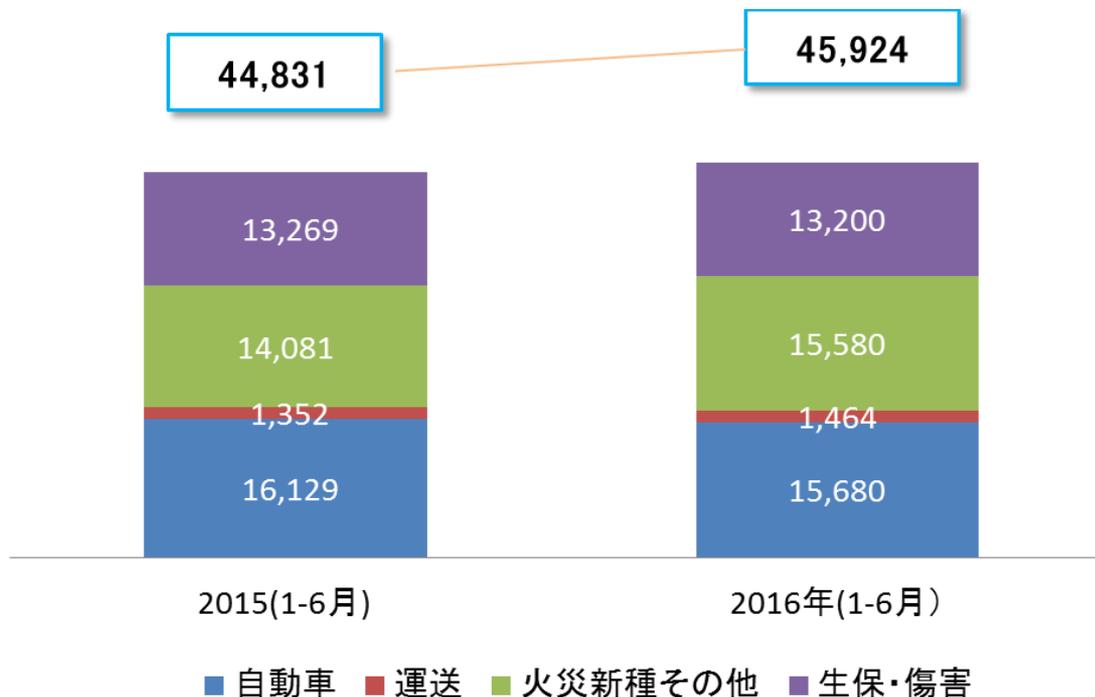


2014年以降、ブラジル経済の低迷と共に、保険マーケットの成長も鈍化。

# ■ 保険種目別 保険料収入

金融部会

単位：百万リアル



全種目計+2.4%

生命・ 傷害 ▲0.5%

火災新種・ その他 +10.6%

運送 +8.3%

自動車 ▲2.8%

特に、自動車保険は新車販売台数の減少の影響を受け、保険料が減少。

保険種目	2015年1-6月	2016年1-6月	前年比
自動車	62.1%	64.8%	2.7pt
火災新種	53.2%	54.3%	1.1pt
運送	69.1%	64.7%	▲4.4pt
生命・傷害	28.9%	28.8%	▲0.1pt
合計	49.7%	50.9%	1.2pt

※グロス損害率

全体として損害率が1.2pt悪化しており、特に自動車保険の損害率が悪化傾向にある。

損害保険(自動車・火災新種・運送)	1.4% ~ 5.2%
生命・傷害	▲1.8% ~ 3.3%
合計	0.4% ~ 4.6%

2016年の成長見通しは、損害保険、生命保険合算で、前年比 0.4% ~ 4.6%。

※CNseg ( 保険会社連盟 ) 2016年5月公表データ

**貿易 部会**

**今井 重利 部会長**

**Departamento de Comércio Exterior**

**Presidente: Shigetoshi Imai**

# 2016年上期の回顧と 下期の展望

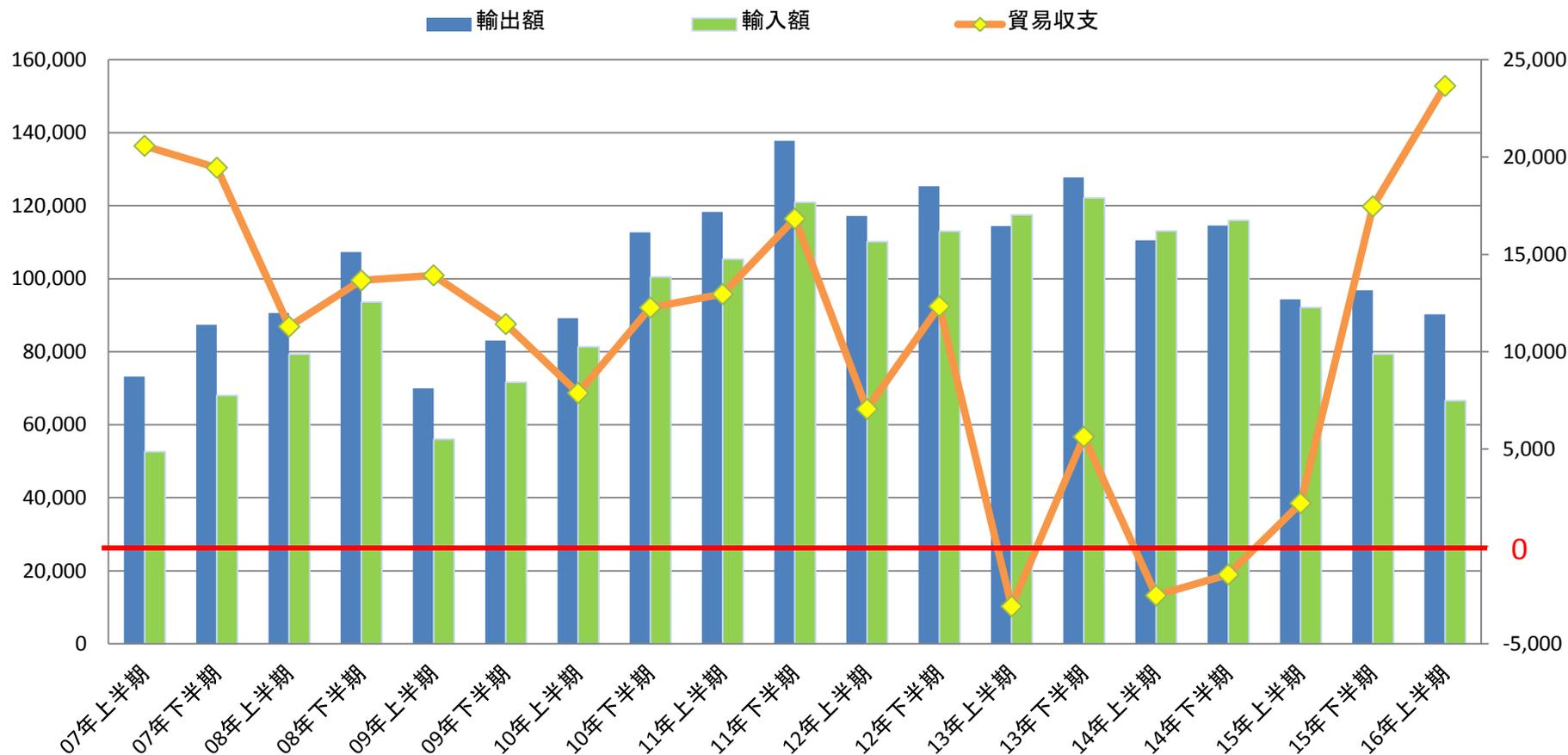
2016年8月25日  
ブラジル日本商工会議所  
貿易部会

# 1. 総括

## 半期ごとの輸出入額の推移

<輸出入額>

<貿易収支>



(単位:百万ドル)

為替レート 2015年 R\$3.34/US\$

(期中平均) 2016年上半期 R\$3.70/US\$

<出所> 開発商工省貿易局 (SECEX)、ブラジル中央銀行

# 2. 輸出 ～主要商品別～

金額: 単位百万ドル

数量: 単位千トン(\*乗用車のみ単位は千台)

	2015年上半期			2016年上半期			増減率		参考≫ 2015年通期	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率	金額	数量
一次産品	44,039	46.7%	246,908	41,229	45.7%	272,094	-6.4%	10.2%	87,188	534,725
大豆	12,502	13.3%	32,248	13,892	15.4%	38,568	11.1%	19.6%	20,984	54,324
鉄鉱石	7,163	7.6%	167,800	5,503	6.1%	177,313	-23.2%	5.7%	14,076	366,194
原油	6,399	6.8%	19,320	4,035	4.5%	19,740	-37.0%	2.2%	11,781	38,416
鶏肉	2,966	3.1%	1,797	2,956	3.3%	2,061	-0.3%	14.7%	6,230	3,888
半製品	12,789	13.6%	21,038	12,806	14.2%	25,140	0.1%	19.5%	26,463	48,189
粗糖	2,642	2.8%	7,829	3,149	3.5%	10,264	19.2%	31.1%	5,901	18,927
化学木材パルプ	2,567	2.7%	5,699	2,745	3.0%	6,642	7.0%	16.5%	5,586	11,963
鉄鋼半製品	1,481	1.6%	3,661	1,157	1.3%	4,205	-21.9%	14.9%	3,008	8,716
合金	1,217	1.3%	145	1,043	1.2%	260	-14.3%	79.2%	2,260	321
工業製品	35,047	37.2%	22,702	34,214	37.9%	24,766	-2.4%	9.1%	72,791	48,338
乗用車	1,564	1.7%	* 153	2,134	2.4%	* 178	36.5%	16.3%	3,366	* 317
航空機	1,623	1.7%	1	1,856	2.1%	1	14.4%	11.5%	4,034	3
水酸化アルミニウム	1,317	1.4%	4,388	1,138	1.3%	4,677	-13.6%	6.6%	2,593	8,966
その他	2,454	2.6%	3,158	2,003	2.2%	3,015	-18.4%	-4.5%	4,692	6,375
輸出総額	94,329	100%	293,807	90,253	100%	325,015	-4.3%	10.6%	191,134	637,627

<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)、ANFAVEA

## 2. 輸出 ～主要国別～

### 輸出相手先 上位10カ国

(単位:百万ドル)

国名	2015年 上期	2016年上期		増減率	参考≫ 2015年 通期
		金額	構成比		
中国	18,301	19,590	21.7%	7.0%	35,607
米国	11,532	10,234	11.3%	-11.3%	24,079
アルゼンチン	6,209	6,218	6.9%	0.2%	12,800
オランダ	4,719	4,686	5.2%	-0.7%	10,044
日本	2,199	2,339	2.6%	6.4%	4,844
ドイツ	2,777	2,265	2.5%	-18.4%	5,178
チリ	1,835	1,800	2.0%	-1.9%	3,978
メキシコ	1,601	1,782	2.0%	11.3%	3,588
イタリア	1,579	1,653	1.8%	4.6%	3,270
ベルギー	1,466	1,455	1.6%	-0.7%	2,990
その他	42,111	38,230	42.4%	-9.2%	84,756
輸出総額	94,329	90,253	100.0%	-4.3%	191,134

<出所>

開発商工省貿易局(SECEX)

# 3. 輸入 ～主要商品別～

金額: 単位百万ドル

数量: 単位千トン(\*乗用車のみ単位は千台)

	2015年上期			2016年上期			増減率		参考≫ 2015年通期	
	金額	金額 構成比	数量	金額	金額 構成比	数量	金額 増減率	数量 増減率	金額	数量
一次産品	9,999	10.9%	33,657	6,912	10.4%	30,393	-30.9%	-9.7%	19,875	68,012
原油	3,130	3.4%	6,476	1,660	2.5%	5,415	-47.0%	-16.4%	7,381	16,093
天然ガス	1,502	1.6%	4,630	703	1.1%	4,145	-53.2%	-10.5%	2,568	9,347
半製品	3,457	3.8%	4,209	2,740	4.1%	4,843	-20.7%	15.1%	6,854	9,773
塩化カリウム	1,089	1.2%	3,195	948	1.4%	3,896	-12.9%	21.9%	2,514	7,822
工業製品	78,645	85.4%	37,614	56,949	85.5%	32,122	-27.6%	-14.6%	144,720	68,687
医薬品	3,041	3.3%	19	2,938	4.4%	18	-3.4%	-4.9%	5,835	37
自動車部品	2,914	3.2%	384	2,250	3.4%	286	-22.8%	-25.5%	5,361	697
乗用車	2,803	3.0%	* 174	1,364	2.0%	* 100	-51.4%	-42.5%	5,019	* 336
燃料油	2,279	2.5%	3,824	1,158	1.7%	2,920	-49.2%	-23.6%	3,557	6,272
殺虫剤、除草剤	1,041	1.1%	106	777	1.2%	106	-25.3%	-0.7%	3,081	293
半導体	1,844	2.0%	1	1,330	2.0%	1	-27.9%	-24.0%	3,025	2
輸入総額	92,101	100%	75,480	66,601	100%	67,358	-27.7%	-10.8%	171,449	146,473

<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)、ANFAVEA

# 3. 輸入 ～主要国別～

## 輸入相手先 上位10カ国

(単位:百万ドル)

国名	2015年 上期	2016年上期		増減率	参考≫ 2015年 通期
		金額	構成比		
中国	16,720	11,213	16.8%	-32.9%	30,719
米国	14,347	11,183	16.8%	-22.1%	26,471
ドイツ	5,547	4,659	7.0%	-16.0%	10,379
アルゼンチン	5,556	4,225	6.3%	-24.0%	10,284
韓国	3,184	2,998	4.5%	-5.9%	5,420
フランス	2,180	1,821	2.7%	-16.5%	4,457
イタリア	2,550	1,819	2.7%	-28.7%	4,675
日本	2,644	1,693	2.5%	-36.0%	4,877
メキシコ	2,391	1,575	2.4%	-34.2%	4,377
チリ	1,676	1,481	2.2%	-11.6%	3,411
その他	12,147	8,163	12.3%	-32.8%	66,379
輸入総額	92,101	66,601	100%	-27.7%	171,449

<出所>

開発商工省貿易局(SECEX)

# 4. 対日貿易

## 輸出

(単位:百万ドル)

商品名	2015年 上期	2016年上期		伸び率	参考» 2015年 通期
		金額	構成比		
鉄鉱石	630	491	21.0%	-22.2%	1,209
鶏肉	385	382	16.3%	-0.8%	837
とうもろこし	32	322	13.8%	918.8%	461
コヒ-豆	227	190	8.1%	-16.3%	440
航空機	30	124	5.3%	309.5%	87
合金	115	122	5.2%	6.4%	231
アルミニウム	206	114	4.9%	-44.6%	367
大豆	72	78	3.3%	8.3%	185
冷凍ホジジューズ	73	60	2.6%	-17.1%	90
化学木材パルプ	50	55	2.3%	9.0%	103
その他	380	402	17.2%	5.8%	834
合計	2,199	2,339	100%	6.4%	4,845

## 輸入

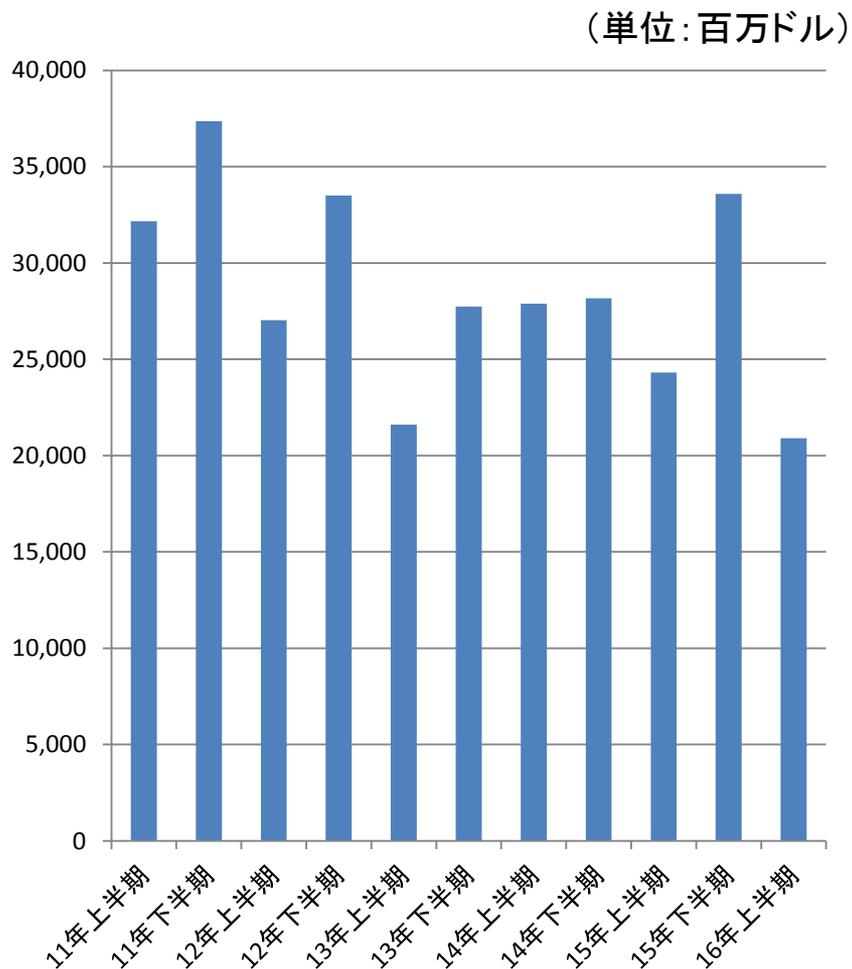
(単位:百万ドル)

商品名	2015年 上期	2016年上期		伸び率	参考» 2015年 通期
		金額	構成比		
自動車・トラクター部品	261	200	12.4%	-23.6%	505
測定機器等	124	79	4.9%	-35.9%	223
乗用車	157	70	4.4%	-55.4%	325
ベアリング・歯車 及びそれら部品	107	67	4.2%	-37.8%	185
自動車エンジン部品	97	57	3.6%	-40.9%	173
航空機・ヘリコプター部品	47	53	3.3%	12.9%	NA
鉄道鉄鋼関連	74	48	3.0%	-35.1%	101
鋼管製品	71	43	2.7%	-39.8%	163
窒素化合物	58	40	2.5%	-31.5%	NA
複素環式化合物	52	38	2.3%	-28.1%	137
その他	1,470	912	56.8%	-38.0%	2,828
合計	2,518	1,606	100.0%	-36.2%	4,877

<出所> 開発商工省貿易局(SECEX)

# 5. 対内直接投資 ～推移・国別～

## 対内直接投資推移



## 国別対内直接投資

国	2015年 上期	2016年上期		伸び率	参考》 2015年 通期
	金額	金額	構成比		金額
オランダ	3,184	3,690	17.7%	15.9%	11,573
米国	3,080	2,908	13.9%	-5.6%	6,647
ルクセンブルク	2,853	1,941	9.3%	-32.0%	6,599
スペイン	5,174	1,580	7.6%	-69.5%	6,570
ドイツ	475	1,228	5.9%	158.5%	3,453
フランス	1,289	1,101	5.3%	-14.6%	2,841
日本	1,392	921	4.4%	-33.8%	2,878
イタリア	492	898	4.3%	82.5%	1,720
英領ヴァージン諸島	286	791	3.8%	176.6%	764
英国	766	791	3.8%	3.3%	1,649
その他	5,326	5,049	24%	-5.2%	13,213
合計	24,317	20,898	100%	-14.1%	57,907

# 5. 対内直接投資 ～主要業種別～

(単位:百万ドル)

	2015年上期		2016年上期		伸び率	参考» 2015年通期
	金額	構成比	金額	構成比		
一次産品（農業・畜産・鉱業・その他）	3,863	14.4%	3,140	15.0%	-18.7%	8,310
石油・天然ガス採掘	2,025	7.9%	1,973	9.4%	-2.6%	4,595
金属鉱物採掘業	1,004	2.6%	485	2.3%	-51.7%	1,516
工業（その他も含む）	5,445	36.2%	7,992	38.2%	46.8%	20,967
自動車・トレーラー・車体	1,118	7.8%	2,260	10.8%	102.1%	4,518
非鉄製品	136	1.1%	886	4.2%	551.5%	660
化学製品	546	4.2%	749	3.6%	37.2%	2,417
基礎冶金業（注）	227	1.5%	631	3.0%	178.0%	870
機械装置	254	1.9%	574	2.7%	126.0%	1,087
サービス業（その他も含む）	14,908	49.1%	9,658	46.2%	-35.2%	28,409
商業（自動車除く）	2,930	9.4%	2,265	10.8%	-22.7%	5,471
不動産	864	3.7%	921	4.4%	6.6%	2,150
倉庫・運送業	365	1.4%	882	4.2%	141.6%	823
金融・同補助サービス	552	2.4%	770	3.7%	39.5%	1,381
通信	4,283	7.9%	561	2.7%	-86.9%	4,552
電気・ガス	542	6.8%	545	2.6%	0.6%	3,930
合計	24,317	100.0%	20,898	100.0%	-14.1%	57,907

<出所>ブラジル中央銀行

# 6. 直近の貿易収支傾向

＜輸出入額＞

■ 輸出額

■ 輸入額

◆ 貿易収支

＜貿易収支＞



# 7. まとめ

- 2016年度の貿易収支は、500億ドルを超える黒字予想。
- しかしながら、実態は極めて大幅な輸入減少が理由であり輸出でさえ前年比マイナス。
- レアル対ドル為替が大幅に下落していることが主要因ではあるが、ブラジル経済の悪化が背景。
- ブラジル経済については、既に底を打ち上昇局面に転じたとの観測が増加している。
- 貿易部会としては、輸出入共に増加に尽力、貿易量・金額の増大を目指したい。

**機械金属 部会**

**池辺 和博 部会長**

**Departamento de Metalmeccânica**

**Presidente: Kazuhiro Ikebe**

## 「2016年上期の回顧と2016年下期の展望」

どん底の時期ならではの戦略は？  
～課題整理と対処方策～

2016年8月25日  
**機械金属部会**  
池辺



# (1) 鉄鋼

## 機械金属部会

### 2016年上期の回顧

#### 2016年1-6月伯鉄鋼生産関連情報（伯鉄鋼協会）

数量は千トン、前年同期比

	生産		国内販売		輸出	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
粗鋼	14,867	▲13%	8,220	▲16%	6,685	17%
圧延鋼板	5,673	▲19%	4,520	▲15%	1,589	16%
型鋼	4,541	▲8%	3,535	▲17%	4,205	15%
スラブ	3,527	▲1%	97	▲11%		
他	714	39%	68	7%	891	13%

- ・国内景気停滞→建設、自動車業界の低迷→需要減
  - ・鉄鋼各社設備の閉鎖、休止実施
    - 主要5社 (Usiminas/CSN/Gerdau/AMB/CSA) 高炉14基中5基休止
  - ・輸出：リアル安の進行で17%の伸び
    - 但し、中国の過剰能力→国際市況依然低レベル、米国昨年ADの導入、リアル反発傾向
  - ・輸入：国内需要低迷、リアル安→前年比▲64%

### 2016年下期の展望

#### 2016年下期/通年粗鋼生産見通し（伯鉄鋼協会）

数量は千トン、前年同期比

	生産		国内販売		輸出	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2016年下期	16,133	±0%	8,080	▲4%	6,315	▲21%
2016年通年	31,000	▲7%	16,300	▲10%	13,000	▲5%

- ・伯鉄鋼協会の通年見通しより下期を算出
  - 生産・国内販売共に上期よりは改善を見込むが、通年では、夫々7%/10%ダウンの見通し
- ・建設、自動車業界他の回復は2017年以降
- ・輸出：左記理由(特にレアルの上昇)による減少か
- ・輸入：下期 42%増、通年 ▲34%見通し
  - 上期に国内市場向け値上げ、リアル高影響

## (2) 電力・社会インフラ(都市交通)

機械金属部会

2016年上期の回顧	2016年下期の展望
<p><b>電力</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 経済活動の停滞により電力需給逼迫感緩和、設備の余剰感</li><li>・ 2016年A-5エネルギーオークションの新設案件529MW（2005-15年平均3.6GWの1/7程度）</li><li>・ 電力会社資金不足→設備投資の先送り</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 状況に大きな変化はないと予測</li><li>・ 年内エネルギーオークション予定 9月： 小型水力発電 12月： 風力・太陽光発電</li><li>・ 電力料金の値上がり等から太陽光による小規模発電伸びている</li></ul>
<p><b>都市交通</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ サンパウロ州新規案件なく、既決案件も軒並み遅れLava Jato関連でのゼネコン資金難、国・地方の財政難、環境問題等による土地収用遅れ等影響</li><li>・ 安価で工期も短いことで期待されたモノレールだが上記問題等で、18号線が2駅間を運行するのみ（15号線、17号線工事無期延期状態）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新規入札予定はなく、既発注分の早期再着工、完成優先</li><li>・ サンパウロ州政府、1～3号線以外を民営化検討年内コンセッション実施計画</li></ul>

### (3) 建設機械・トラクター

機械金属部会

#### 2016年上期の回顧

##### 大型建機

- 建設機械総需要：  
(小型建機除く)

出典: ABMAQ	2016年上期	
	台数	前年比
建機総需要	2,795	▲27%
(油圧ショベル)	(1,297)	▲25%

- Lava Jato関連で大手ゼネコンが公共事業への参加中止、認可取り消し→BNDESからの融資ストップ
- 建設機械、昨年末ICMS減免措置廃止憶測で駆け込み需要発生→2016年1～2月反動で激減

##### 小型建機

- 小型バックホー(11t以下)の販売 前年同期比▲49%  
(2015年 前年比▲42%)

##### トラクター

- 需要：前年同期比▲31% (2015年 前年比▲33%)
- 農業堅調も、政府の農業向け低利融資の停滞

#### 2016年下期の展望

- 2016年下期/通年需要予測

自社予測	2016年下期		2016年通年	
	台数	前年比	台数	前年比
建機総需要	2,205	▲42%	5,000	▲35%
(油圧ショベル)	(1,203)	▲30%	(2,500)	▲28%

- 建機の平均稼働時間前年同月比割れ止まり→底入れ観測→建機需要増は来年以降か？
- 政権交代でBNDESの融資再開に期待
- 農業、製造業等非建設用途需要開拓に注力
- 需要：上期比20%増期待、年間では前年比▲15%か季節要因(来期の収穫準備)

## (4) 切削機械・板金機械

## 機械金属部会

2016年上期の回顧	2016年下期の展望
<p><b>切削機械</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 主要顧客先である自動車業界の不振継続→需要低調自動車業界：新車販売 前年同期比▲25% 生産 同 ▲21%</li><li>・ 新製品の投入、他社品からの切替え等で、会員企業としては、前年同期比増又は横ばいの販売を確保</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自動車業界の垂直回復は期待薄→厳しい状況継続</li><li>・ 比較的堅調な航空機、医療分野や農業機械、金型分野等への新規開拓を強化</li></ul>
<p><b>板金機械</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 主要客先の第1四半期稼働率ほぼ50%の状況</li><li>・ 4月以降、農業機械メーカー及びその部品サプライヤーより仕事増え始めるも、新規設備検討は限定</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 建設機械メーカーの短期需要回復は望み薄</li><li>・ 農業機械関連は稼働率のアップがあるが、新規設備投資は来年以降か</li></ul>

## (5) 産業機械

## 機械金属部会

2016年上期の回顧	2016年下期の展望
<p data-bbox="73 418 301 454"><b>非汎用圧縮機</b></p> <ul data-bbox="86 496 942 753" style="list-style-type: none"><li>・ 主要用途である資源開発、石油精製、石油化学はPETROBRASの投資抑制、資源価格の低位安定等で、低迷</li><li>・ メンテナンス/アフターサービス案件の掘り起し中心</li></ul>	<ul data-bbox="987 496 1823 711" style="list-style-type: none"><li>・ PETROBRAS新5か年計画(2016-2020)の生産計画が更に下方修正見込等→市場好転の兆し無し</li><li>・ 既設品のメンテナンス/アフターサービス案件を粘り強く追及</li></ul>
<p data-bbox="73 818 189 853"><b>ポンプ</b></p> <ul data-bbox="86 901 942 1158" style="list-style-type: none"><li>・ カスタムポンプ：主要用途が製鉄、石油化学、電力プラントで、大幅需要減(事業領域により▲8~40%)従業員40%カットの企業もあった</li><li>・ 標準ポンプ：主に農業、建築設備向けで、市場は前年同期比5%増</li></ul>	<ul data-bbox="987 986 1843 1065" style="list-style-type: none"><li>・ 高金利、政治・経済不安→投資見送り→需要の更なる減少予測</li></ul>

## (5) 産業機械

## 機械金属部会

2016年上期の回顧	2016年下期の展望
<p data-bbox="79 444 417 479"><b>ホイスト・クレーン</b></p> <ul data-bbox="79 519 942 779" style="list-style-type: none"><li>・ 主要市場である自動車・鉄鋼・石油業界の低迷を受け、需要は前年同期比20～30%減</li><li>・ 独大手クレーンメーカー、天井クレーン事業撤退</li><li>・ 自社：風力発電タワー用需要で業績アップ</li></ul>	<ul data-bbox="987 519 1843 822" style="list-style-type: none"><li>・ 各業界の大きな回復は見込み薄 ホイストの交換需要やライトクレーン等の小さな需要を拾い集める</li><li>・ (一定顧客向)風力発電需要は上期で一巡 来年以降に期待</li></ul>
<p data-bbox="79 851 229 886"><b>縦型ミル</b></p> <ul data-bbox="79 932 942 1058" style="list-style-type: none"><li>・ 主要用途はセメントだが、セメントの需要は前年同期比▲14%→新規投資皆無同様、注文のキャンセル、延期続出</li></ul>	<ul data-bbox="987 932 1843 1100" style="list-style-type: none"><li>・ 需要回復未だ先、注文延期、キャンセル影響残る</li><li>・ 既存顧客を定期巡回し、稼働中機械のスペアパーツ需要狙う</li></ul>

## (6) 小型エンジン・ベアリング・潤滑油

## 機械金属部会

2016年上期の回顧	2016年下期の展望
<b>小型ディーゼルエンジン</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 需要低迷</li><li>・ 販売：前年同期比 台数▲39%、金額▲17%</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 回復は早くて10月以降、年間販売、台数前年比で70%程度の見通し</li><li>・ 地方の電化による市場縮小、中国製との価格競争</li></ul>
<b>ベアリング</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自動車・二輪車向け：アルゼンチン向け輸出は増も 国内需要低調で、15年下期比微増</li><li>・ 一般産機向け：客先に在庫多く、受注低調</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 自動車・二輪車向け：国内市場は年間で若干の減アルゼンチン向け輸出増を期待</li><li>・ 一般産機向け：1次産業関連で動き始めている 機械加工産業は未だ在庫水準高く、回復遅い</li><li>・ 新市場(医療や鉄道等)への進出図る</li></ul>
<b>金属加工油剤</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 主要顧客は自動車部品製造業だが、大幅生産減→ 販売大幅減 第1四半期▲23%、上期▲14%</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現状維持で、2017年から回復傾向と予測(期待) 販売数量 前年同期比▲10~15%推定</li></ul>

## 2. 副題-どん底の時期ならではの戦略は?-について

機械金属部会

奇策、妙案はない ⇒ 地道、基本的な対策を実行

- ・コスト削減： 部品等製品コストダウン、事務処理効率化
- ・スリム化： 人員削減、経営の現地化、現地人登用
- ・受注/売上の確保： サービス/保守等中小案件受注、新規市場への参入  
顧客訪問（ローラー作戦、トップセールス）、  
輸出の拡大
- ・社員モチベーション維持： 管理職への経営情報開示、教育機会の充実
- ・業界再編/集中等の動向分析と対応

**自動車 部会**

**溝口 功 部会長**

**Departamento Automotivo**

**Presidente: Issao Mizoguchi**

# ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

## 「自動車部会」レポート

2016年8月25日

### <2016 年上期の回顧と下期の展望>

どん底の時期ならではの戦略は？

－ 課題整理と対処方策－

#### ➤ 四輪業界動向

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期 展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

#### ➤ 二輪業界動向

# 四輪業界動向

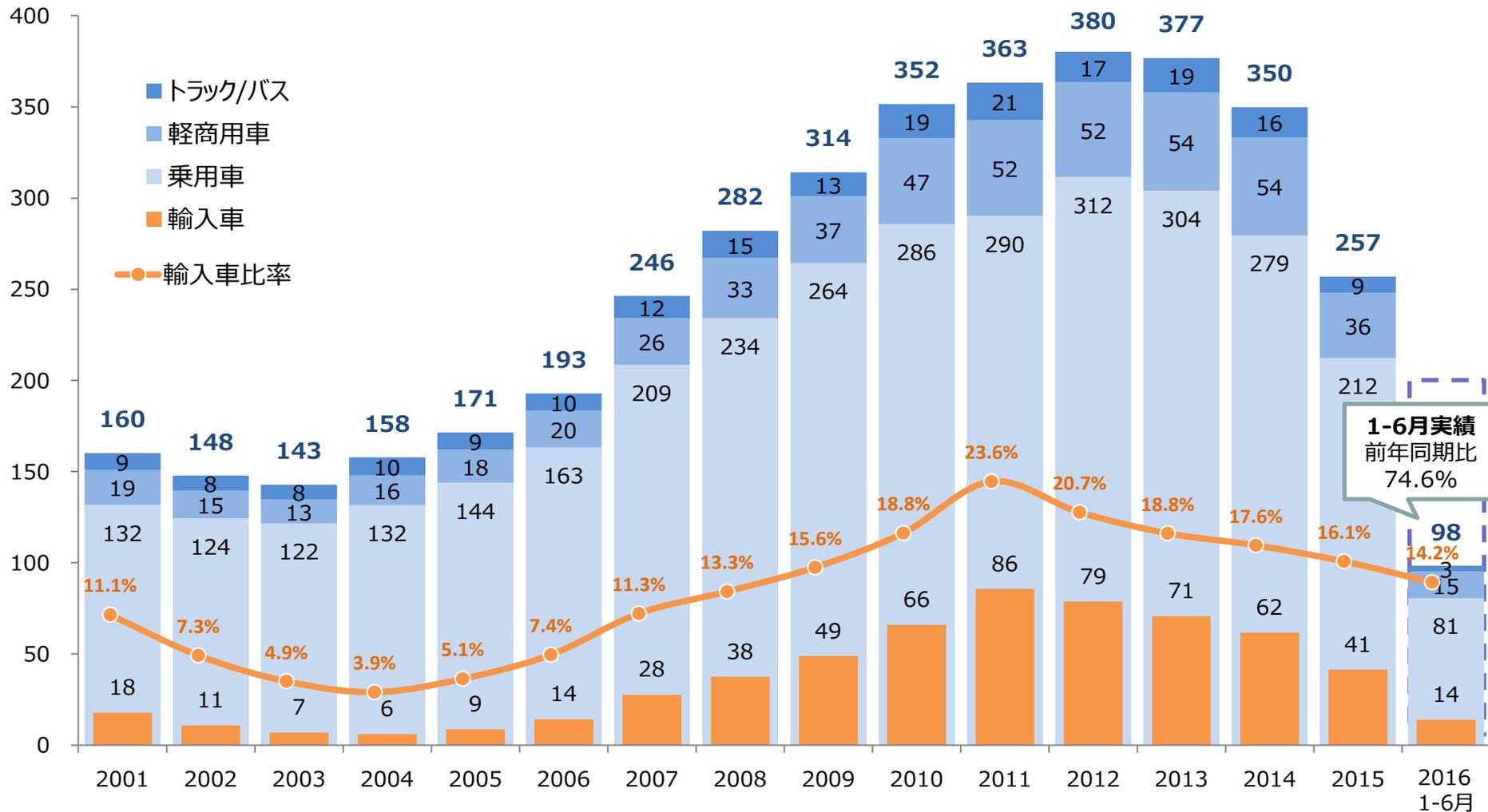
2016年8月25日

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

# 1. 2016年上期振り返り - 販売台数 推移

(万台)

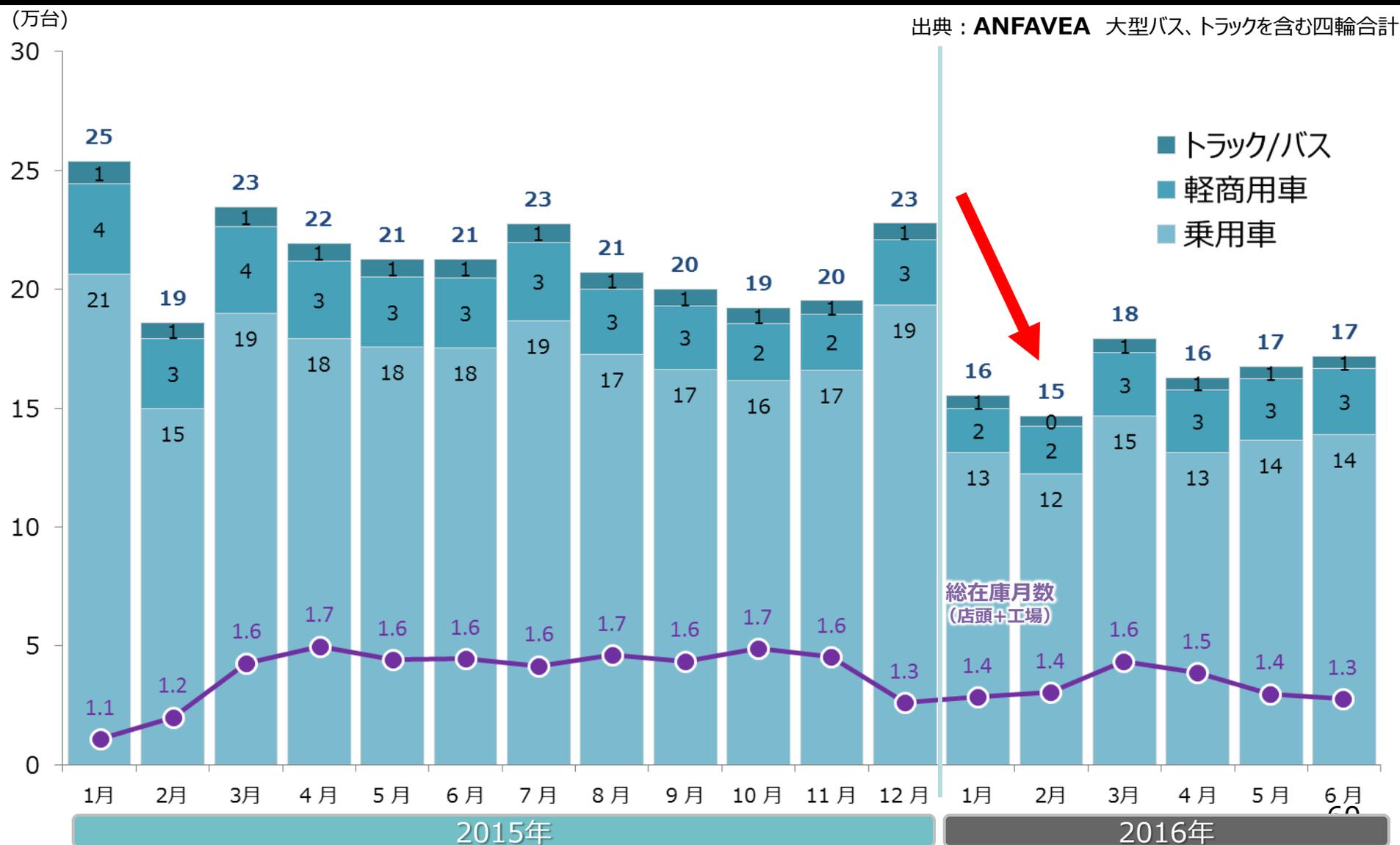
出典：ANFAVEA（ブラジル自動車工業会） 大型バス、トラックを含む四輪合計



1-6月実績  
前年同期比  
74.6%

- 2016年上期の販売実績は約98万台(前年比：約74.6%)と4年連続で前年同期を下回った
- インフレ抑制政策による金利引き上げや失業率の上昇で景況感悪化
- 輸入車比率は14.2%と5年連続で低下

# 1. 2016年上期振り返り 一月別販売台数 推移

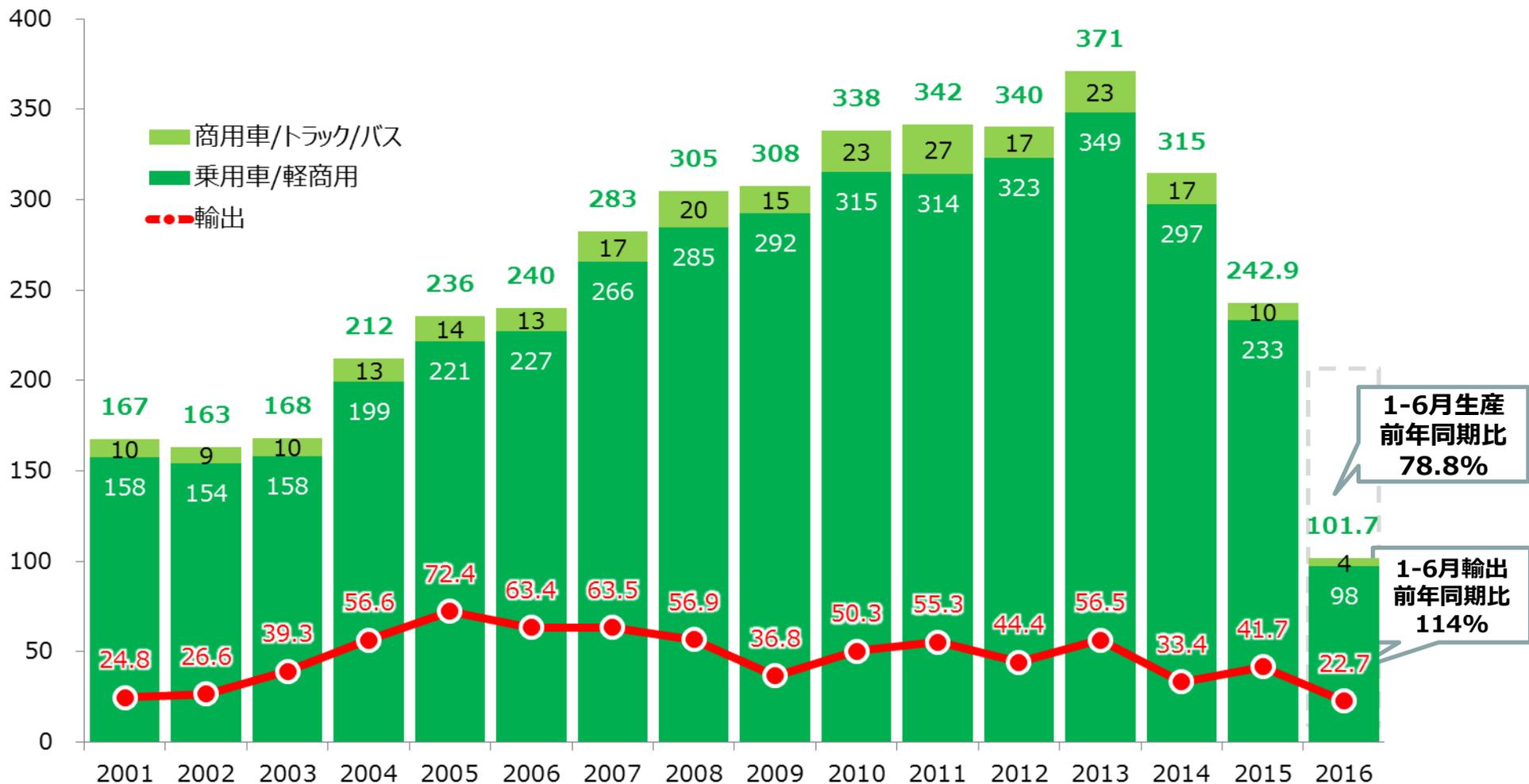


- 2016年1月以降、景況感のさらなる悪化、失業率上昇等の影響により、前年に比べ販売が減少
- 在庫月数は各社生産調整により若干の落ち着きが見られるものの、依然高いレベルで推移

# 1. 2016年上期振り返り - 生産・輸出台数 推移

(万台)

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず



- 2016年上期の総生産台数は約101万台（前年同期比：78.8%）
- 在庫調整の為、一部メーカーは集団休暇、レイオフ、希望退職、解雇などで生産調整を実施
- レアル安の影響で輸出は増加（前年同期比：114%）

# 1. 2016年上期振り返り - 輸出台数 カテゴリ別

出典：ANFAVEA/MDIC

## ◆ カテゴリ別 輸出概要 (単位：台)

カテゴリ	'15年	'16年 1-6月	前年 同期比
乗用車	316,531	<b>178,463</b>	+16.4%
ライトトラック	72,230	<b>34,964</b>	+10.6%
トラック	20,869	<b>9,376</b>	-8.0%
バス	7,325	<b>3,842</b>	+17.7%
合計	416,955	<b>226,645</b>	<b>+14.2%</b>

## ◆ 輸出相手国別 輸出金額 (CKD含む)

輸出相手国	FOB百万ドル	前年同期比
アルゼンチン	1,660.34	+34.9%
メキシコ	160.69	+43.3%
インドネシア	65.92	-20.8%
サウジアラビア	55.40	*new
コロンビア	50.97	+69.7%

\* サウジアラビアへの軍事車輛等

➤ レアル安を受け、前年同期比でプラスとなるも、国内販売の落ち込みをカバーするには不十分

# 1. 2016年上期振り返り -メーカー・販売店への影響

出典：Fenabrave

## ◆メーカーへの影響(1-6月)

	-集団休暇（20日間） ※BETIN工場
	-集団休暇（約4か月間） ※GRAVATAI工場
	-集団休暇（20日間） -レイオフ（800名） ※SAO BERNARDO工場
	-集団休暇（20日間） -レイオフ（800名） ※CAMACARI工場

## ◆販売店への影響



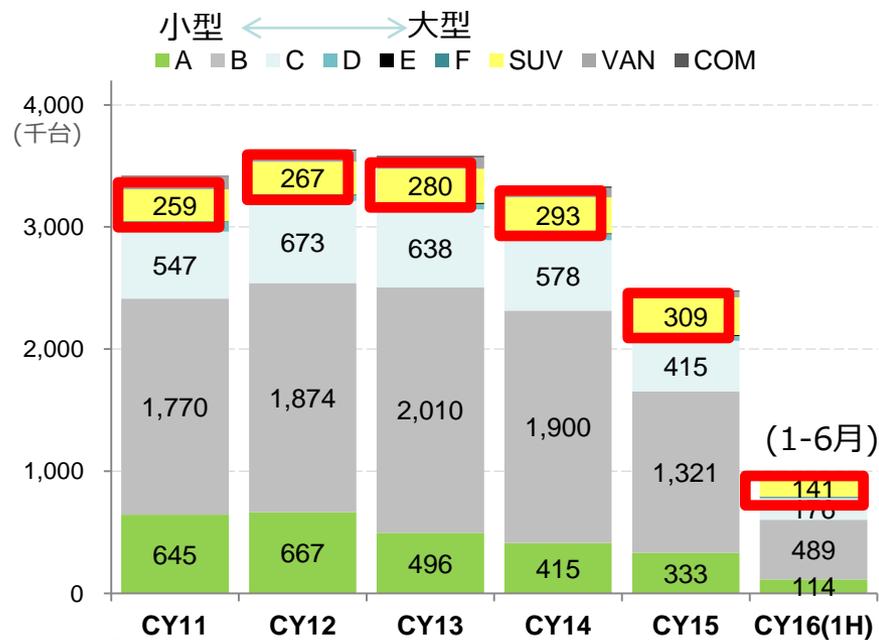
\* 間接的影響含むと、124,000人

- BIG4を中心に生産調整(シャットダウン/レイオフ)を継続  
※ブラジル全体の稼働平均は44.2%

- 国内で四輪販売店が960店舗閉鎖
- 商用車販売等含めると、1,000店を超えその雇用影響は58千人にも及ぶと推定（間接的影響を含むと、124千）

# 1. 2016年上期振り返り – SUV市場

## ◆セグメント別 販売推移



### ◆前年同期比

	A	B	C	D	E	F	SUV	VAN	COM
小型	103.3%	97.4%	114.3%	87.6%	148.6%	158.7%	124.5%	111.2%	137.2%
	103.4%	105.9%	123.1%	56.0%	215.0%	74.0%	103.0%	86.9%	157.4%
	74.4%	107.2%	94.7%	98.6%	127.8%	93.5%	104.9%	100.9%	115.9%
	83.5%	94.5%	90.6%	104.6%	102.2%	84.2%	104.8%	82.7%	121.5%
	80.3%	69.5%	71.8%	83.5%	72.6%	42.4%	105.5%	59.5%	76.3%
	61.9%	71.2%	82.6%	59.0%	61.9%	65.0%	104.5%	60.9%	65.0%
大型									

### ➤ 15年3月 Honda HR-V / Jeep Renegade発売



### ➤ 16年8月 Nissan Kicks発売



- 8月にRio五輪と合わせてブラジルで販売を開始、2016年度後半には他の南米市場でも発売
- 将来的に世界80カ国以上に投入予定
- メキシコの工場にて生産。  
2016年度中には、リオデジャネイロのレゼンデ工場でも量産へ向けた準備を開始する予定

- 他カテゴリーが減少する中、SUV市場のみ各社新車投入等により伸長を続ける
- 8月にはNissan Kicksが発売され、今後SUV市場はさらに活況となる見込み

## 1. 2016年上期振り返り - 日系ブランドの健闘

単位：千台

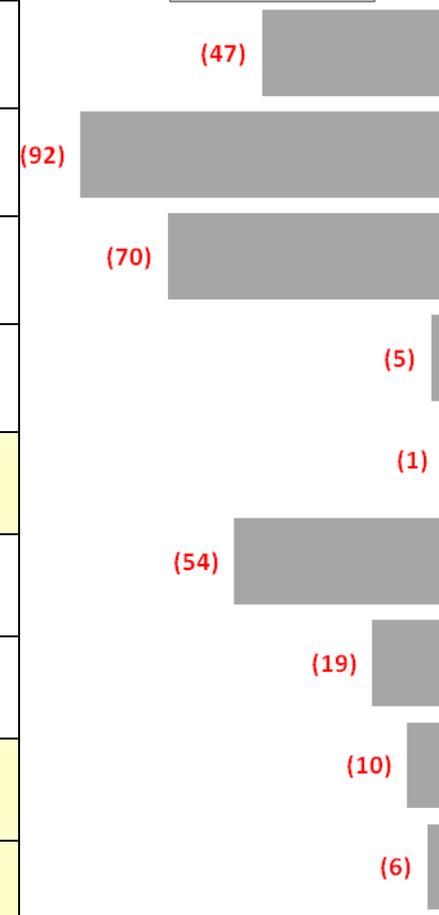
出典：ANFAVEA

'15 vs '16  
(1-6月)

'14	台数	シェア
1st 	698	20%
2nd 	619	17.7%
3rd 	579	16.5%
4th 	328	9.4%
5th 	238	6.8%
6th 	237	6.7%
7th 	196	5.6%
8th 	138	3.9%
9th 	72	2.1%

'15	台数	シェア
1st 	439	17.1%
2nd 	383	14.9%
3rd 	388	15.1%
4th 	267	10.4%
5th 	206	8%
6th 	181	7.1%
7th 	176	6.9%
8th 	153	6.0%
9th 	61	2.4%

'16 1-6月	台数	シェア
1st 	158	16.6%
2nd 	143	15.1%
3rd 	127	13.4%
4th 	96	10.1%
5th 	85	9%
6th 	81	8.5%
7th 	68	7.2%
8th 	63	6.6%
9th 	25	2.6%



- 2015年 上位4ブランドが大幅に台数、シェア共に落とす中、日系メーカーは健闘  
 ※ 全体の落込みの約78%が上位4ブランドによるもの

# 四輪業界動向

2016年8月25日

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

## 2. 2016年下期展望 – 経済

出典：BR中央銀行  
(7月22日付)

## ◆ブラジル経済指数推移

	2011	2012	2013	2014	2015	2016 予測
実質経済成長率 GDP (%)	2.7	1.0	2.5	0.1	-3.8	-3.3
為替 年末予想 (BRL/USD)	1.87	2.05	2.36	2.66	3.90	3.34
インフレ (IPCA - %)	6.5	5.8	5.9	6.4	10.67	7.2
金利 (SELIC) 年末予想 (%)	11.00	7.25	10.00	11.75	14.25	13.25

- GDPの成長見通し (-3%→-3.3%)、及び インフレ見通し(7.03%→7.2%)が悪化。
- 一方、政策金利は 13.25% へ下げられると予想。

## 2. 2016年下期展望 – 自動車業界

出典：ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

## ◆ ブラジル市場・輸出・生産の2016年予測

単位：万台

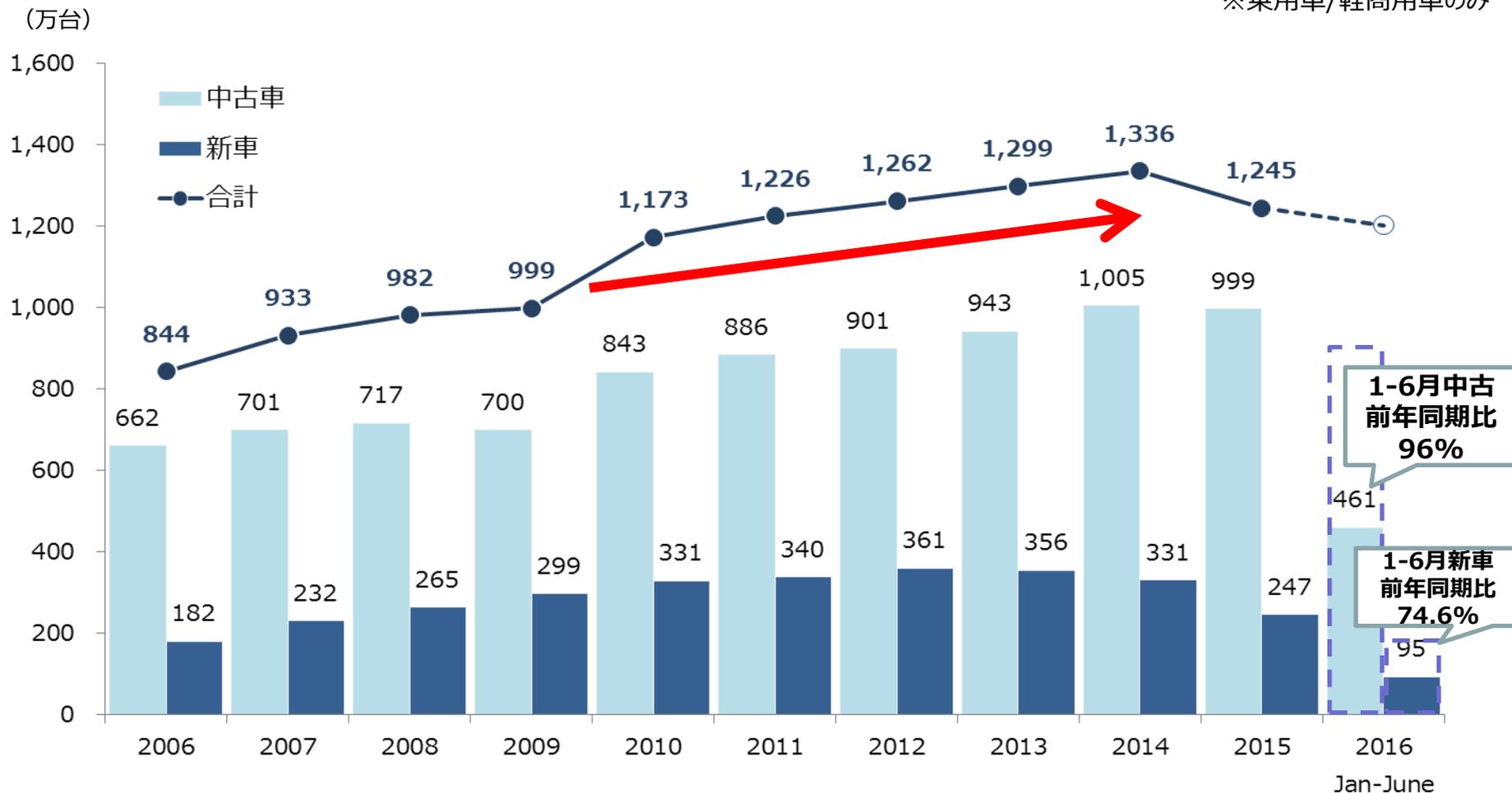
	2015年 実績	2016年当初予測		2016年修正予測	
		ANFAVEA (1月7日発表)	自動車部会	ANFAVEA (6月6日発表)	自動車部会
国内市場	256.9 前年比：-26.6%	237.6 前年比：-7.5%	200～210 前年比：-22～-18%	208.0 前年比：-19%	200 前年比：-22%
輸出台数	41.7 前年比：+24.8%	45.1 前年比：+8.1%	-	50.7 前年比：+21.5%	-
生産台数	242.9 前年比：-22.8%	244 前年比：+0.5%	244 前年比：+0.5%	229.6 前年比：-5.5%	230 前年比：-5.3%

- ANFAVEAは6月に販売台数予測を約208万台（前年比：-約19%）に下方修正
- さらなる景況感の悪化や、失業率の上昇などの影響により更に購買意欲減少
- 輸出はレアル安の影響もあり前年比増となるが、国内の販売減により生産台数は減少する見込み

## 2. 2016年下期展望 – 自動車業界(中古・新車)

出典：FENABRAVE/ ANFAVEA/FENAUTO

※乗用車/軽商用車のみ



- 中古車市場はここ数年の新車販売減速の影響も受け始め、微減。
- 16年は新車は大幅な落込みが予想されるも、中古車市場は約900万台以上を予想。

# 四輪業界動向

2016年8月25日

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. **長期展望**
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

# 3. 長期展望 – 経済指標

## ◆ GDP

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	-3.8	-3.3	1.1			
 Santander	-3.8	-3.7	2.0	3.0	3.0	3.0
 Itau	-3.8	-3.5	1.0	4.0	4.2	3.1
 Bradesco	-3.8	-3.0	1.5	3.0	3.5	3.5
今回平均	<b>-3.8</b>	<b>-3.4</b>	<b>1.4</b>	<b>3.3</b>	<b>3.6</b>	<b>3.2</b>
前回平均	-3.9	-3.3	0.9	2.2	2.4	2.4
差異	0.1	-0.1	0.5	1.1	1.2	0.8

## ◆ Inflation

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	10.67	7.21	5.29			
 Santander	10.67	7.00	5.20	5.00	4.50	4.50
 Itau	10.67	7.21	4.83	4.20	4.16	4.36
 Bradesco	10.67	6.50	4.50	4.50	4.50	4.50
今回平均	<b>10.67</b>	<b>6.98</b>	<b>4.96</b>	<b>4.57</b>	<b>4.39</b>	<b>4.45</b>
前回平均	10.67	7.06	5.55	4.92	4.67	4.58
差異	0.0	-0.1	-0.6	-0.4	-0.3	-0.1

## ◆ 為替 (BRL/USD)

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	3.9	3.3	3.5			
 Santander	3.9	3.7	4.0	4.1	4.2	4.3
 Itau	3.9	3.3	3.5	3.6	3.6	3.7
 Bradesco	3.9	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6
今回平均	<b>3.9</b>	<b>3.4</b>	<b>3.6</b>	<b>3.7</b>	<b>3.8</b>	<b>3.8</b>
前回平均	3.9	4.3	4.4	4.5	4.7	4.8
差異	0.0	-0.9	-0.8	-0.8	-0.9	-1.0

## ◆ 金利 (SELIC)

Bank	2015*	2016	2017	2018	2019	2020
 BANCO CENTRAL DO BRASIL	14.25	13.25	11.00			
 Santander	14.25	12.75	10.00	9.00	8.50	8.50
 Itau	14.25	13.50	10.00	8.50	8.25	8.75
 Bradesco	14.25	13.25	10.25	9.25	9.25	9.25
今回平均	<b>14.25</b>	<b>13.19</b>	<b>10.31</b>	<b>8.92</b>	<b>8.67</b>	<b>8.83</b>
前回平均	14.25	13.69	12.19	10.75	10.33	9.67
差異	0.0	-0.5	-1.9	-1.8	-1.7	-0.8

➤ 各行、2015年～16年を底として緩やかな回復傾向を予想

### 3. 長期展望 – ブラジル自動車市場

前回見直し

長期経済指標や大統領選時期などを総合的に見た場合

ブラジル自動車市場の回復時期は2018年以降と予想

今回見直し

**現状の販売状況、および長期経済指標などを総合的に見た場合**

**ブラジル自動車市場が回復に転ずるのは2017年以降と予想**

### 3. 長期展望 – テメル暫定政権発足後の影響予測

	短期 (～'16年8月?)	中長期 ( '16年8月?～'18年12月)
政権	テメル“暫定”政権	仮説 テメル政権
政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>「財政赤字」削減を最優先し、公務員削減、大幅な省庁の統廃合、社会保障制度の見直しに着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新体制の下、財政健全化、国の信用回復に向けた本格的な改革を実行</li> </ul>
経済政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の経済政策は維持</li> <li>将来に向けた政策の構築</li> <li>経済産業界からの理解促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税制改定（増税方向）</li> <li>現地調達促進政策</li> <li>輸出促進政策</li> </ul>
自動車業界への影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>回復への期待の一方、市場は低迷</li> <li>暫定政権による直接的な影響はなし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場は緩やかに回復</li> <li>増税による影響も予想されるが、優遇政策の行方が鍵となる</li> </ul>

- テメル暫定政権下においては、将来的な政策方針の動向を注視
- 17年で終了するInovar Autoの今後含め、業界一丸となった取り組みが必要

# 四輪業界動向

2016年8月25日

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

## 4. 日系ブランド 課題への対応

日系ブランドの課題

前回シンポジウムにて  
整理した課題と対応

## ① 厳しい状況に対する事業体質の強化

為替対応を踏まえた部品現調化と  
輸出の促進

エンジンベンチ&エンジン工場の新設（トヨタ）

Sumare工場 SEDBA集約（ホンダ）

小型SUV Kicksの取り組み（日産）

生産弾力性向上 と人材育成

労使宣言の締結、製造現場の人材育成（トヨタ）

## ② 市場回復時の飛躍につながるブランド強化

環境安全規制強化とその対応

ブラジル CAFE(環境・燃費)規制強化

安全規制強化

# 4. 日系ブランド 課題への対応 – 現地生産と現地開発の強化

## 背景

- 部品の現調率を向上するためにサプライヤーの技術力の育成が課題
- エンジンの現地生産は現調率向上への重要案件
- ブラジル市場により適した車の開発が課題

## 5月10日

### 中南米地域で初となるトヨタエンジン工場の開所式を実施

- 所在地： サンパウロ州ポルトフェリス市
- 生産能力： 年産10.8万基
- 従業員数： 約320名
- 投資額： 約180億円（約5.8億レアル）
- 生産エンジン： 排気量1.3Lと1.5LのNRエンジン（エティオス搭載用）



「シンプル＆スリム」「フレキシブル」をキーワードに、日本の工場でも導入を進めている革新的生産技術を導入。その結果、エンジン工場の主要工程（鋳造・機械加工・組み付け）を一つの建屋に集約し、コンパクトで需要変動に強い工場が完成。

## 8月22日

### 中南米地域で初となるトヨタ技術センターの開所式を実施

- デザイン・ラボ：ブラジル固有のデザイン導入予定
- 材料ラボ：部品現調化に向けて材料を独自に研究

### 期待される効果：

- エンジン部品の現調率向上により、為替の影響とコストの低減を目指す
- ブラジルのお客様により適した商品の提供
- São Bernardo工場におけるエンジンベンチ新設と併せた現調化のスピードアップ、およびローカル・サプライヤーの育成と技術力向上

## 4. 日系ブランド 課題への対応

日系ブランドの課題

前回シンポジウムにて  
整理した課題と対応

## ① 厳しい状況に対する事業体質の強化

為替対応を踏まえた部品現調化と 輸出の促進	エンジンベンチ&エンジン工場の新設（トヨタ）
	Sumare工場 SEDBA集約（ホンダ）
	小型SUV Kicksの取り組み（日産）
生産弾力性向上 と人材育成	労使宣言の締結、製造現場の人材育成（トヨタ）

## ② 市場回復時の飛躍につながるブランド強化

環境安全規制強化とその対応	ブラジル CAFE(環境・燃費)規制強化
	安全規制強化

## 4. 日系ブランド 課題への対応-環境安全

### 環境

#### 6月 トヨタ new Prius ブラジル発表

- ハイブリッド車『4代目新型プリウス』を6月7日、ブラジリアで発表、「持続可能な社会の実現に向けて、ブラジルの自動車産業の未来を牽引してゆく」とアナウンス。
- ハイブリッド車の輸入関税は35%から4%引き下げされ、サンパウロ市やリオ市では自動車保有税が半額返還。サンパウロ市内の通行規制も免除など、官民一体で普及を進める。



### 安全規制

- ◆ 側面衝突 技術規格(NBR std.) 2018年8月有効
- ◆ 灯火器 法規改訂提案(UN-R, FMVSSベース) 2016年2月提出 (有効となるタイミングは未定)

国連法規UN-R正式加盟を見据えて、ブラジル法規も国際基準に調和していく予想

- 環境安全技術で優位に立つ日系メーカーにとっては、将来の市場回復に向けたブランド強化の切り札となる可能性

# 四輪業界動向

2016年8月25日

1. 2016年上期 振り返り
2. 2016年下期展望
3. 長期展望
4. 日系ブランド課題への対応
5. 総括

## 5. 総括 – まとめ

### 2016年 上期実績/下期展望

- ジウマ大統領の弾劾手続き継続が下院で採択された4月以降、一部経済指標で若干の改善が見られる。
- 自動車市場における消費者購買意欲は上向かず、需要停滞継続。

### 状況を踏まえた対応

- 政治経済の急激な変化が今後も起こり得るという前提の下、中長期の方向性は変えず、環境変化に負けない事業体質強化が一層求められる。
- 引き続き、為替対応を踏まえた部品現調化や生産性向上などにより、コスト低減、および輸出促進を図る。
- 現調化や輸出のさらなる加速には、ブラジルの国際的コスト競争力向上が鍵となる
- 税制改革や裾野産業の育成など、低いコスト競争力を打開する恒久的な取組みが官民連携の下で必要

## 5. 総括（政府への提言）

### 政府および自動車業界の取り組みと課題

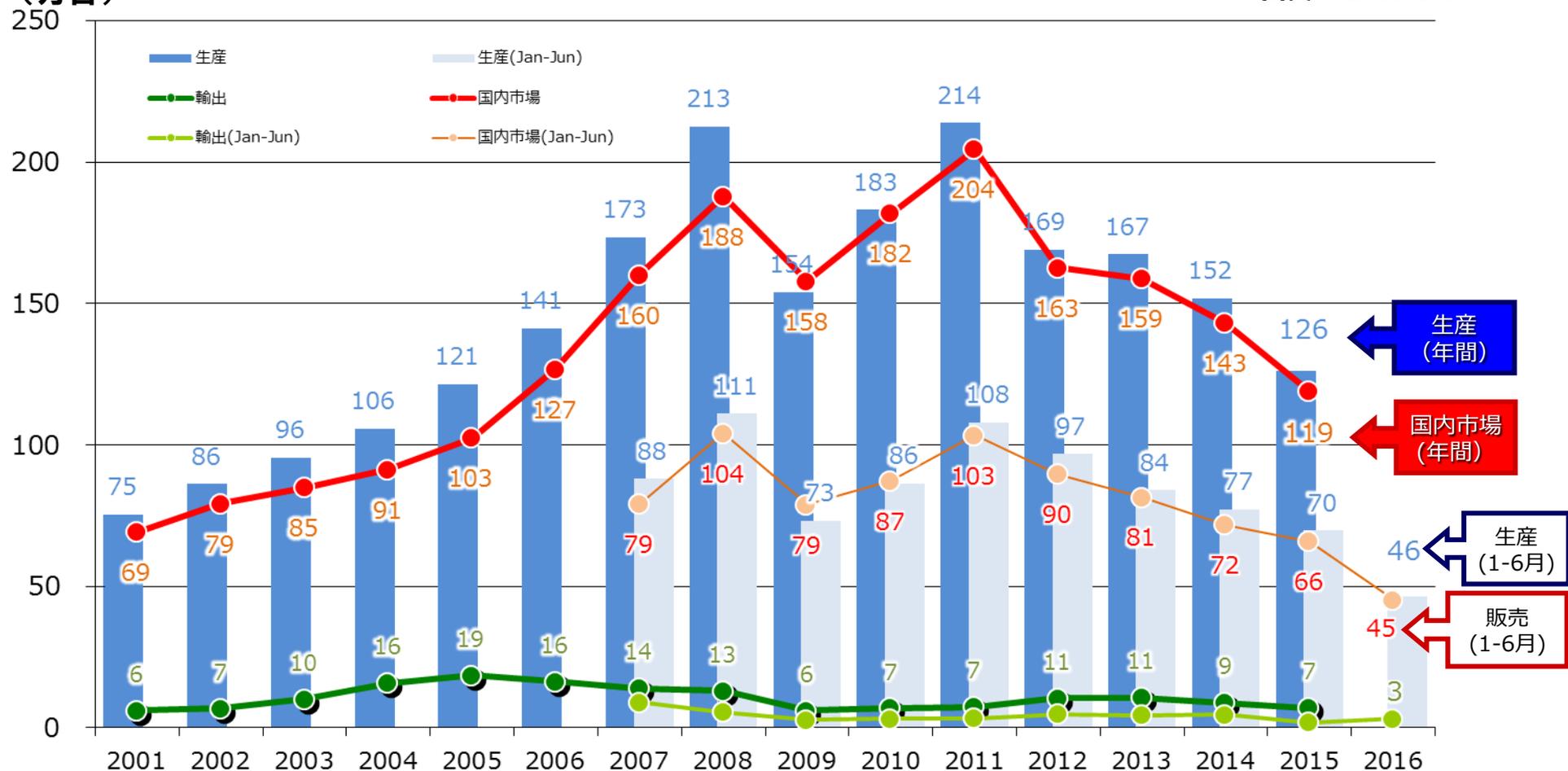
- 1) 新技術導入を促進する適切な自動車政策
  - 新技術を搭載した商品のブラジルのお客様への提供、ブラジルへの新技術集積
- 2) 自由貿易政策／輸出促進政策
  - ブラジル製車両の輸出拡大に向け、短期の経済情勢や貿易収支動向に影響を受けない一貫した政策の継続
- 3) 人材育成
  - エンジニアや熟練労働者等、技術開発やモノづくりの分野でリーダーシップを発揮できる人材育成
- 4) 協調的な労使関係
  - 生産性向上、および持続的成長に向けた労使協力（労働環境の改善、柔軟な生産弾力性の確保）
- 5) 人的交流
  - 日伯関係のベースは人的交流

# 二輪業界動向

## 二輪車 生産・販売 推移

出典: Abraciclo

(万台)



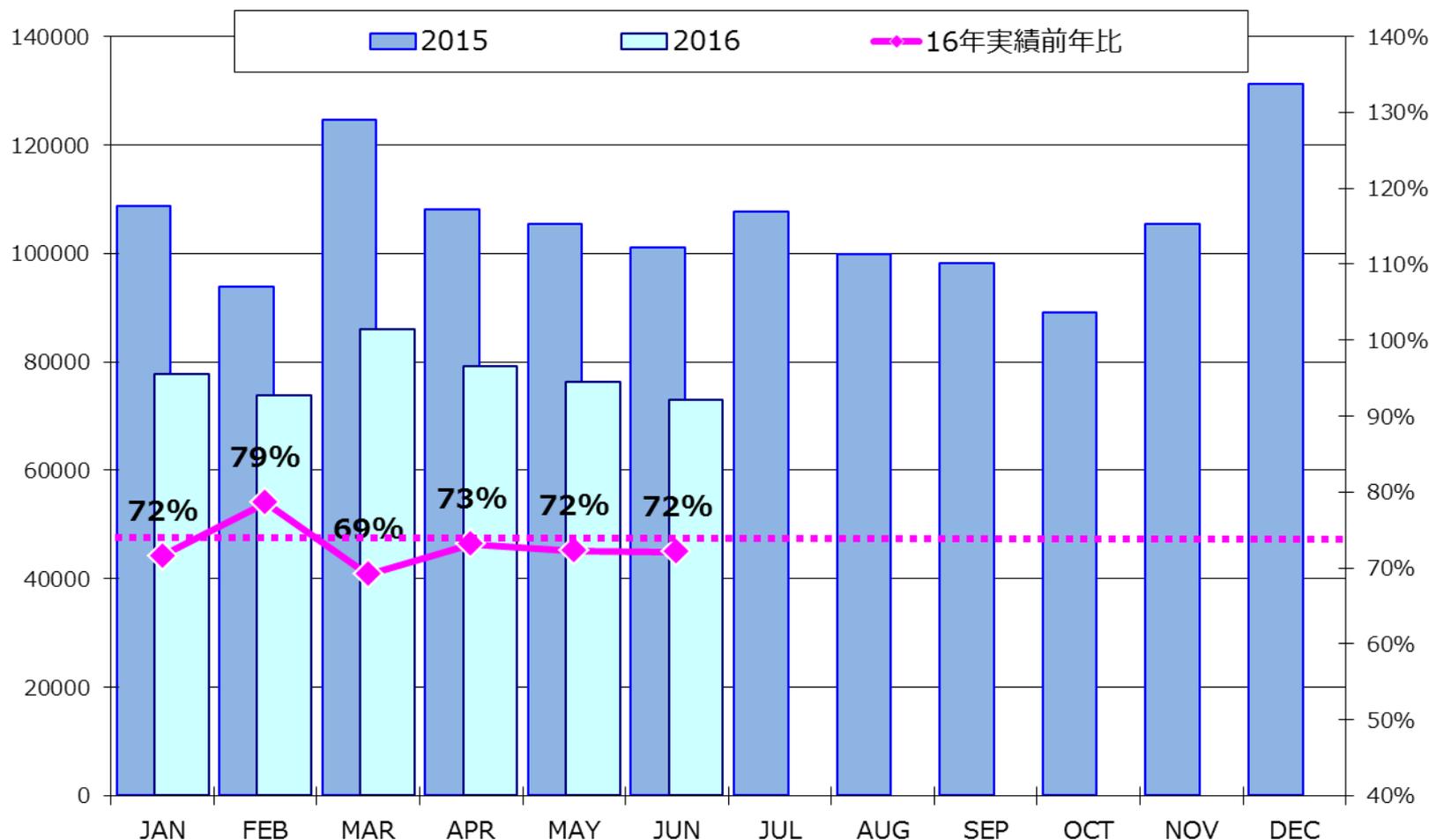
## 2016年上期実績

卸 45万台(前年比69%)  
 生産 46万台(前年比67%)  
 輸出 3万台(前年比170%)

インフレ・レアル安・解雇増等の経済環境悪化により、  
 二輪市場は前年比7割程度の厳しい市場環境となる  
 レアル安を背景に輸出台数は大幅増加

## 二輪車 月別販売推移 (2015年vs2016年)

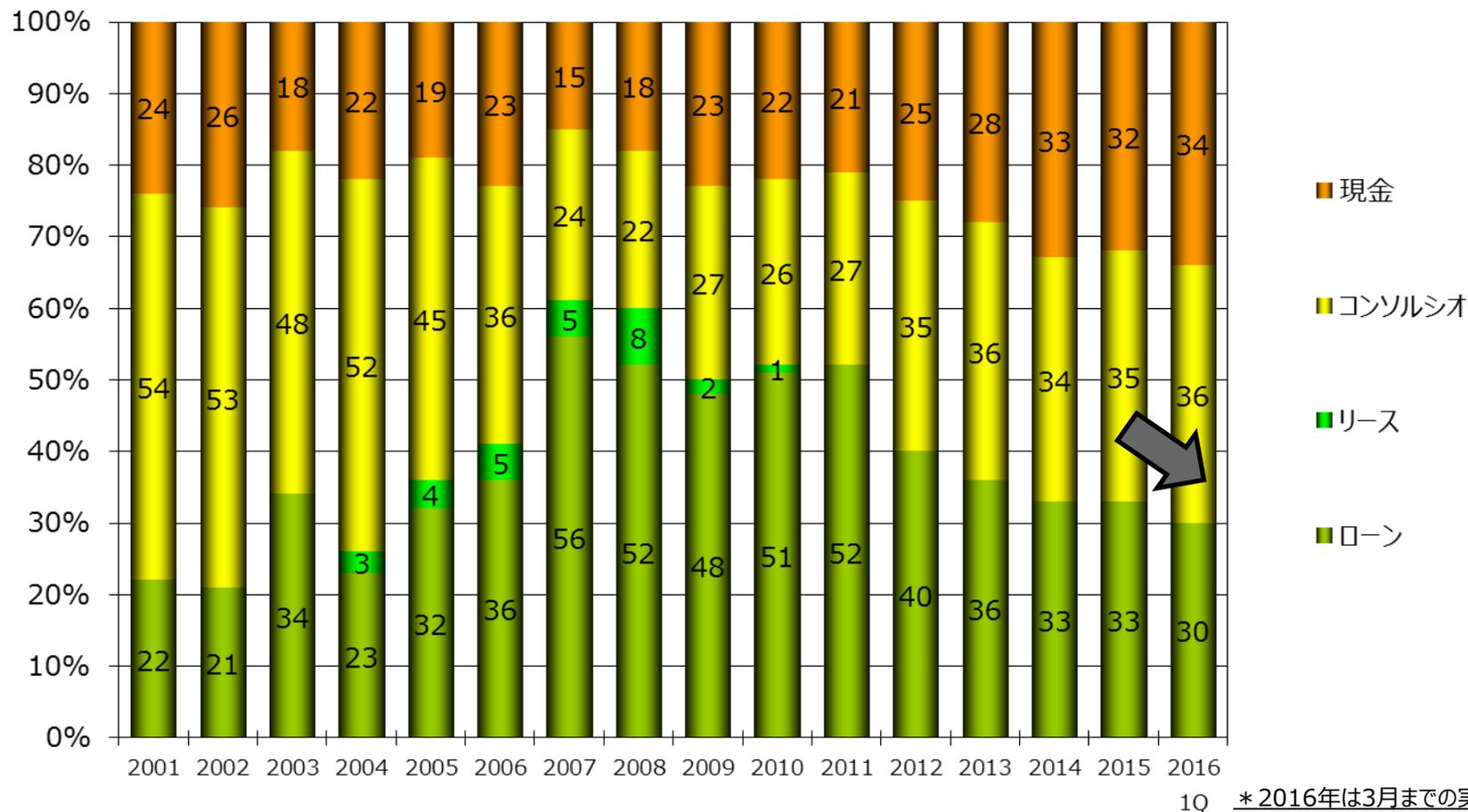
登録データ(DETRAN)



失業率の上昇や顧客の購買力低下によって、16年上期累計は前年比73%と大幅前年割れ。  
負債や金利の高止まり等により、下期も厳しい市場環境が予想される

## 二輪車 支払形態別 販売比率

※出典: ANEF(自動車メーカー系金融会社協会)



ファイナンスの与信審査厳格化が2016年も続き、ローン販売比率は更に低下。

Obrigado!

**コンサルタント 部会**

**西口 阿弥 部会長**

**Departamento de Consultoria e Assessoria**

**Presidente: Aya Nishiguchi**

# 2016年上期の回顧と下期の展望

## 『どん底の時期ならではの戦略は？ －課題整理と対処方策－』

コンサルタント部会

2016年8月25日

## ▶ 人材派遣会社

- ▶ 失業率の上昇のため履歴書の数に6ヶ月前に比較し12%増加
- ▶ 現状も日本企業の日本語を話せる従業員の雇用希望の数は減っていない
- ▶ 給与削減などの理由から入れ替えをしている企業が多い
- ▶ 良い人材が余っており採用される数は増えていない

## ▶ 広告会社

- ▶ 広告のデジタル化、ソーシャルメディアの広告が増えている
- ▶ 自動車、飲料企業の広告数は増加

## ▶ 法律事務所

▶ 新規投資はない

▶ 訴訟が一般的に増えている(特に労働訴訟)

▶ 延滞債権が増えているためその関係の案件で忙しい

## ▶ コンサルティング会社

▶ 新規投資はない。M&AやJV検討している会社はある

▶ 在庫の整理に関連した税務のコンサルティング

▶ 在庫管理、節税や溜まったタックスクレジット解消のための物流の検討

# コンサルタント部会

---

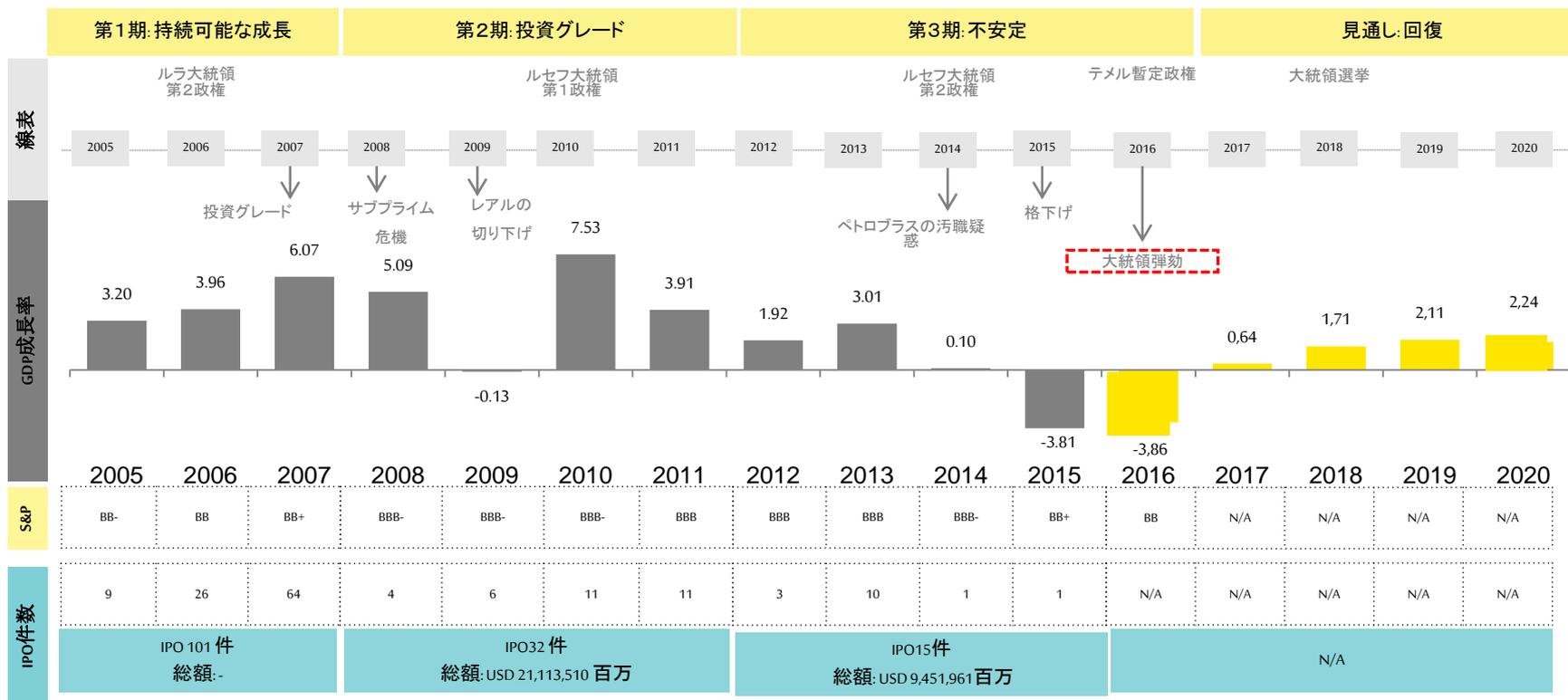
- ▶ コンサルティング会社（続き）
- ▶ 延滞債権の回収についての問い合わせ
- ▶ 借り入れに関連し増資、減資、デットエクイティーコンバージョンを検討している会社が増えた
- ▶ ブラジル労働法に基づいた人事制度の整備の問い合わせが増加
- ▶ 労務やリストラに関する問い合わせがまだある
- ▶ 不正防止、不正調査やその対応の問い合わせ

# 経済概況

## 歴史的背景

1980年代 から90年 代まで	失われた 80年代	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 70年代後半における石油ショックと輸入依存体制によりブラジルは80年代に多額の対外債務を抱え価格の上昇を抑えることができず超インフレ状態に至る。</li><li>▶ ブラジル経済は輸入が完全に止まったため国内生産体制は陳腐化する。所得配分の不平等、膨大な低所得層、高金利、さらに信用も得られない状況が続く。</li></ul>
1990年代 から2000 年まで	90年代に おける構造 調整と改革	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 90年代初頭ブラジル政府はインフレを抑制(それ以来インフレは一桁台である)著しい民営化制度でブラジル市場を自由化する。90年台を通して厳格な財政政策が導入され政府の規模と支出が縮小され対外債務を返済する。所得水準の低下、政府の支出削減と高金利により10年間は消費が減退し住宅供給とインフラの大幅な不足をもたらす。</li><li>▶ 従って20年以上も国民は十分な所得もなければ信用も得ることができず食・住などの基礎物資の消費はもちろん保健や教育への支出もできない事態が続く。</li><li>▶ この期間政府による投資は極力限定される。</li></ul>
2000年以 降	継続的な 成長	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 2000年以来完全に安定した経済と対外債務の全額返済により金利は低下、信用市場も回復し所得再配分政策により5000万人は新中間所得層に加わる。</li><li>▶ 所得の増加と信用が得られることによりブラジル人の消費は拡大する。これらの要素と政府の産業全般への優遇政策さらに自動車産業への優遇措置が人為的な成長と国内債務の増大につながる。</li></ul>
	現在	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 減税や好ましい信用条件の不足と不確実な経済や政局は国の経済に影響を及ぼし自動車産業に圧力を加える。</li></ul>

# 経済概況



出所: BM&FBovespa/ブラジル中央銀行/Standard&Poors  
 \* 為替レートR\$ 2,35/USD (2000-j2015年7月までの平均)

# 大統領弾劾

## 概要

### ルセフ大統領の弾劾と暫定政府の今後の政策

- ▶ 2016年4月17日ブラジル連邦共和国の下院は必要な2/3の票を得てルセフ大統領の弾劾手続き開始を承認した。承認されたのちに本件は上院に移され特別委員会が審議する。
- ▶ 2016年5月12日上院は単純多数決で弾劾手続きの開始を承認し、ルセフ大統領は最大180日職務の停止となり裁判が始まる。同週暫定政府は当時の副大統領のミシェル・テメルにより発足する。
- ▶ ルセフ大統領は政権第一期、第2期に連邦政府の支出に違法な金融取引を行った容疑で裁判にかけられている。総額185億米ドルの政府の支払いが行われた連邦政府の銀行へ債務が送金されている。
- ▶ しかし政府は国庫からの資金を得ないまま連邦政府の銀行は支払いを行い、政府は債務の返済を遅らせた。これは政府が人為的に政府勘定を改善し、歳出のためにより時間を稼ぐ間接的な方法である。
- ▶ これらの金融取引の実施は連邦予算法に反する犯罪と見なされている。
- ▶ 裁判での審理の後上院はまた採決を行い大統領が完全に失職するには2/3の賛成票が必要である。

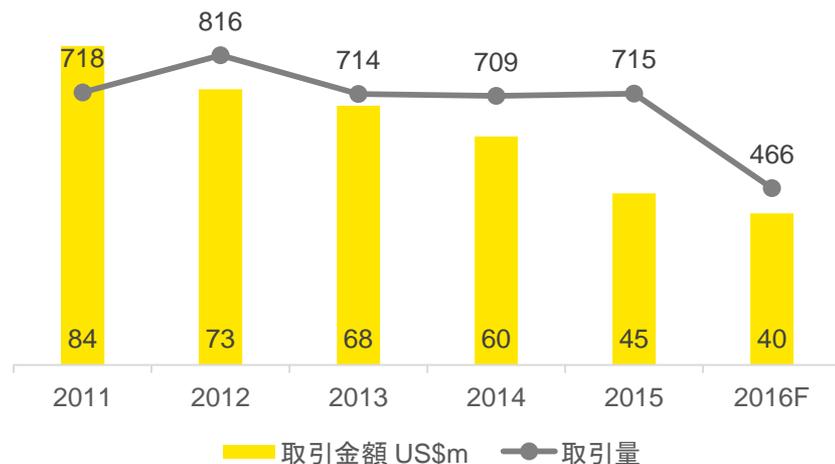
### 暫定政権の「将来への架け橋」計画

- ▶ ミシェル・テメル大統領代行はブラジルの成長を再び確保するために財政緊縮を提唱する同氏の社会民主党PMDBが当初2015年11月に作成した「将来への架け橋」計画の拡大を考えている。以下がそれに伴う経済措置である。
- ▶ インフラに関するあらゆる可能な分野を民営化しPPP(官民パートナーシップ・プロジェクト)を促進する。入札に関する法律の改正も含め民間セクターとの関係を再定義することにより汚職を防止する。
- ▶ マーケットのインセンティブを歪曲するような介入のない関税のある現実主義も含めた民間経済における意思決定の論理を尊重するビジネスモデルにより効果的で支配的に参加できるインフラの建設と運営を参加させる。
- ▶ テメル大統領代行は増税を好まないと言われているが側近によると税率の引き上げも可能であることを認めている。増税は政府の歳出削減後の方が好都合である。

# ブラジルM&A

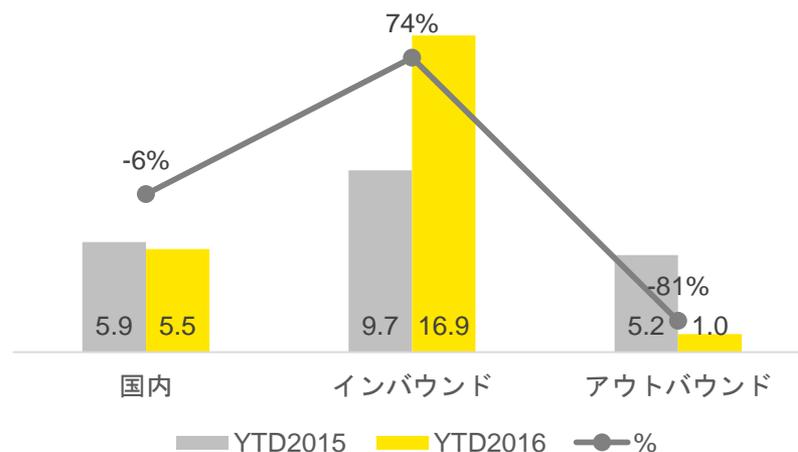
- ▶ 経済、政治情勢により2015年に比較し取引の量は減少の傾向にある。
- ▶ 18ヶ月前に比較しEBITDAsの減少、米ドルに比較しレアル安により、ブラジルの企業は国内、海外企業にとって魅力的であり続ける。
- ▶ 2016年後半から2017年はM&Aは増えるのでは？

過去5年のブラジルでのM&A



出所: Dealogic, 2016年8月1日現在

ブラジルでのM&A取引数



出所: Dealogic 2016年8月1日現在

# コンサルタント部会からのメッセージ

---

2016年上期の回顧と下期の展望

どん底の時期ならではの戦略は？

－課題整理と対処方策－

Veja誌(6月9日)－GDPは底を打ったのではないか？

- ▶ 良い人材の採用、確保を！
- ▶ M&Aの準備を！
- ▶ 不動産やM&Aは掘り出し物を探そう！
- ▶ キャッシュフローの整理を！
- ▶ 労務訴訟を減らすための対策を！

コーヒーブレイク

**COFFEE BREAK**

## 後半司会

大久保 敦 総務・企画委員長

APRESENTADOR

Presidente da Comissão  
de Coordenação Geral/  
Planejamento :

Atsushi Okubo

**電気電子 部会**

**磯村 恵次郎 副部会長**

**Departamento Eletroeletrônico**

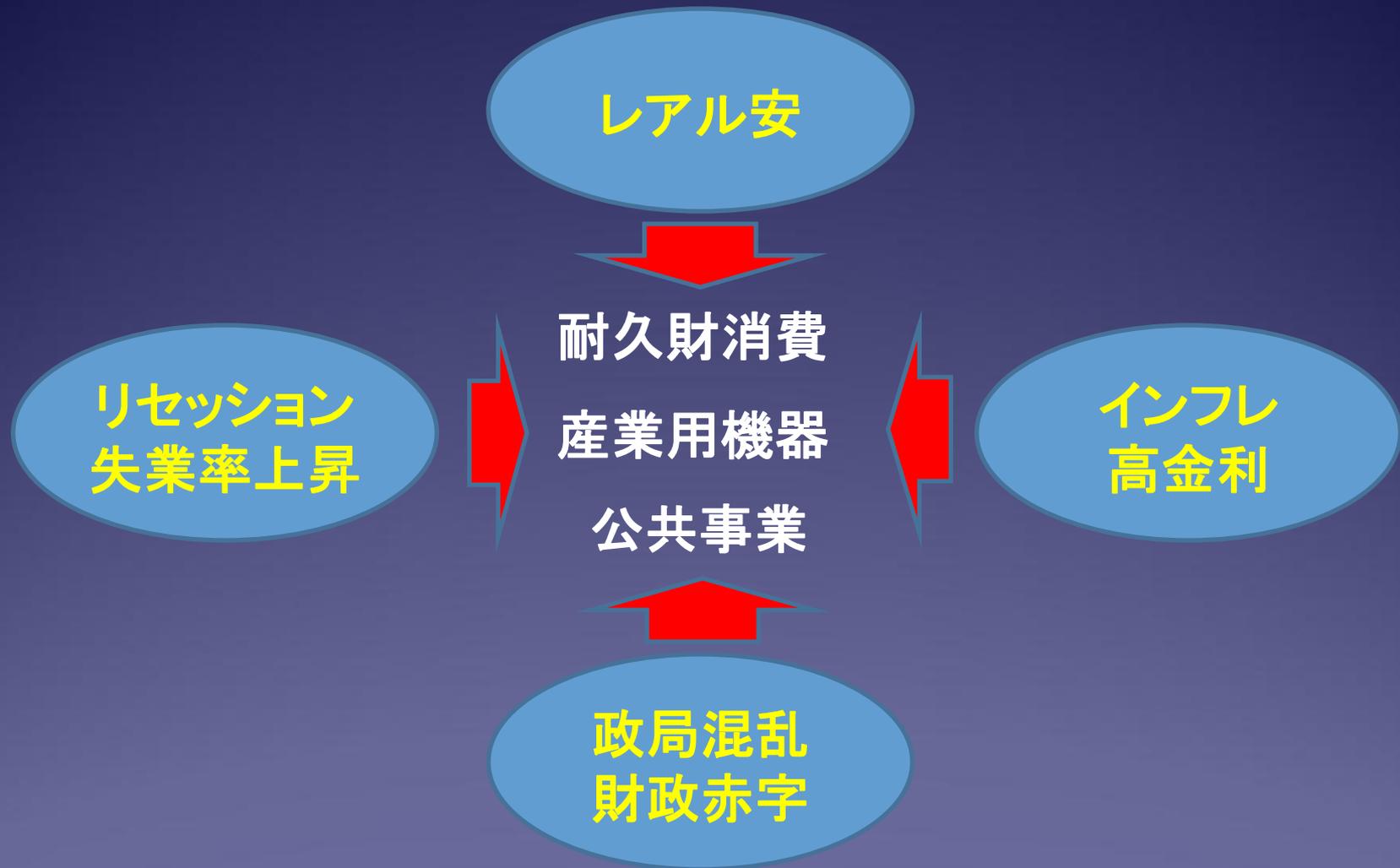
**Vice-Presidente: Keijiro Isomura**

# 電気電子業界

## 2016年上期回顧と下期展望

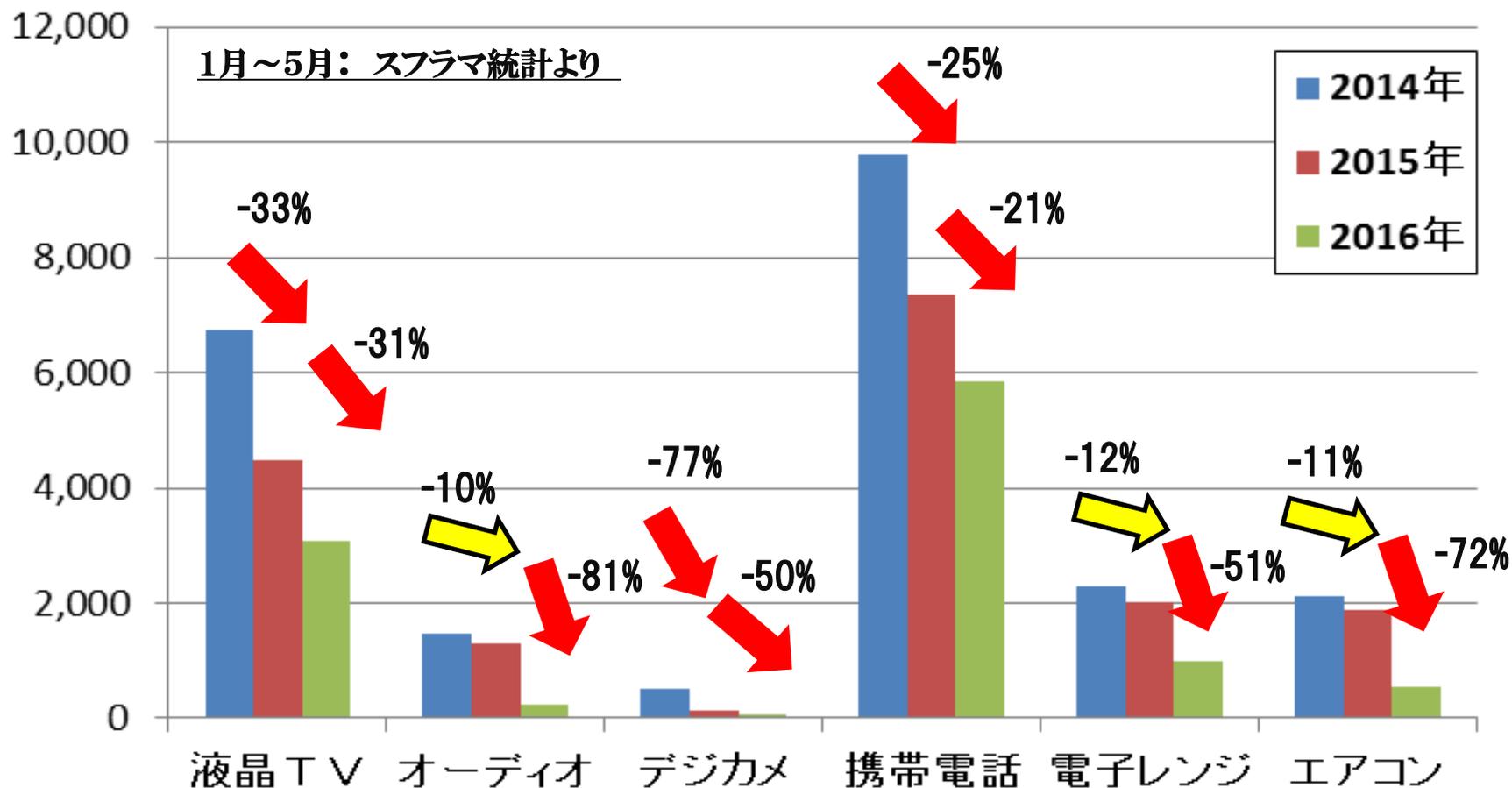
2016年8月25日  
電気電子部会

# 電気電子業界の事業環境



一般消費者向け耐久消費材、産業向け機器、公共事業の全分野にわたって  
事業環境は「どん底」の状況にある

# 主要家電製品 マナウス生産数量推移



- 1～5月の生産数量は全カテゴリーで大幅な減少を記録
- 需要の減少は各カテゴリーとも2割～3割程度と言われているが、上半期の生産数量減少の割合は在庫の過多によりばらつきがある

# 2016年上期回顧と下期展望 会員アンケート結果

今年2月時点  
での  
2016年展望

	改善	維持	悪化	合計
16年展望	8	3	2	13
(%)	62%	23%	15%	100%



今回の  
アンケート  
結果

	改善	維持	悪化	合計
上期回顧	5	3	4	12
(%)	42% ↓	25%	33% ↑	100%

	改善	維持	悪化	合計
下期展望	8	2	2	12
(%)	67% ↑	17%	17% ↓	100%

「維持」を対前年比100～109%として分類

## <サマリー>

- リセッション突入前から事業構造改革に取り組んできた企業が多く、「どん底」の経済環境の中でも着実に改善に向かっている
- 上期は前年同期がリセッション突入前であったことから業況悪化の割合が増えているが、下期に向けての業況展望は2月時点から変化ない
- 景気の「底打ち」感、政治混乱の決着、為替安定への期待はあるものの、各社ともボラティリティの高い環境を強く意識した慎重な事業運営を志向している

# 2016年上期回顧 会員アンケート 主要コメント

(-)

- 需要の低迷(一般消費、産業需要、官需全般に渡り)
- 取引先(小売店等)の資金難による販売低迷
- 値上げによる販売数量減
- 為替悪化、インフレによる収益性悪化
- 資金管理、債権管理の困難

(+)

- 景気の「底打ち」感
- 高付加価値商品へのシフト
- 競争力強化によるシェア拡大
- 新規ビジネス立ち上げ・拡大(企業買収含む)
- 輸出拡大
- オリンピック関連需要の獲得(産業向け)

Neutral

- 投資の厳選
- 経営体質の強化(従業員削減)

# 2016年下期展望 会員アンケート 主要コメント

(-)

- ・ 市場環境の急速な改善は望めない(時間掛かる)
- ・ 政治の安定への懸念
- ・ 為替変動への懸念
- ・ インフレ・金利等の経済基盤要素の動向への懸念
- ・ 税金関連の悪化懸念(増税に関する懸念)

(+)

- ・ 「底打ち」から回復への期待(政治も経済も)
- ・ 高付加価値商品へのシフト
- ・ 競争力強化によるシェア拡大
- ・ 新規ビジネス拡大(企業買収含む)
- ・ 輸出拡大

Neutral

- ・ 投資の厳選
- ・ 構造改革・経費削減努力の継続、強化
- ・ 資金管理・債権管理・在庫管理の強化
- ・ ポスト・リセッションに向けた種蒔きと体制構築

# シンポジウム副題に関して

「どん底の時期ならではの戦略は？～課題整理と対処方策～」

短期的な業績に左右されずに長期視点での経営判断が重要

経営基礎体力の強化が重要(事業戦略、財務、人材)

リセッションの出口に向けての準備をしっかりと進める時期

ビジネスパートナーの選別(この先、誰と組むか)が重要

様々なスキームの活用、組み合わせによるメリット創出

スペイン語圏でのビジネス伸長を目指した活動

為替変動への耐性強化

# 商工会議所、ブラジル政府、日本政府への要望

## ポスト高度成長のブラジルの魅力は何なのか？

政治・経済・為替の健全化・安定化への努力

新規事業や輸出拡大努力へのインセンティブ付与(税恩典等)

複雑かつ高率な税制の改善(簡素化、透明化、低減)

ICMS ST / クレジット累積問題を解消する税制の改善

硬直的な労働法の改善(高コスト構造の是正)

ビジネス・インフラの整備(物流ネットワークなど)

ブラジル・日本の両国政府間での中長期的な関係強化

ファイナンス、ファンディング、パートナーリングの支援・連携促進

ビジネスにおけるブラジルの魅力をアピールする努力

ご静聴、ありがとうございました。

**化学品 部会**

**中村 博 部会長**

**Departamento de Produtos Químicos**

**Presidente: Hiroshi Nakamura**

# 化学品部会

2016年上期の回顧と下期の展望

副題：「どん底の時期ならではの戦略は？  
～課題整理と対処方策～」

2016年8月25日

# 化学品部会アンケート

## 「2016年上期の回顧と下期の展望」

アンケート依頼：53社（者）

28社・38回答

（一部複数回答あり）

# 化学品部会 会員企業・団体:53社(者)

Adeka Brasil Representação Comercial Ltda.  
Azbil do Brasil Automação Ltda.  
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S.A.  
Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A.  
Bridgestone do Brasil Indústria e Comércio Ltda.  
Celulose Nipo-Brasileira S.A. (Cenibra)  
[Daicolor do Brasil Indústria e Comércio Ltda.](#)  
EPCOS do Brasil Ltda.  
[FUJIFILM do Brasil Ltda.](#)  
[Harima do Brasil Indústria Química Ltda.](#)  
[Hisamitsu Farmacêutica do Brasil Ltda.](#)  
Honda Lock São Paulo Indústria e Comércio de Peças Ltda.  
[Idemitsu Lube South America Ltda.](#)  
[Inabata Brasil Importação e Exportação Ltda.](#)  
Itochu Brasil S.A.  
Jetro, São Paulo (Japan Trade Center)  
JICA (Escritório Anexo do Consulado Geral do Japão em São Paulo)  
[JX Nippon Oil & Energy Brasil Ltda.](#)  
[Kaneka South America Representações Ltda.](#)  
[K-I Chemical do Brasil Ltda.](#)  
Kisco do Brasil Comércio de Produtos Químicos Ltda.  
Kito do Brasil Comércio de Talhas e Guindastes Ltda.  
[Kuraray South America Ltda.](#)  
[Kurashiki Chemical Products do Brasil Ltda.](#)  
Kurita do Brasil Ltda.  
[Kyocera do Brasil Componentes Industriais Ltda.](#)  
[Marubeni Brasil S.A.](#)

Mitsubishi Corporation do Brasil S.A.  
Mitsui & Co.(Brasil) S.A.  
[Mitsui Chemicals do Brasil Comércio Ltda.](#)  
[Miura Boiler do Brasil Ltda.](#)  
[Nagase do Brasil Comércio de Produtos Químicos Ltda.](#)  
Nagawa do Brasil Indústria de Construções Modulares Ltda.  
Nichino do Brasil Agroquímicos Ltda.  
[Nisso Brasileira Representação Ltda.](#)  
Okaya do Brasil Comércio Ltda.  
[Otsuka Indústria de Produtos Químicos do Brasil Ltda.](#)  
[Pilot Pen do Brasil S.A. Indústria e Comércio](#)  
[Rohto do Brasil Planejamento e Desenvolvimento Ltda.](#)  
Shin-Etsu do Brasil Representação de Produtos Químicos Ltda.  
Shiseido do Brasil Ltda.  
SOCIEDADE COMERCIAL TOYOTA TSUSHO DO BRASIL LTDA.  
Sojitz do Brasil S.A.  
[Sumitomo Chemical do Brasil Ltda.](#)  
[SUMITOMO CORPORATION DO BRASIL LTDA.](#)  
[Takasago Fragrâncias e Aromas Ltda.](#)  
[Three Bond do Brasil Indústria e Comércio Ltda.](#)  
[Toray do Brasil Ltda.](#)  
[Toyo Ink Brasil Ltda.](#)  
[Toyobo do Brasil Ltda.](#)  
[UBE Latin America Serviços Ltda.](#)  
Ueno Profit Assessoria em Controladoria S.S. Ltda.  
Unicharm do Brasil Indústria e Comércio de Produtos de Higiene Ltda.

※青文字は提出会員:28社・38回答

# おことわり

- 回答数は、企業ベースでは28、事業ベースでは38でした。
- 化学品部会会員企業の事業は極めて多岐にわたるため、仮に同一企業であっても、業況は大きく異なることがあります。
- このアンケート集計においては、事業ベース38の回答を元に検討することになりました。

# アンケートの主な項目

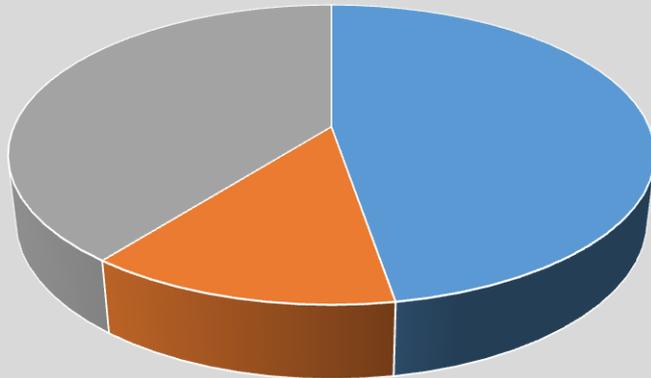
- 2016年上期の回顧
  - 売上と利益、特筆すべき出来事
  - 現状への対応策(効果・課題)
  - 周辺諸国向け対応
- 2016年下期の展望
  - 売上と利益、特筆すべき出来事
  - 展望に向け必要と思われる対応策(課題)
- 展望に関連したカマラ活動、伯日政府への要望

# 化学品部会38事業合計

## 2016上期の回顧

売上

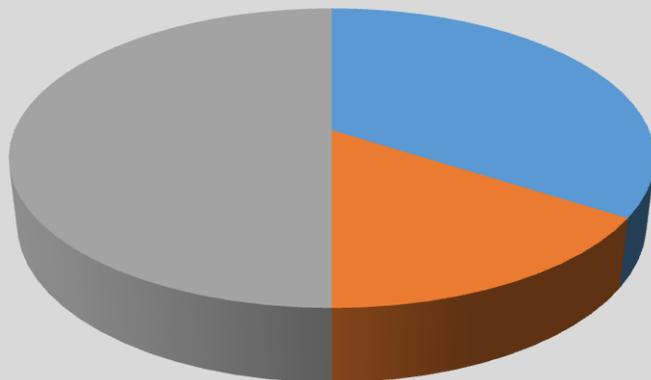
2016上期売上



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

利益

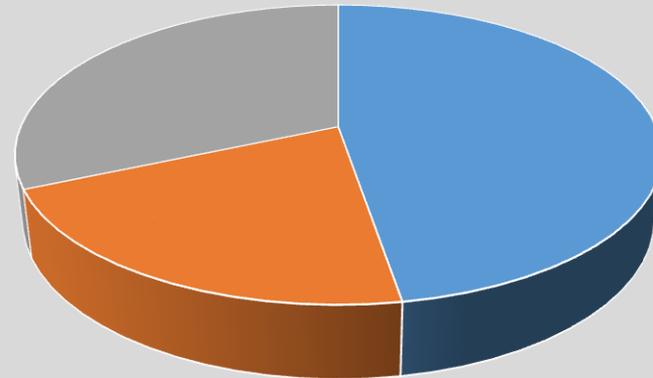
2016上期利益



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

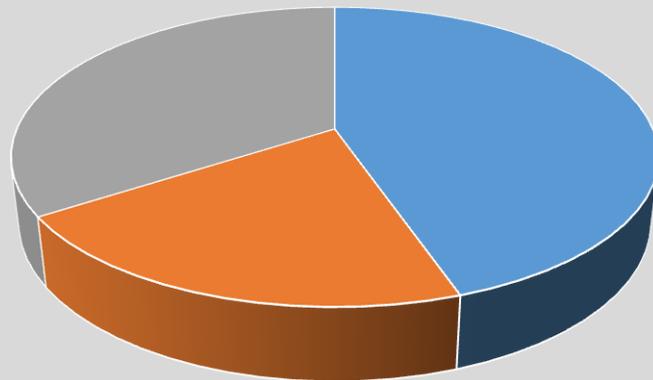
## 2016下期の展望

2016下期売上



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

2016下期利益



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

上期は、「売上増加」の事業が約半分

# 上期における特筆すべき出来事／環境変化

## • プラス (Opportunity)

- 天候・疫病(五輪需要) 3
- 競合の撤退 2
- デジタル化の進展 1
- 公定価格の上昇 1
- 中国製品からのシフト 1
- 規制強化(品質向上) 1
- 顧客の需要回復 1

## • マイナス (Threat)

- 顧客の倒産・需要減 16
- 価格競争激化 5
- 公的援助・費用削減 2
- GMO作物の増加 2
- 信用不安増加 1
- 天候 1

顧客の倒産・需要減・市場の縮小などが圧倒

⇒ 景気低迷が強く反映している

## 上期に行った現状への対応策(複数回答)

- 売上増加 30
  - 新規顧客開拓 14
  - 既存市場深耕 10
  - 新製品投入 5
  - 新分野進出 1
- その他(プラス拡大)
  - 人材育成 2
  - 設備投資 1
  - キャッシュフロー重視 1
- 経費削減 13
  - 与信管理強化 4
- その他(マイナス縮小)

- 積極策が多数派
- しかし、効果は限定的か？  
(cf.売上が増加した事業は半分に満たない)

## (対応策としての)周辺諸国向け対応

- 特になし／未着手 23
- 強化(アルゼンチン、チリ、コロンビアなど) 13
- 管轄変更(中南米一括管理へ) 2

- 「輸出していない／ブラジル市場のみ」などの回答が多い
- 周辺諸国に活路を見出したい企業／事業は少なくない

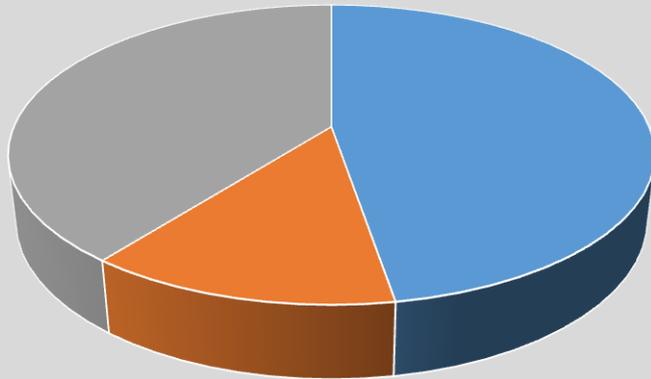
# 化学品部会38事業合計

(グラフ再掲)

## 2016上期の回顧

売上

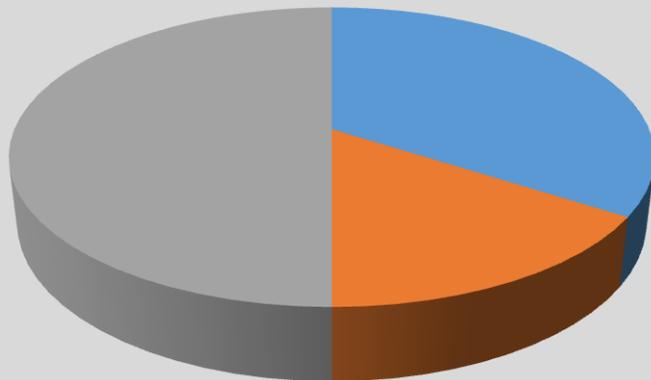
2016上期売上



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

利益

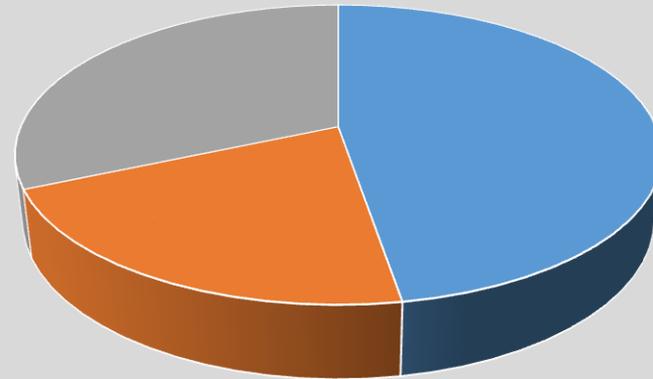
2016上期利益



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

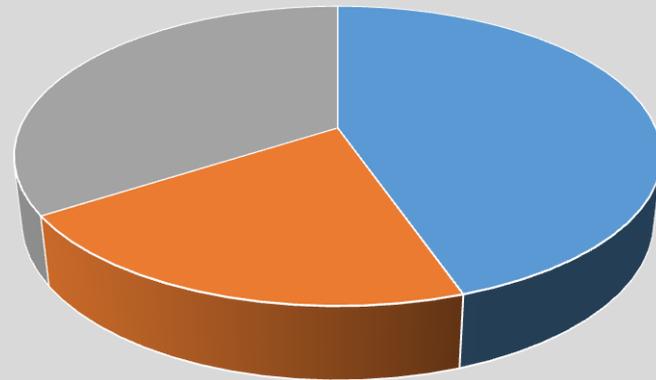
## 2016下期の展望

2016下期売上



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

2016下期利益



■ 増加 ■ 不変 ■ 減少

下期は、上期よりもやや明るい？(底打ち?)

# 下期に予想される特筆すべき出来事／環境変化

## • プラス (Opportunity)

- 市場・需要の回復 7
- 価格上向き(底打ち) 2
- 競合の撤退 1
- デジタル化の進展 1
- 中国製品からのシフト 1
- 政府資金に期待 1

## • マイナス (Threat)

- 顧客の倒産・需要減 16
- 価格競争激化 5
- 公的援助・費用削減 2
- 信用不安増加 2
- GMO作物の増加 1

引き続き「顧客の倒産・需要減」が圧倒しているが、  
一部「市場・需要の回復」が見られる

## 下期に必要と思われる対応策(複数回答)

- 売上増加 30
  - 既存市場深耕 11
  - 新製品・サービス 10
  - 新規顧客開拓 9
- その他(プラス拡大)
  - 設備投資 6
  - 人員増加・育成 2
  - 資金調達 1
- 経費削減 10
- その他(マイナス縮小)
  - 与信管理強化 2

- 上期同様に積極策が多数派
- 特に、「新製品・新サービス」と「設備投資」が大幅に増加
- 一方で、「回復を待つ」との回答も散見

# どん底の時期ならではの戦略は？

## — 課題整理と対処方策 —

### 化学品部会の結論

- ✓ 長い景気低迷により、厳しい事業環境が続いているが、
- ✓ 新規顧客開拓、新製品投入、設備投資、コスト削減など事業者の積極的な対応はいささかも衰えていない。
- ✓ やがて必ず訪れる本格回復を信じて、継続することが重要である。

# 下期展望に関連したカマラ活動・日伯政府への 要望は？（複数回答）

- ✓ 課税 : 30 (78.9%)
- ✓ 労働 : 22 (57.9%)
- ✓ 通関 : 17 (44.7%)
- ✓ インフラ : 14 (36.8%)
- ✓ 産業競争力  
    ／中小企業育成 : 10 (26.3%)
- ✓ その他

（政治安定、為替安定、規制緩和、審査迅速化、公的債務削減、観光振興など）

ご清聴ありがとうございました。

化学品部会

**食品 部会**

**藤江 太郎 部会長**

**Departamento de Gêneros Alimentícios**

**Presidente:Taro Fujie**

# 2016年上期回顧と2016年下期展望

『どん底の時期ならではの戦略は？  
—課題整理と対処方策—』

ブラジル日本商工会議所 食品部会

2016年8月25日(木)

# 目次

- ◆ 2016年上期業界動向
- ◆ 原材料動向
- ◆ 2016年下期の展望
- ◆ 第二回日伯農業・食料対話への積極的参画

# 2016年上期の業界動向

## ◆ 国内市場概況

- この2年間続いた経済情勢の悪化に底入れ感が出てきているものの、食品市場全体としては低調。
- 低価格指向が強まり、嗜好品への支出を抑制する傾向が継続している。
- 外食を控える傾向の中で、内食における低価格・基礎食品等の一部カテゴリーや大都市圏の市場等部分的に明るい兆しも見え隠れしている。

# 2016年上期の業界動向

## <飲料>

- ・発酵乳飲料 食品部会所属会社では金額ベース前年比105%、数量ベース前年並み。
- ・粉末飲料市場 118%(金額ベース前年比)

## <調味料>

- ・調味料市場 102%(金額ベース前年比)

## <スープ>

- ・粉末スープ市場 90%(金額ベース前年比)

# 2016年上期の業界動向

## <コーヒー>

- ・経済状況の悪化と流通在庫過多により国内消費は伸び悩み。
- ・低価格製品へのシフト。

## <即席めん>

- ・対前年93%で推移も、底を打った感が出てきており、下期の市場は回復に向かうと予測。

# 2016年上期の業界動向

## ＜畜肉・畜肉加工品＞

- ・ブラジル産鶏肉の日本在庫過多により、日本への輸出数量は大幅減。
- ・畜産各社は日本向けの数量を中国向けに切替え、結果的に中国向けの数量が過去最高を更新中。

## ＜清酒＞

- ・食品部会所属会社では、4月値上げ実施の影響もあり、上期通期で一桁%の伸びに留まる。

# 2016年上期の業界動向

## <チョコレート>

- ・景気の悪化がEaster商戦にも影響、スーパーでのEaster eggの売上は10%程度の落ち込み。

## <加工油脂>

- ・チョコレートの消費低迷に伴い、食品部会所属会社のココアバター代用脂の販売も対前年でダウン。

# 2016年上期の業界動向

## <香料>

- ・食品部会所属会社では、主力の菓子・飲料向けが低調も新規開拓で補い、全体として昨年並みの見込。

## <食品添加剤>

- ・食品部会所属会社では、既存取引は前年並みも、新規(顧客、用途)開拓は期待を下回る。

# 2016年上期の業界動向

## <種苗>

- ・世界的なM&Aによる業界再編の動きは依然活発。
- ・ブラジル種子業界では景気後退にも関わらず付加価値商品(F1ハイブリッド)需要が伸長。
- ・食品部会所属企業においては、野菜果物種子の売上が好調。  
一方草花関係は景気後退影響で前年比減。

# 2016年上期の業界動向

## <タバコ>

- ・食品部会所属会社では販売好調。  
レアル安や投資等が利益を圧迫も、  
当面事業規模拡大を継続。

## <アセロラ製品>

- ・食品部会所属会社では、レアル安の影響を受けて輸出販売は好調に推移。

# 2016年上期の業界動向

## <外食産業>

- ・外食市場の伸長率は、一昨年の16%に対し、昨年・今年とも9%と鈍化。
- ・経済不況の中、特に高級レストランを中心に売上、客数減。

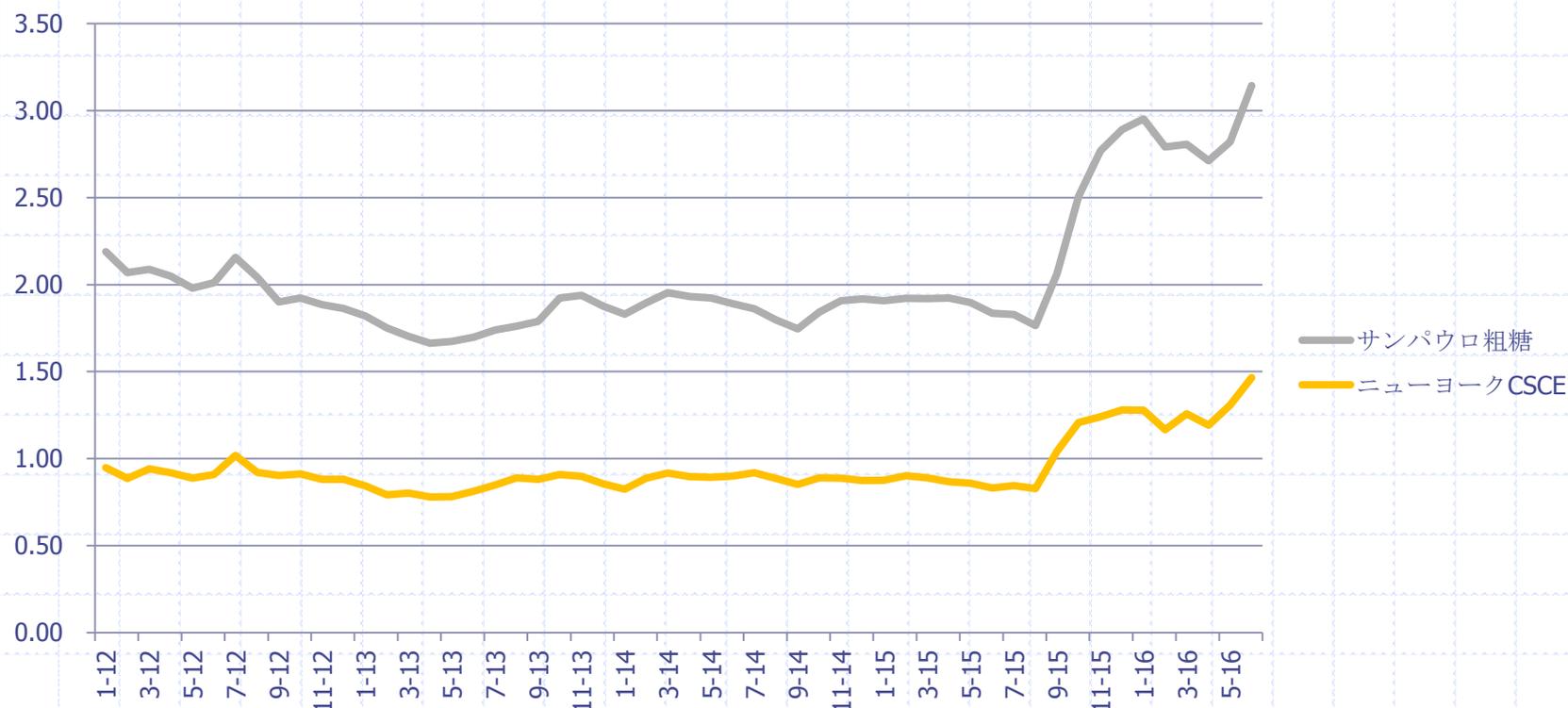
## <輸出>

- ・食肉はレアル安が貢献し鶏肉生産増加も、日本向けは在庫過多で価格は下落。
- ・オレンジ果汁は消費地在庫払底により反転。

# 原料動向

## 砂糖相場の推移(2012～)

粗糖キロあたりリアル単価

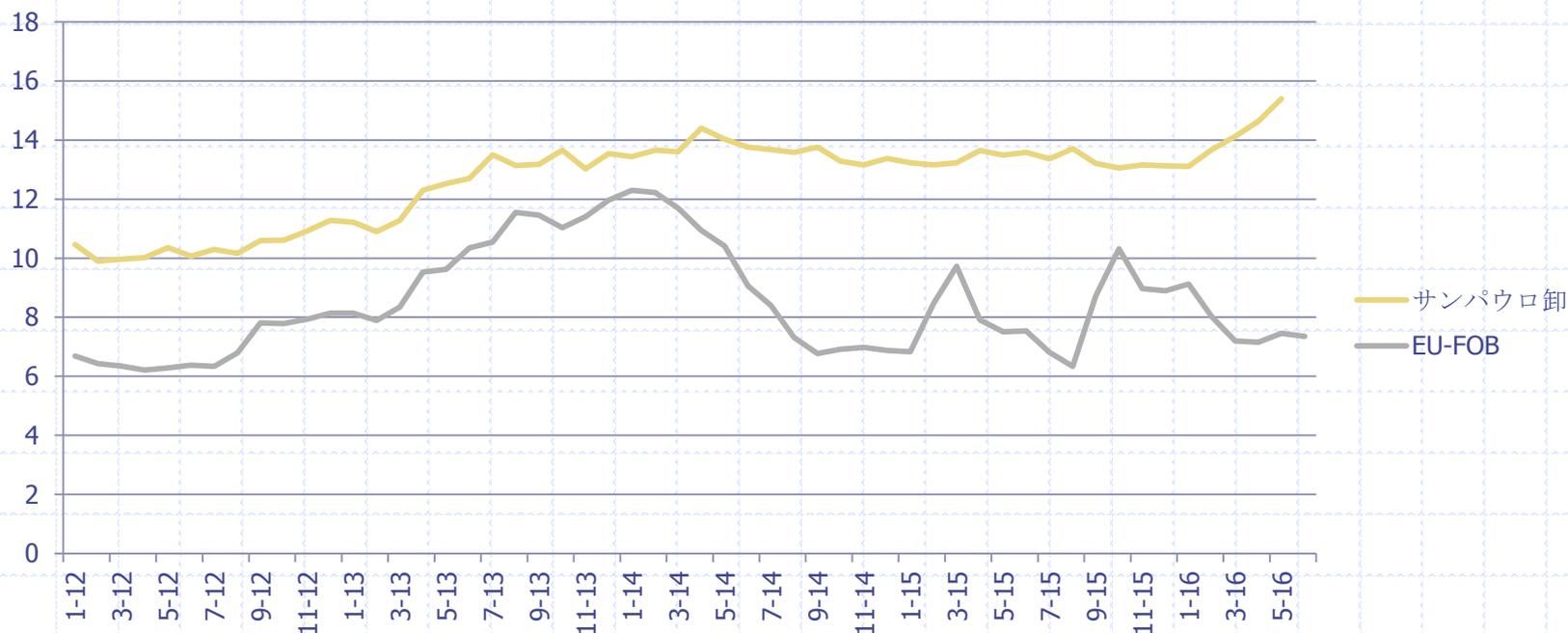


◆2012年以降、サトウキビの生産が安定し相場は落ち着いていたが、2015年後半からの異常気象(ブラジルでの2016年前半の異常降雨もその一つ)による収穫減懸念から高騰、加えてリアル通貨安で国内相場がさらに突出した。

# 原料動向

## 乳相場の推移(2012～)

全粉乳キロあたりリアル単価

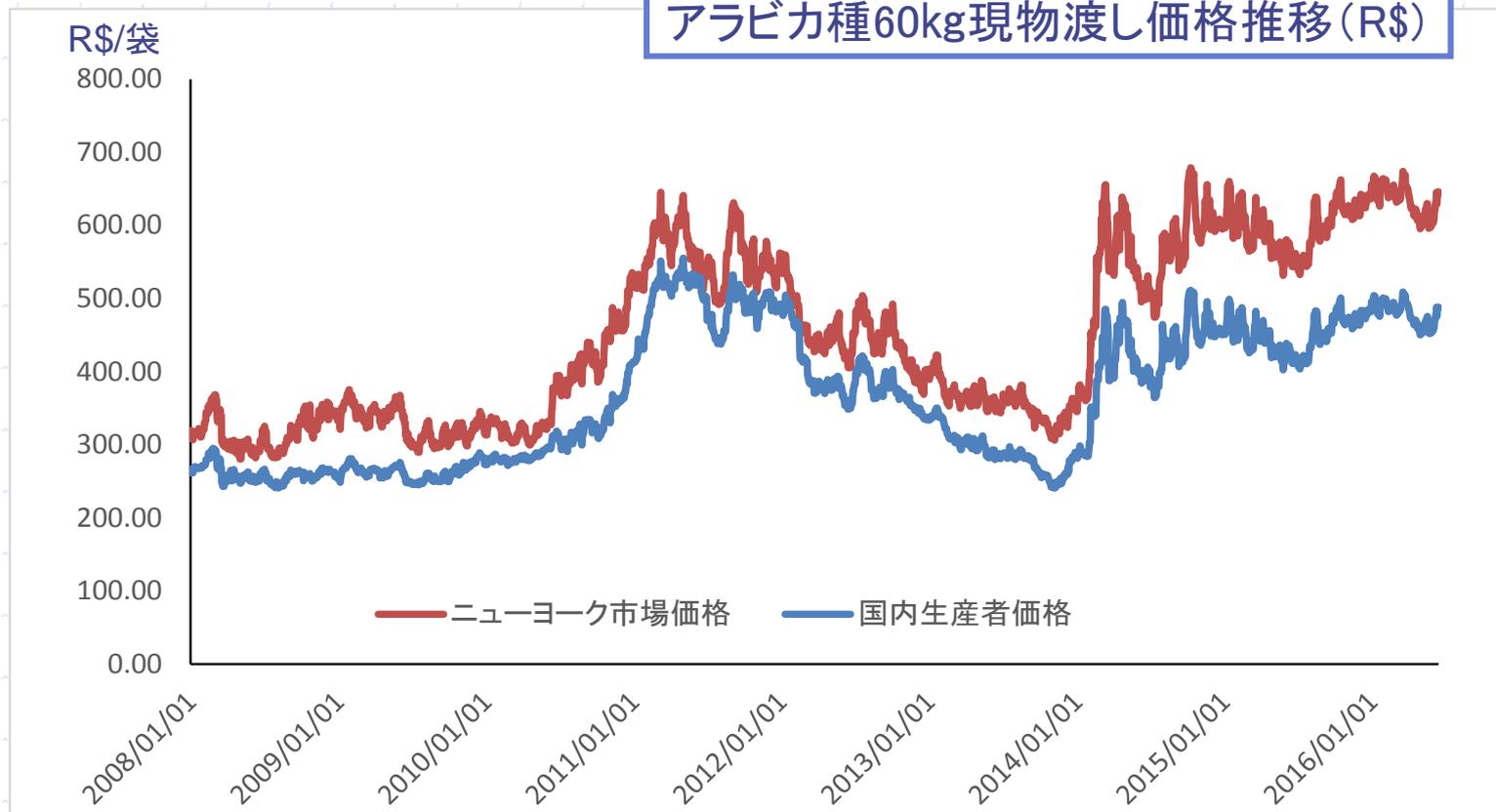


◆乳製品価格は2013年には一大供給地域オセアニアで干ばつによる大不作となり高値のピークを付けた。2014年に入ってから供給増大策が功を奏し国際的には大きく下落したものの、国内相場への影響はほとんどなく乖離が著しい。

# 原料動向

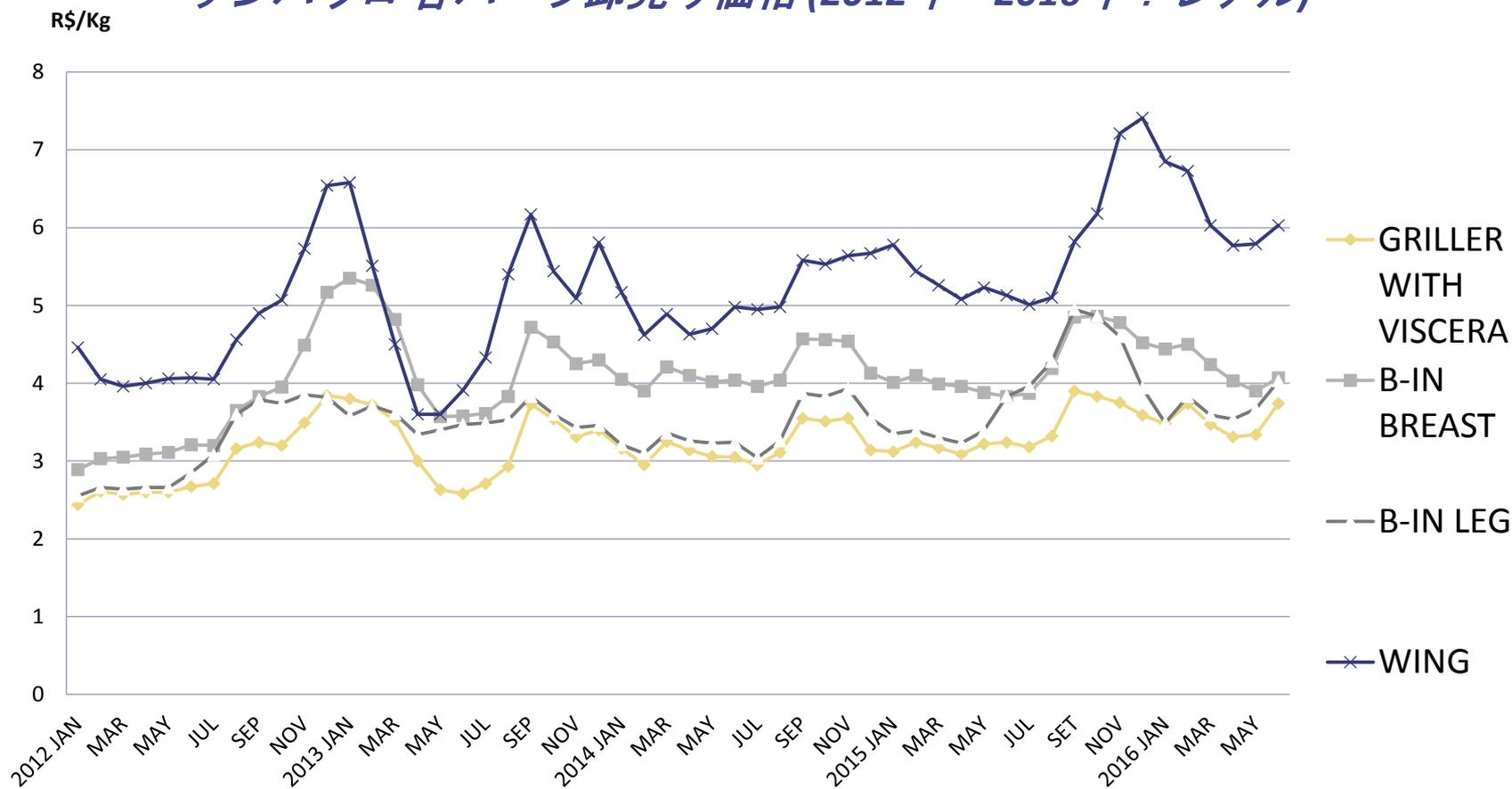
## コーヒー相場の推移

アラビカ種60kg現物渡し価格推移(R\$)



- ◆2016年上期は、ブラジル国内相場はR\$450～510のレンジで推移。レアル安継続により米ドル建て競争力が維持され、海外市場からの旺盛な買いが継続した結果。
- ◆2016年はアラビカ種は豊作が見込まれているものの、ロブスタ種の大幅な減産が見込まれていることに加え、引き続きレアル安の影響根強く高値維持が予想される。

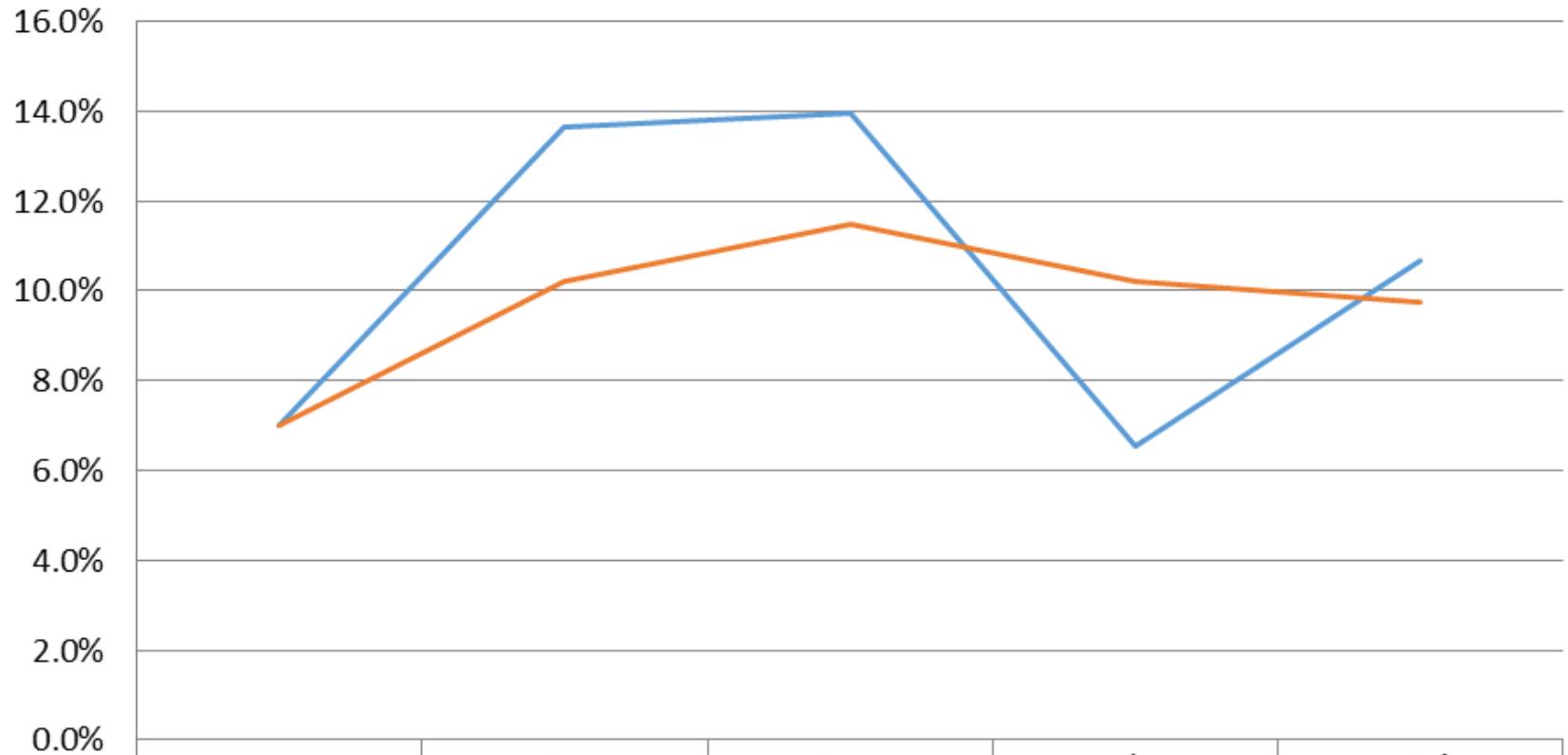
## サンパウロ 各パーツ卸売り価格(2012年～2016年：リアル)



資料(FONTE) : JOX

中国向けのWING(手羽)輸出が引き続き好調な事から、国内価格も価格は若干落ち着いたが高止り。その他アイテムでは、B-IN BREAST(骨付きムネ肉)の価格は下落しているが、B-IN LEG(骨付きモモ肉)は急激に中国向けの輸出が増加し、価格が上昇している。また、中東向けに安定的に輸出されているGRILLER(丸鶏)の国内価格も上昇している。

## 2016年度 スーパーマーケット売上前年比(名目)



— 単月前年比  
— 累計前年比

Jan

Fev

Mar

Abr

Mai

7.0%

13.6%

13.9%

6.5%

10.7%

7.0%

10.2%

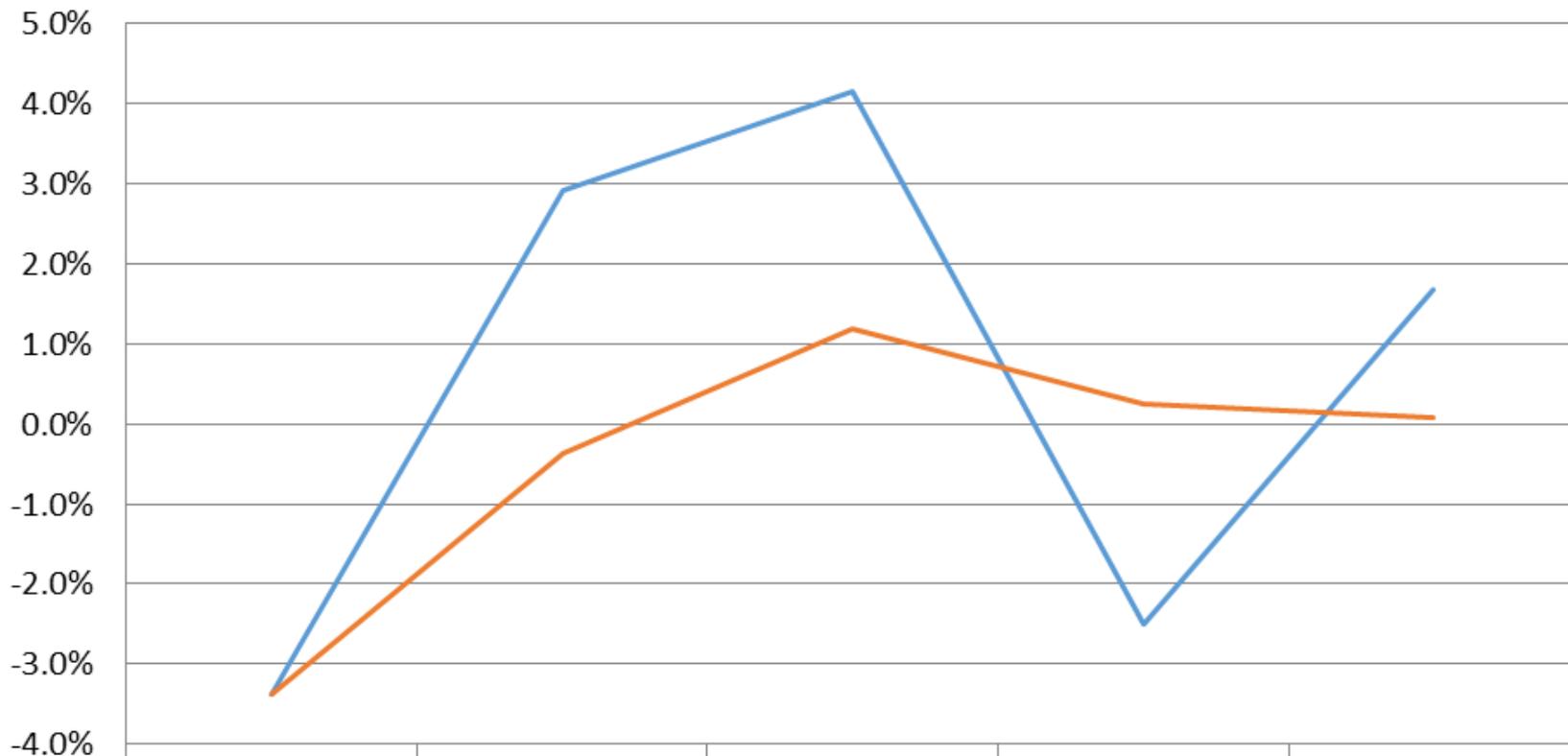
11.5%

10.2%

9.7%

Source: Economic and research  
department - ABRAS

## 2016年度 スーパーマーケット売上前年比(実質)



	Jan	Fev	Mar	Abr	Mai
— 単月前年比	-3.4%	2.9%	4.2%	-2.5%	1.7%
— 累計前年比	-3.4%	-0.4%	1.2%	0.2%	0.1%

Source: Economic and research department - ABRAS

# 重量ベースの購入量は若干回復しつつあるも 引き続き厳しい状況

Variação de Volume – Cesta Nielsen (%) – Vs mesmo período de 2015



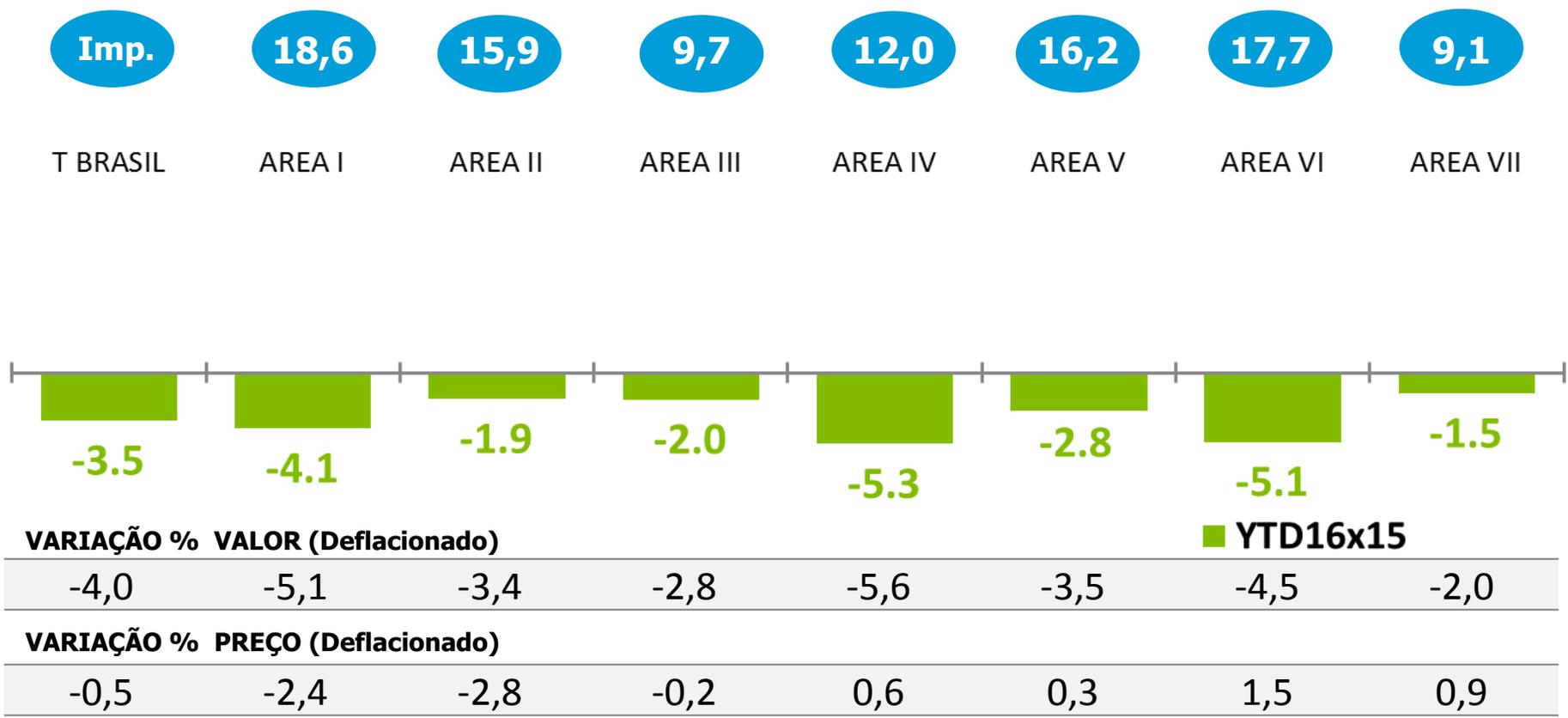
YTD15 Mar YTD15 Jun YTD15 Set YTD15 Dez YTD16 Jan YTD16 Fev YTD16 Mar YTD16 Abr YTD16 Mai

Fonte: Nielsen | Retail Index – 128 categorias – Total Brasil com  
expansão Geográfica

# 全地域で昨年より購入重量減少。 北部 (Area1)、サンパウロ中心部 (Area4)、南部 (Area6) の購入重量が平均よりも落ち込む

Área I (CE até BA)
Área II (ES, MG, interior RJ)
Área III (Grande RJ)
Área IV (Grande SP)
Área V (Interior SP + Litoral)
Área VI (PR, SC e RS)
Área VII (MS, GO e DF)

\*データ2016年3月-5月

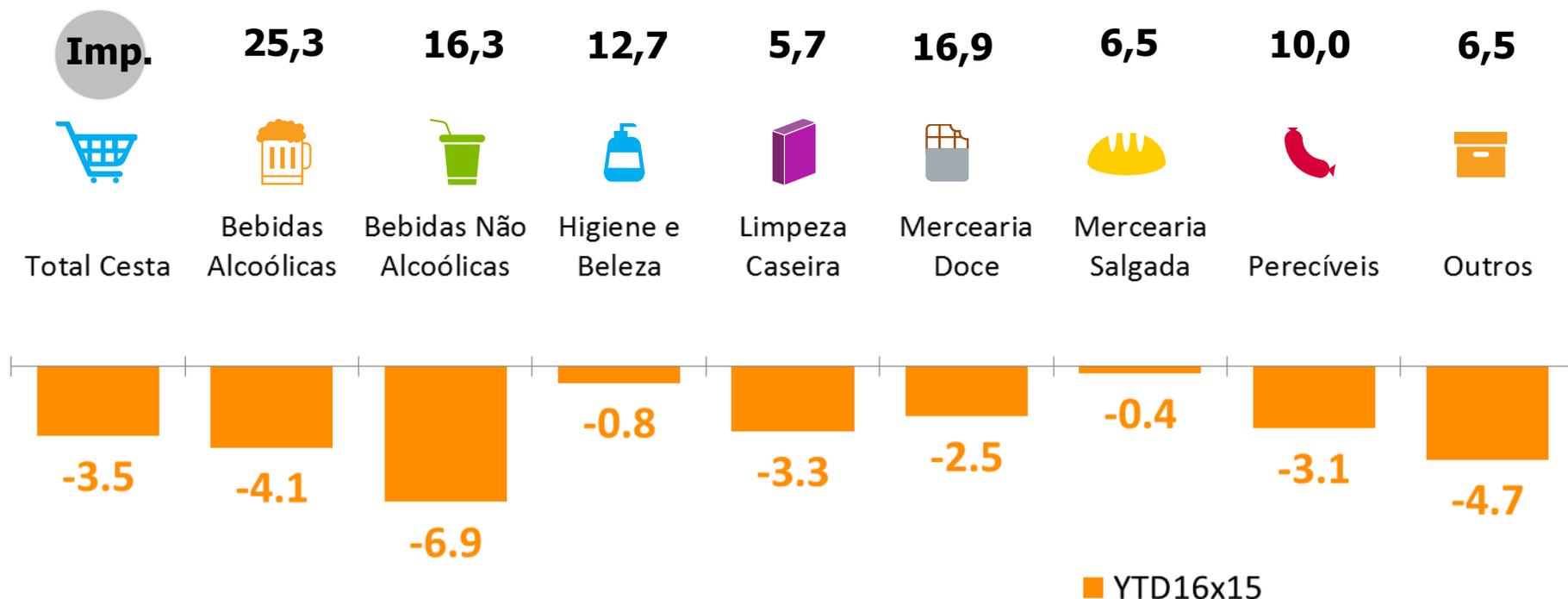


Importância das áreas em valor – YTD terminado em MAM  
 Fonte: Nielsen I Retail Index – 128 categorias – Total Brasil com expansão Geográfica

Copyright ©2015 The Nielsen Company. Confidential and proprietary.

# カテゴリー別では飲料(アルコール飲料及びノンアルコールの両方)の落ち込みが大きい

\*データ2016年3月-5月



## VARIAÇÃO % VALOR (Deflacionado)

-4,0	-4,5	-7,1	-0,2	-3,4	-1,4	-0,2	-6,4	-8,0
------	------	------	------	------	------	------	------	------

## VARIAÇÃO % PREÇO (Deflacionado)

-0,5	-0,4	-2,8	2,7	-0,4	2,1	2,0	-2,9	-4,1
------	------	------	-----	------	-----	-----	------	------

IPCA: 9,81%

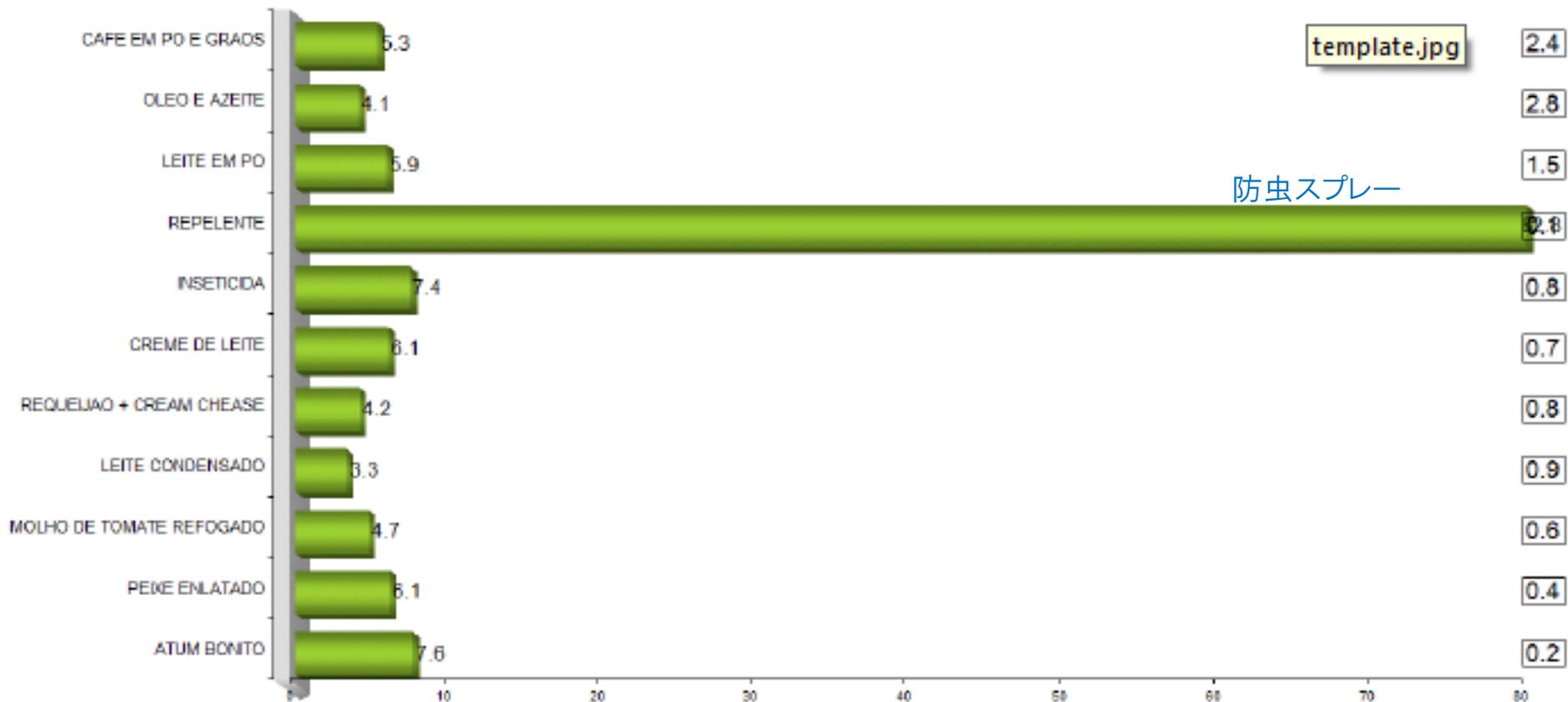
Importância das cestas em valor – YTD terminado em MAM

Fonte: Nielsen | Retail Index – 128 categorias – Total Brasil com expansão Geográfica

# 伸長しているサブカテゴリー（前年比）

\*データ2016年2月-4月

## TOP CRESCIMENTOS

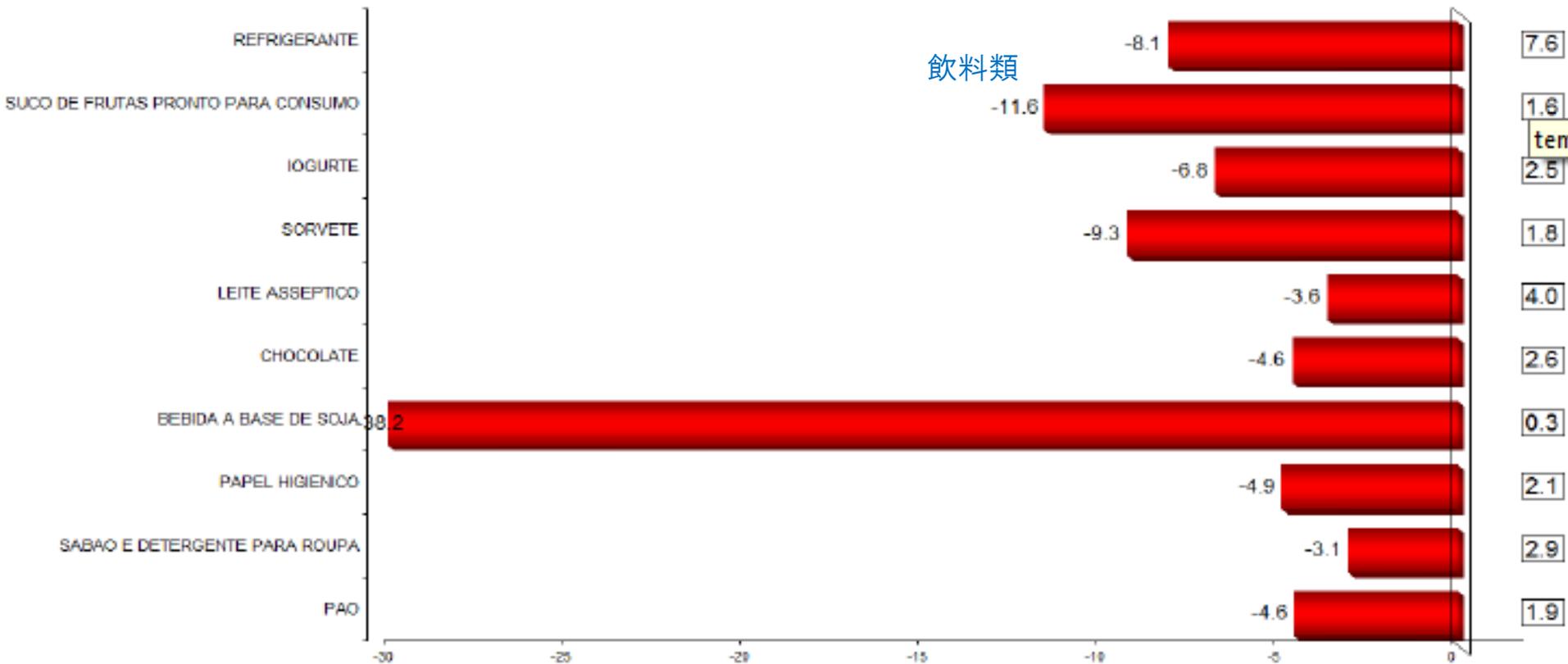


Source: Economic and research department - ABRAS

# 減少しているサブカテゴリー(前年比)

\*データ2016年2月-4月

## TOP QUEDAS



Source: Economic and research department - ABRAS

# 2016年下期の展望

『どん底の時期ならではの戦略は？

—課題整理と対処方策—』

(1) 市場はこの2年間続いた経済状況に対する悲観的な予想を修正し始めており、楽観的な予想が徐々に増加している。6月には本年度と来年度のGDPに関する予想を上方修正した主要銀行やコンサルタントの数が増加した。

⇒消費者の動向や社会的変化を見据えた商品開発や市場開拓。

⇒景気低迷期のビジネス機会を将来に活かす。

例：好条件での投資。(人材、設備、広告等)

買収・提携などによる将来の成長への布石

# 2016年下期の展望

『どん底の時期ならではの戦略は？

—課題整理と対処方策—』

- (2) 様々な要因によるコスト上昇は継続する一方で、市場環境が厳しい中、販売価格への転嫁が困難で、短期的に収益が悪化することを想定。  
⇒変化の時期を構造変化や体質強化のチャンスと見て取り組む。
- (3) 近い将来の景気回復時の波に乗れるよう、事業基盤の強化、新たな事業の種まき等の準備を進める。
- (4) 会員企業の新たなビジネスチャンス発掘につながりうるCAMARA食品部会の取り組みを進めていく。

# 第二回日伯農業・食料対話への積極的参画

◆ 日時:2016年2月29日～3月1日、場所:トカンチンス州パルマス市

◆ 農林水産省、在ブラジル日本国大使館主催

◆ 第1部:穀物輸送インフラ改善・マトピバ地域農業開発等

①代表挨拶アブレウ前農務大臣、松島農林水産審議官

②アブレウ前農務大臣 講演、マトピバ地域4州知事 挨拶

③日本側講演

穀物輸送インフラ及び農業開発に関する投資・進出状況、要望事項

ブラジルの穀物・油糧種子市場とノバアグリの概要

穀物輸送インフラの改善・整備促進に向けた提言

世界に冠たる農業大国としての更なる発展に向けた提言

第二部:ブラジルへの投資環境の改善・整備

①関税・税制・通関手続き等への要望

②日本・ブラジル間の鶏肉・牛肉輸出入に関する提言

③残留農薬問題～安全な食品の安定供給に向けた両国間の取組み

④ブラジルにおける日本食普及とブラジル農業食品産業のビジネスチャンス

# 食品部会からの提言事項

～世界に冠たる農業大国としての更なる発展に向けて～

## 1. 農産物

- ①農産品に価値を付与し、生産量や世界相場に影響受けにくい事業  
加工に適した品種栽培、野菜の2次加工への展開、2次加工技術の協力
- ②小規模農家を支援し、これまで以上の品種を輸出できる農業事業  
資金支援を通じた安定栽培、収穫の集約を通じた加工事業
- ③分析技術の強化を通じ、迅速で安心な輸出事業  
農薬分析、アレルギー分析の技術交流と支援

## 2. 畜産物

- ①安心品質による輸出大国としての地位の更なる向上  
疫病管理ガイドの明確化、科学的根拠の設定支援
- ②様々な肉製品による価値ある市場の形成と市場活性化  
牛肉の名称定義の明確化、ライセンス制の検討

**運輸サービス 部会**

**細谷 浩司 部会長**

**Departamento de Transportes e Serviços**

**Presidente: Koji Hosoya**

# 2016年上期の回顧と下期の展望

どん底の時期ならではの戦略は？  
～課題整理と対処方策～

運輸サービス部会  
2016年8月25日

# 運輸サービス部会の対象業界

- 物流
- 構内物流・機工・整備
- 海運
- 航空貨物
- 航空旅客
- 旅行、ホテル
- 通信、IT



# 物流業界

## 2016年上期の回顧

- ・ 農林省(MAPA)、木材薫蒸処理規制を強化。
- ・ 税関ストライキが慢性化。

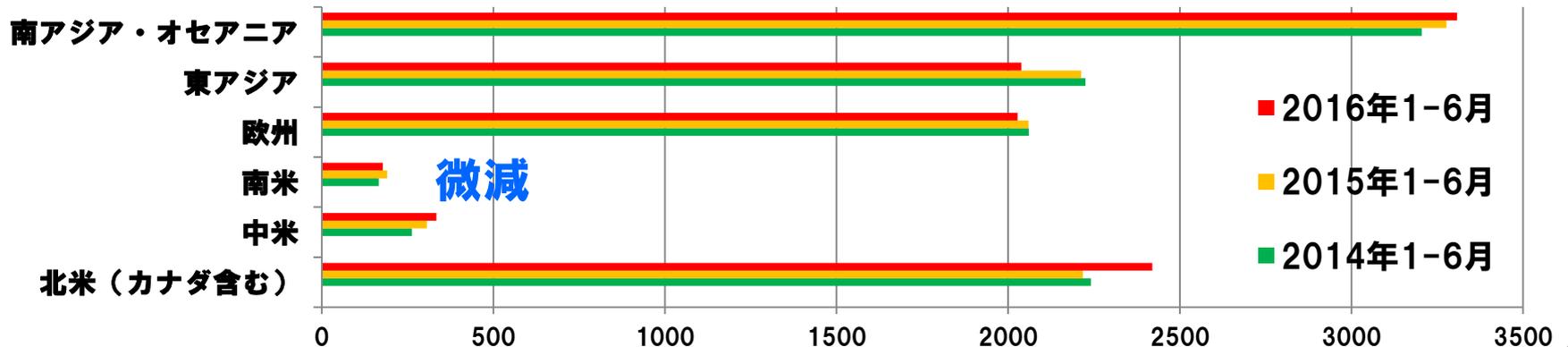
## 2016年下期の展望

- ・ 税関ストライキによる輸出入貨物の停滞が続く見込み。
- ・ レアル変動による輸入の活性化に期待。
- ・ 引越:日本人駐在員数は帰任者増・赴任者減と予測。

日本発 各地域向け船便引越件数実績動向

(単位 発送件数)

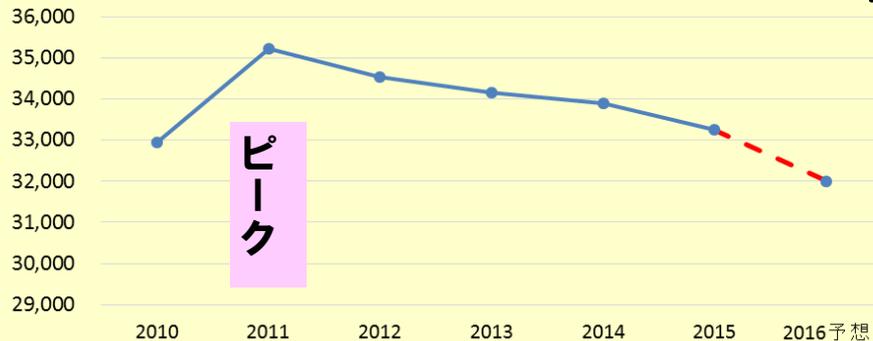
資料提供:日通



# 鉄鋼業界内：機工・整備・構内物流

## 2016年上期の回顧

ブラジル粗鋼生産量 (千トン)



鉄鋼業界はコスト維持の為に給与インフレ調整率を0%とし一時金の支払いで組合と妥結し固定費の上昇を避けた。外注協力会社も同様に追従しインフレ調整0%、一時金での対応を実施。

## 2016年下期の展望

2016年の国内の鉄鋼消費量の予想としては18.2百万トン、これは2006年のレベルに後戻りするものであり、作業量減少はこれまで以上と予想される、更なる経営体質の強化、業務領域拡大が必要となってくる。

- 2016年上期の粗鋼生産量は14.9百万トンと昨年同期比で13%の減少
- 2016年上期国内消費量は9百万トンと前年同期比で23.7%の減少
- 2016年上期販売量は8.2百万トンと前年同期比で15.5%の減少



世界鉄鋼生産実績ランキング (千トン).

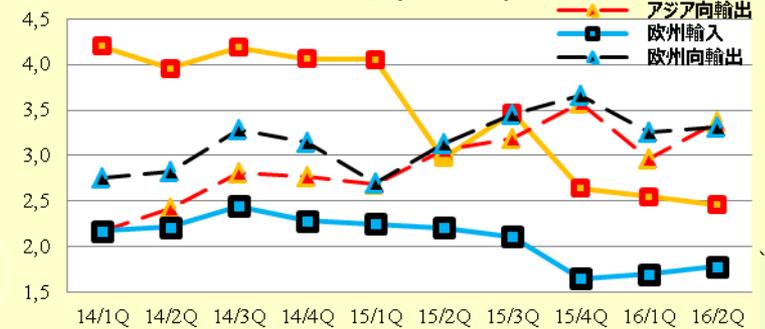
国	Jan/16-Mai/16	Jan/15-Mai/15	15/16	16年シェア
中国	329,950	335,366	-1.6%	50.1%
EU(28)	68,854	73,536	-6.4%	10.5%
日本	43,180	44,071	-2.0%	6.6%
C.E.I	42,757	42,456	0.7%	6.5%
米国	33,072	33,136	-0.2%	5.0%
インド	38,599	37,682	2.4%	5.9%
ブラジル	12,326	14,311	-13.9%	1.9%
その他	89,489	93,337	-4.1%	13.6%
TOTAL	658,227	673,895	-2.3%	100.0%

# 海運業界

## 2016年上期の回顧

- ・コンテナ船: 景気低迷/リアル安 ⇒ 輸入<輸出 の情況継続  
 輸入量 97万 TEUs (昨年同期比 ▲20%) ← アジア輸入減大  
 輸出量 139万 TEUs (同 +10%) ← アジア/欧州向荷動き増  
 輸出入計 236万 TEUs (同 ▲5%)
- ・ばら積み船: 鉄鉱石輸出量 179百万ト (昨年同期比 +4%)  
 穀物輸出量 49百万ト (同 +20%)
- ・運賃市況: 船腹需給のアンバランス ⇒ 記録的低水準が継続 (船社経済はどん底)

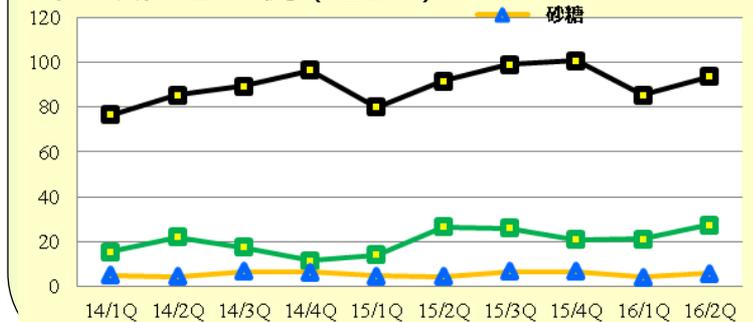
【地域別コンテナ貨物輸出入量推移】 (単位 百万ト)



## 2016年下期の展望

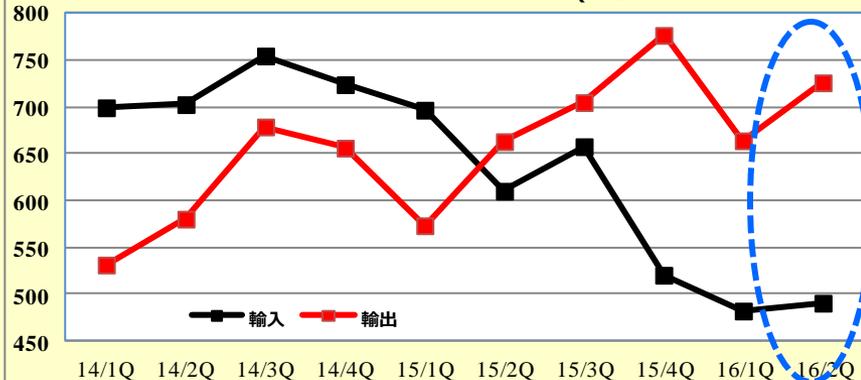
- ・ビジネス環境: 経済は引き続き低迷 ⇒ 輸入量回復の遅れ  
 レアル高/BREXIT/投資削減 等 ⇒ 輸出の伸びへの影響  
 船腹需給バランス ⇒ 構造的な供給過剰の是正への努力が必要
- ・対応策: 非経済船の処分促進、余剰輸送能力の削減、アライアンス再編、サービスの改編、配船の効率化・稼働率アップ、コスト構造改革 等

【ばら積み貨物輸出入量推移】 (単位 百万ト)

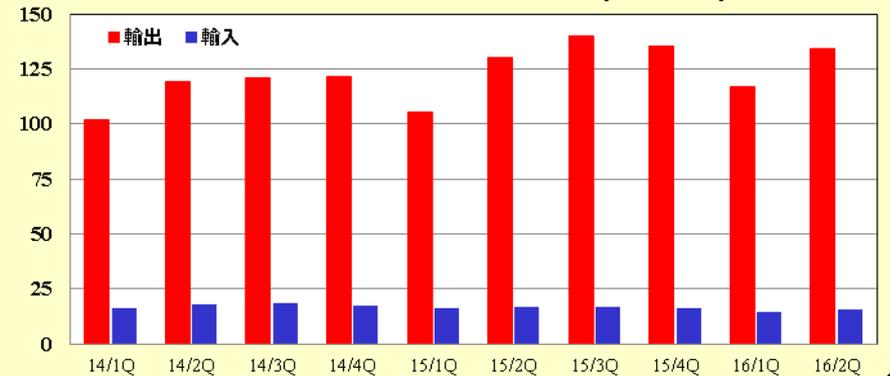


## トピック 輸出コンテナ総重量証明の義務化 (SOLAS条約改正) (2016年7月以降) ⇒ 船舶の安全航行へ寄与

ブラジル外航コンテナ貨物量推移 (単位 TEU)

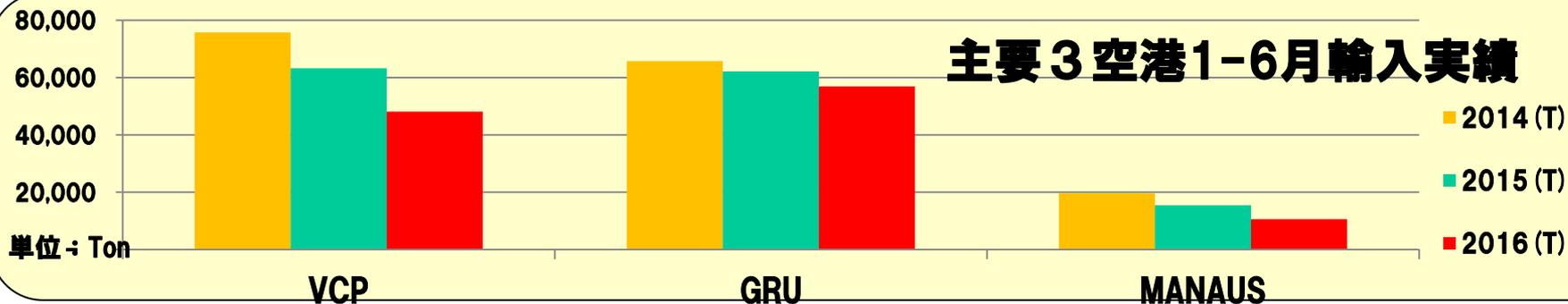


ブラジル外航ばら積み貨物量推移 (単位 百万ト)



# 航空貨物業界

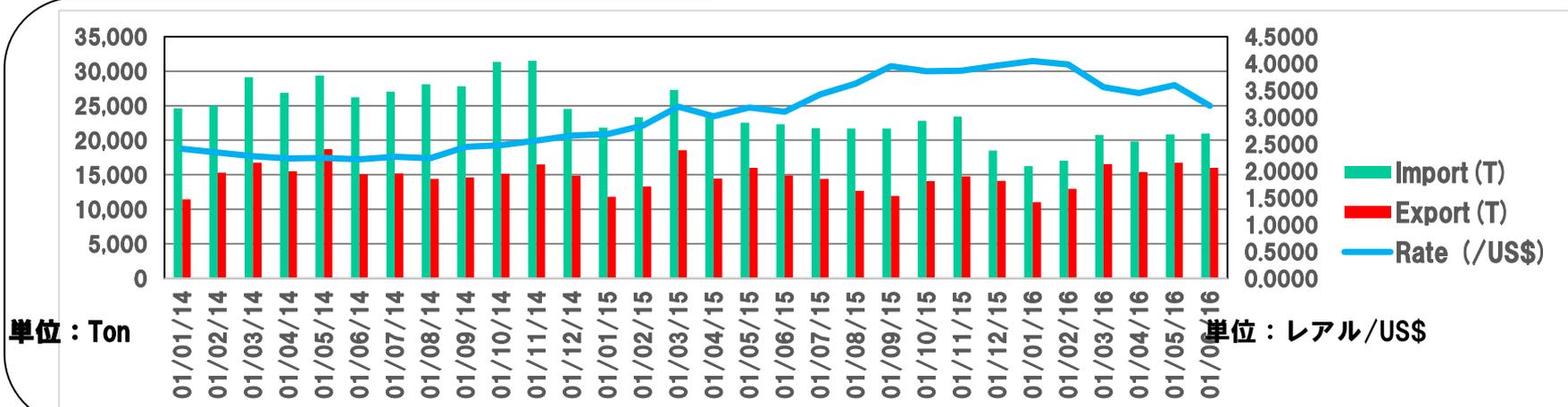
## 2016年上期の回顧



## 2016年下期の展望

- ・ レアル安定化で、輸入増に期待。
- ・ 輸入月別取扱量は増加傾向、今後に期待。

## GRU,VCP,MAO 3 空港 航空貨物輸出入取扱数量&為替動向 (単位：トン、対US\$)



# 航空旅客業界

## 2016年上期の回顧

- 国内線は、ブラジルの景気低迷の影響で、有償旅客キロは対前年▲6.64%、提供座席キロは同▲5.68%、利用率は▲1.02ptとなり、近年にない前年割れの実績。
- 国際線は、ブラジル系航空会社計で、有償旅客キロは対前年▲0.88%、提供座席キロは同▲0.68%で、利用率は▲0.2ptとなったものの、小幅な減少。
- 利用率低迷の打開策として、廉価な運賃での営業競争が激化しており、旅客数の減少以上に収益は悪化。

## 2016年下期の展望

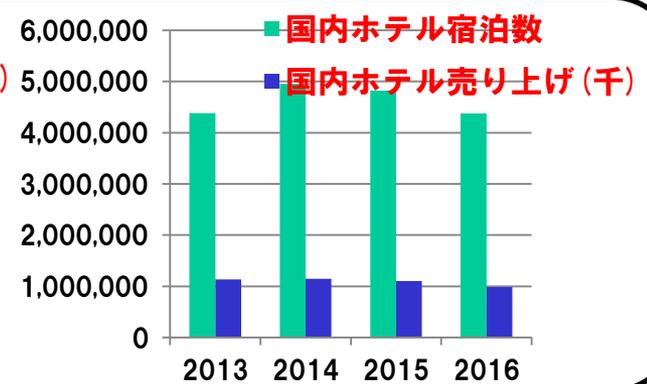
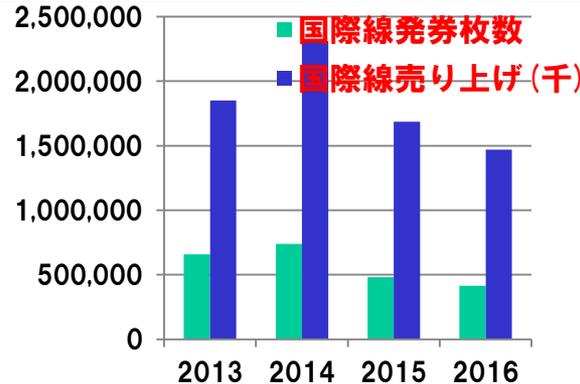
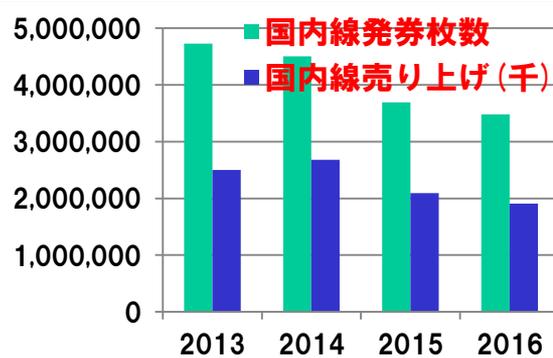
- 国内線は、TAM航空やGOL航空の業績悪化に伴い、両社とも低需要路線を運休・減便する可能性が高く、2015年に比べて、提供座席数や旅客数は低減すると想定。
- 国際線は、オリンピック・パラリンピックの開催に伴って海外からの旅行者は増えるものの、ブラジル経済の低迷と為替の影響（レアル安）で、ブラジルからの出国者数は減少すると思料。
- 国内線・国際線ともに、需給調整やコスト抑制による運休・減便で旅客流動が鈍化することを懸念。

## 特記・周知事項

- アジア行き国際線 大韓航空が9月25日からサンパウロ＝ロサンゼルス線運休  
シンガポール航空が10月21日からサンパウロ＝バルセロナ線運休を正式発表。
- 国際線では、業務渡航や観光による需要が伸び悩んでいる一方で、昨年からの日本へのデカセギ需要が徐々に増加。

# 旅行業界

## 2016年上期回顧



## 2016年下期展望

- オリンピック・パラリンピック開催期間中の8月～9月は国内線航空旅客数と国内のホテル稼働率は増加期待。
- 国際線航空旅客は海外からブラジルへ来る旅客数は増えても、ブラジルから海外へ行く旅客数は増えることは期待できない。
- オリンピック・パラリンピックの期間が終了後は、国内旅行も海外旅行も旅客数は引き続き減少するものと見込まれる。
- ホテルがインターネットサイトにて、旅行代理店に対する販売価格よりも安い料金でオファーしているため、旅行代理店によるホテルの販売が落ち込んでいるが、2016年下期も改善の見込みなし。
- 旅行代理店間での航空運賃割引競争が激化し、航空券販売による収益が激減しているが、この傾向は2016年下期も続くものと見込まれる。

## トピックス

■2016年7月1日より同年12月31日までの期間、日本の有効な運転免許証にて運転可能。

官報：<http://pesquisa.in.gov.br/imprensa/jsp/visualiza/index.jsp?jornal=1&pagina=78&data=29/02/2016>

# 通信業界（テレコム・データセンター）

## 2016年上期回顧

- インターネットユーザ数：1億3,911万ユーザ（**世界第4位**）
- ブロードバンドのマーケットシェア：NET32.3%、Vivo28.6%、OI24.7%
- ブロードバンドアクセス数：2588万（2016年4月） \* 2015年12月調査:2557万
- インターネット普及率は約66.4%（**世界第64位**） \* 前回調査：約58%で世界第81位
- Oi（固定電話シェアNo1、携帯シェアNo.4）が史上最大規模となる会社更生手続きの適用を申請し、ブラジル電気通信庁（ANATEL）の監視のもと業務を継続中、様々なシナリオが噂されているが、依然として有力なものはなく不透明な状況。

## 2016年展望と課題

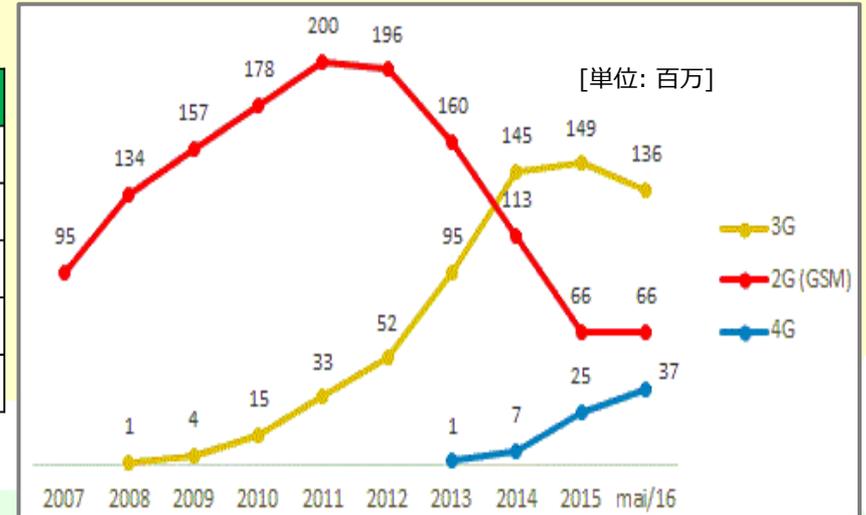
- ブラジルのみならず南米で通信業界再編が活発化
- 電子帳簿公共システム（SPED）の拡大、企業や国民の生活へのITサービスの普及が広まり、IT基盤の低廉化、安定化がより一層求められる
- コモディティ化したICT要素（メール、サーバー等）はより柔軟でコスト効果の高いクラウド型（データセンター）へよりシフトが進むが、通信インフラ基盤の脆弱性がネック
- インターネットがビジネス基盤化する中、大都市中心部以外（郊外の工業団地等）で高速化/安定化/低価格化が求められている

# 通信業界（携帯電話・モバイル）

## 2016年上期の回顧

- 4Gの契約数は、前年対比 約1,100万増加。
- 一方で景気低迷の影響により通信事業者の収益は大手4社ともに落ち込んでおり、6月にOi社が会社更生手続きを申請。

	2016年5月 [単位：万]	前年比
携帯電話契約数（全体）	25,523	▲1.0 %
4G	3,655	+43.6 %
3G	13,589	▲8.8 %
2G	6,578	▲0.3 %
データカード等	1,699	▲1.5 %



## 2016年下期の展望

- 4Gは、今後も堅調に普及が進み、年末までには契約数が4,000万を超える見通し。
- \*IoT/M2M向けのモバイル回線の需要が高まっており、年間約10%の増加が見込まれる。

\*IoT：“Internet of Things” コンピュータなどの情報、通信機器だけでなく様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり、相互に通信することにより、自動認識や自動制御などを行うこと

\*M2M: Machine to Machine、個別に稼働している機器同士をネットワークでつなぎ、これらが相互でやりとりできるようにして、各々の機器で生成されたデータをリアルタイムで統合、制御し、活用することができるシステム

## 2016年上期の回顧

- 当初、前年比微増（約0.5%）と予想されていたIT投資額が伸びておらず、市場は停滞。
- 「成長の為のIT投資」から「コスト最適化のためのIT投資」へのシフトが加速。
- クラウドサービス向けのオフィスソフトの需要や、コスト抑制に寄与する\*SaaS等の需要は堅調。
- ユーザの利便性を向上させるクラウドサービスや、IoTなどのサービス重要は堅調。
- 企業用の基幹システムの開発、特に税制対応、会計情報申請制度対応の重要は堅調。

## 2016年展望と課題

- 2016年度のIT投資額は、前年度を下回ると予定されている。
- IT活用の促進による、業務効率化、コスト削減のサービス需要は増加すると見込まれる。
- 引き続き、クラウドサービスや、IoT、SaaSなどのサービス重要が見込まれる。
- ブラジルの税制、会計対応の複雑化により、システム対応の投資は継続される。
- 優秀なIT人材の育成や、IT専門家の確保、人件費の高騰へ対応が大きな課題。

\*SaaS: “Software as a Service” ソフトウェアを通信ネットワークなどを通じて提供し、利用者が必用なものを必要な時に呼び出し使う利用形態のサービス。

## どん底の時期ならではの戦略は？ ～課題整理と対処方策～

### <経済回復期はいつか>

- ・ 回復は 2018年と予測。

### <課題整理>

- ・ 既存顧客の取扱減少
- ・ メキシコへの日系進出企業の増加に学ぶべき
- ・ 業務渡航や観光による需要の伸び悩み
- ・ 人件費を含むあらゆる項目の費用削減が必要

### <対処方策>

- ・ 新規サービスの展開
- ・ 工業会の発展を促す政策実施要請
- ・ 文化・スポーツ・芸術等の分野での日伯間の交流活発化
- ・ 税金面のブラジルコストの抜本的な見直しを政府に要請
- ・ 人件費を抑制できる地域へのオフショアやニアショアの活用

**ご清聴有難う御座いました。**



**運輸サービス部会一同**

# (資料) 航空旅客

参考：ブラジルとの2国間の輸送実績（2015年版、年間10万人以上）

順位	国名 (ブラジルとの2国間)	有償旅客数 (人)	一日当たり (人)	シェア (%)
1	アメリカ	5,379,356	14,738	25.1
2	アルゼンチン	3,067,647	8,405	14.3
3	ポルトガル	1,419,333	3,889	6.6
4	チリ	1,408,546	3,859	6.6
5	スペイン	975,694	2,673	4.5
6	フランス	970,423	2,659	4.5
7	パナマ	925,300	2,535	4.3
8	ドイツ	844,153	2,313	3.9
9	ウルグアイ	618,583	1,695	2.9
10	イギリス	594,153	1,628	2.8
11	ペルー	563,457	1,544	2.6
12	イタリア	502,446	1,377	2.3
13	コロンビア	477,723	1,309	2.2
14	アラブ首長国連邦	426,374	1,168	2.0
15	オランダ	398,910	1,093	1.9
16	メキシコ	352,659	966	1.6
17	パラグアイ	304,322	834	1.4
18	カナダ	205,932	564	1.0
19	南アフリカ	169,937	466	0.8
20	ドミニカ共和国	169,450	464	0.8
21	スイス	160,256	439	0.7
22	ボリビア	148,729	407	0.7
23	カタール	130,150	357	0.6
24	アンゴラ	101,735	279	0.5

データ元：ANAC

## <トピックス>

- 米国との2国間旅客数が圧倒的に多く、全体の25.1%を占めている。
- 歴史的背景（含 移民政策）から、欧州諸国との旅客流動は大きい。

# (資料) 航空旅客

参考：国際線路線別実績（2015年版、年間20万人以上）

順位	路線	有償旅客数 (人)	一日当たり (人)
1	サンパウロ＝ブエノスアイレス	1,570,707	4,303
2	サンパウロ＝マイアミ	1,310,697	3,591
3	サンパウロ＝サンティアゴ	1,064,475	2,916
4	サンパウロ＝ニューヨーク	764,282	2,094
5	サンパウロ＝マドリッド	676,610	1,854
6	リオデジャネイロ＝ブエノスアイレス	577,120	1,581
7	サンパウロ＝パリ	573,153	1,570
8	サンパウロ＝オーランド	503,288	1,379
9	サンパウロ＝モンテビデオ	442,887	1,213
10	サンパウロ＝ロンドン	439,485	1,204
11	サンパウロ＝フランクフルト	432,833	1,186
12	サンパウロ＝ボゴタ	396,280	1,086
13	サンパウロ＝パナマ	394,539	1,081
14	サンパウロ＝リマ	366,037	1,003
15	リオデジャネイロ＝マイアミ	341,753	936
16	リオデジャネイロ＝パリ	329,370	902
17	リオデジャネイロ＝サンティアゴ	307,146	841
18	サンパウロ＝アスンシオン	293,678	805
19	サンパウロ＝リスボン	286,499	785
20	サンパウロ＝メキシコシティ	282,822	775
21	リオデジャネイロ＝ニューヨーク	245,706	673
22	サンパウロ＝アムステルダム	239,358	656
23	リオデジャネイロ＝リスボン	229,998	630
24	サンパウロ＝アトランタ	226,423	620

## <トピックス>

- ▶サンパウロ＝ブエノスアイレス間の旅客数は多く、年間約1,570千人を超える。
- ▶米国マイアミは非常に人気が高く、特に富裕層はマイアミのリゾートホテルで休日を過ごし、買物を楽しむ傾向にあり、利用旅客の大半が観光目的である。

(注)

サンパウロ … グアリュージュス空港、ヴィラコッポス空港  
 ブエノスアイレス… エセイサ空港、ホルヘ・ニューベリー空港  
 マイアミ … マイアミ空港、フォートローダーデール空港  
 ニューヨーク … JFK空港、ニューアーク空港

データ元：ANAC

# (資料) 航空旅客

参考：国内線路線別実績（2015年版、年間80万人以上）

順位	路線	有償旅客数 (人)	一日当たり (人)
1	サンパウロ＝リオデジャネイロ	8,747,896	23,967
2	ブラジリア＝サンパウロ	4,375,481	11,988
3	サンパウロ＝ポルトアレグレ	4,232,096	11,595
4	サンパウロ＝ベロオリゾンチ	3,721,498	10,196
5	サンパウロ＝クリチバ	3,463,754	9,490
6	サンパウロ＝サルヴァドール	3,053,962	8,367
7	サンパウロ＝レシフェ	2,241,660	6,142
8	サンパウロ＝フロリアノポリス	2,139,766	5,862
9	ブラジリア＝リオデジャネイロ	2,063,187	5,653
10	サンパウロ＝フォルタレザ	1,812,776	4,967
11	サンパウロ＝ゴイアニア	1,784,476	4,889
12	リオデジャネイロ＝ベロオリゾンチ	1,399,169	3,833
13	リオデジャネイロ＝サルヴァドール	1,397,767	3,829
14	サンパウロ＝ヴィトリア	1,312,301	3,595
15	サンパウロ＝クイアバ	1,233,923	3,381
16	サンパウロ＝ナヴェガンテス	1,195,414	3,275
17	リオデジャネイロ＝ポルトアレグレ	1,179,418	3,231
18	リオデジャネイロ＝ヴィトリア	1,159,339	3,176
19	ブラジリア＝ベロオリゾンチ	1,047,527	2,870
20	サンパウロ＝イグアス	914,027	2,504
21	サンパウロ＝カンポグランジ	913,871	2,504
22	サンパウロ＝マセイオ	881,310	2,415
23	ブラジリア＝サルヴァドール	864,704	2,369
24	サンパウロ＝ナタル	863,235	2,365
25	リオデジャネイロ＝クリチバ	859,277	2,354
26	リオデジャネイロ＝レシフェ	854,418	2,341

データ元：ANAC

## <トピックス>

- サンパウロ＝リオ・デ・ジャネイロ間の旅客需要は旺盛で、国内線全体の約9.1%を占め、1日当たりの旅客数は24千人弱である。
- 上記2都市と、現首都ブラジリア、旧首都サルヴァドールを結ぶ路線の需要は比較的大きい。
- 同様に、上記2都市と、ブラジルで4番目の人口を有するベロオリゾンチ、5番目の人口を有するフォルタレザ、港湾都市である北部のレシフェ、南部のポルトアレグレを結ぶ路線は、結構な流動数がある。

## (注)

サンパウロ・・・ グアリュージュス空港、コンゴニャス空港、  
ヴィラコッポス空港

リオデジャネイロ・・・ ガレオン空港、サントス・ドゥモン空港

ベロオリゾンチ・・・ コンフィンズ空港、パンブーリャ空港

# 世界のインターネットユーザ数比較

インターネットユーザ数では、ブラジルは1億3,900万ユーザで世界第4位、日本は次いで5位。

	国	2000年	2016年 (推定)	2016年 (ユーザ比率)
1 <sup>o</sup>	中国	22.500.000	721,434,547	52.2%
2 <sup>o</sup>	インド	5.000.000	462,124,989	34.8%
3 <sup>o</sup>	米国	95.354.000	286,942,362	88.5%
<b>4<sup>o</sup></b>	<b>ブラジル</b>	<b>5.000.000</b>	<b>139,111,185</b>	<b>66.4%</b>
5 <sup>o</sup>	日本	47.080.000	115,111,595	91.1%
6 <sup>o</sup>	ロシア	3.100.000	102,258,256	71.3%
7 <sup>o</sup>	ナイジェリア	200	86,219,965	46.1%
8 <sup>o</sup>	ドイツ	24.000.000	71,016,605	88%
9 <sup>o</sup>	英国	15.400.000	60,273,385	92.6%
10 <sup>o</sup>	メキシコ	2.712.400	58,016,997	45.1%
11 <sup>o</sup>	フランス	8.500.000	55,860,330	86.4%
12 <sup>o</sup>	インドネシア	—	53,236,719	20.4%

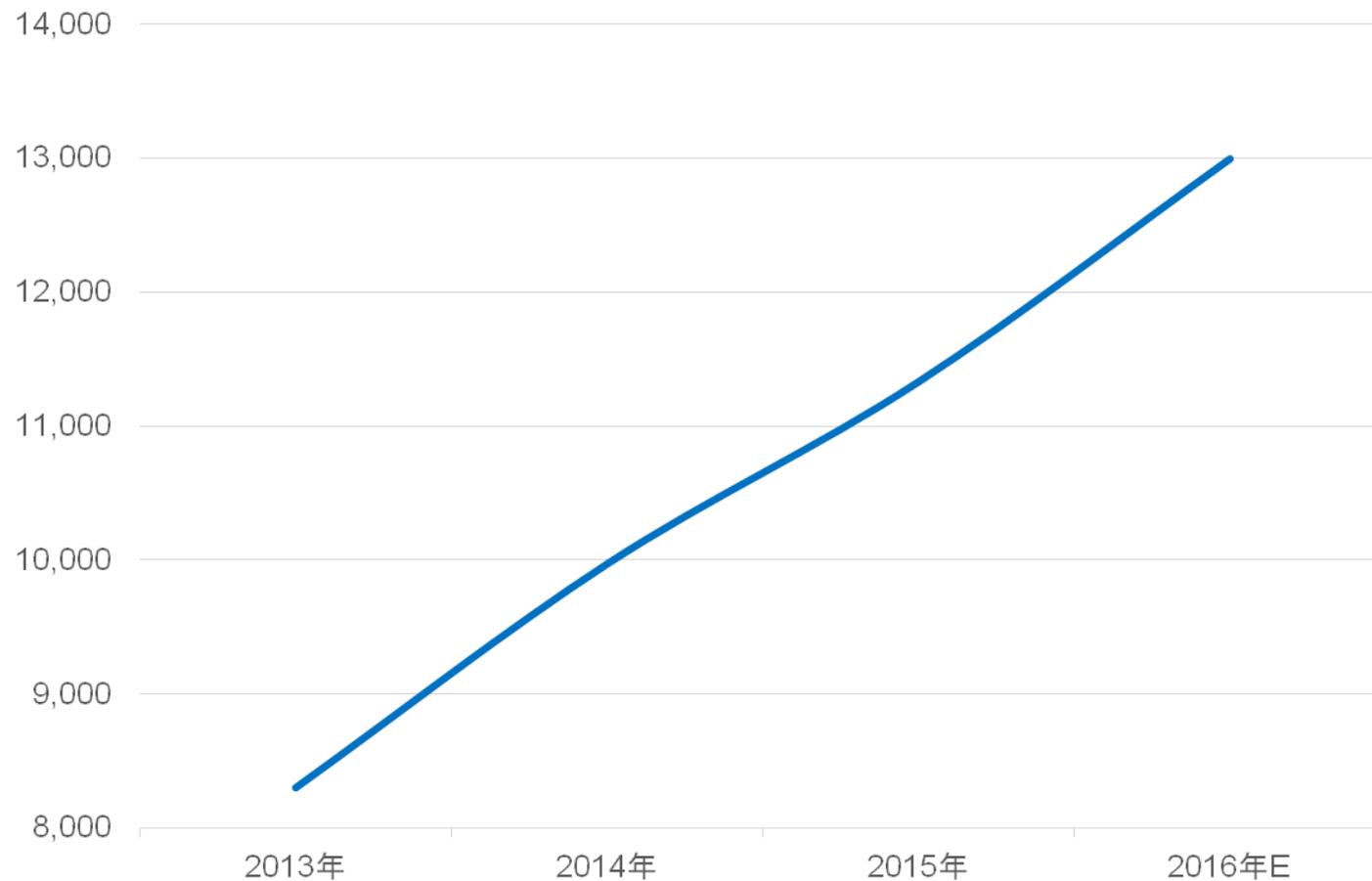
<http://www.teleco.com.br/>

<http://www.internetlivestats.com>

# ブラジルにおけるIoT/M2M向けモバイル回線数の推移

IoT/M2M向けのモバイル回線数は、急激に伸びており、2016年末までに約1,300万回線に達する見通し。

[単位：千回線]



(Source: <http://www.teleco.com.br/>)

**建設不動産 部会**

**藤井 健 部会長**

**Departamento de Construção e Imobiliária**

**Presidente: Takeshi Fujii**

# 建設不動産部会

**「2016年上期の回顧と下期の展望」**  
**副題: どん底の時期ならではの戦略は？**  
**～課題整理と対処方策～**

1. 上期の回顧と通期の展望
2. 建設業界
3. 不動産業界
4. プレハブ、サッシ、大型発電機業界
5. 特殊技術

# 1. 上期の回顧と通期の展望

## 1-1) アンケート結果

### 2016年上期の実績

### 2016年通期の展望

ゼネ  
コン

大型工事が無く、受注完工共減少  
昨年より厳しい年が続いている  
非日系企業の受注競争が激化

非日系顧客の取込  
病院学校が大型工事  
更なる価格競争

不動産

事務所地代が下落、パウリスタ界限は堅持  
新規賃貸契約日本企業3割減  
マンション価格が下落継続

オリンピック後の下落が  
予想できない、  
不動産は買い控えか

プレハブ  
サッシ

案件数は堅持しているが工事の先送りが多  
い、日系企業の建設投資が激減  
昨年の期ずれ案件で上期受注は達成  
ゼネコンの影響が半年後に出る下期懸念

プレハブレンタル開始  
マンション登録9割減  
市場は停滞する

特殊  
技術

リオの地下鉄開通の陰に日本の技術あり  
サンパウロ下水道工事動き出す。  
RJオリンピック下水工事は仕事できず

10/19学会発表  
9/17SP工大で講演  
オデブレヒト社内発表

## 1-2) アンケート結果 日系・非日系比率

2015通期→2016上期

	日系企業	非日系企業
ゼネコンA	70→60	30→40
ゼネコンB	30→20	70→80
不動産	100→100	0
プレハブ	5→20	95→80
特殊技術、 サッシ	0→0	100→100

## 2. ゼネコン業界

### 活路目指して～ジャパンハウスで日本政府とコラボ（戸田建設）

7月着工しました。  
来年1月オープン予定です。



（ジャパン・ハウスの外観イメージ）

# 行き過ぎた価格競争の結果1 (サンパウロ市モデルルームの崩壊)



Estade de vendas de um prédio a ser construído é visto após desabar na Vila Olímpia, na Zona Sul de São Paulo (Foto: Fábio Tito/G1)

# 行き過ぎた価格競争の結果2

エスピリット・サント州高級マンション2階部分崩壊

**Desabamento de prédio deixa 4 feridos no ES; uma pessoa está desaparecida**

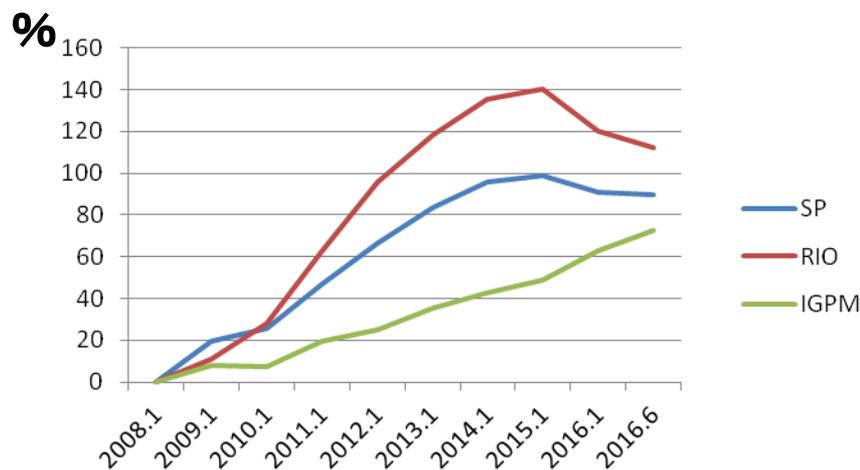


Pavimento da área de lazer cede e deixa ao menos quatro feridos em Vitória (ES)

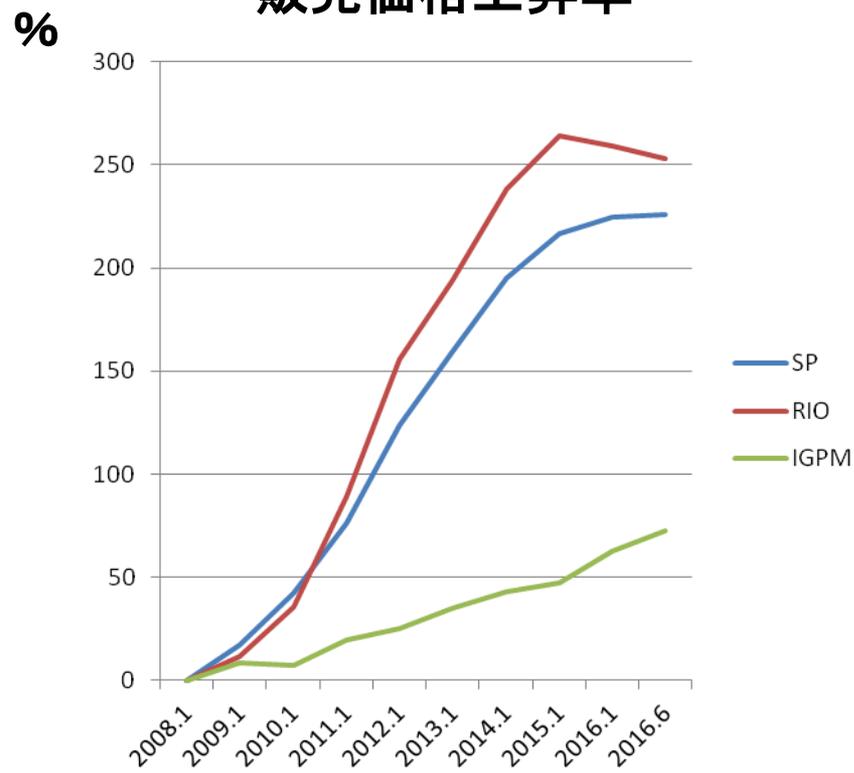
### 3. 不動産業界

#### 3-1 賃貸マンション賃料と販売価格の推移と見通し（STARTS）

#### 賃貸価格上昇率

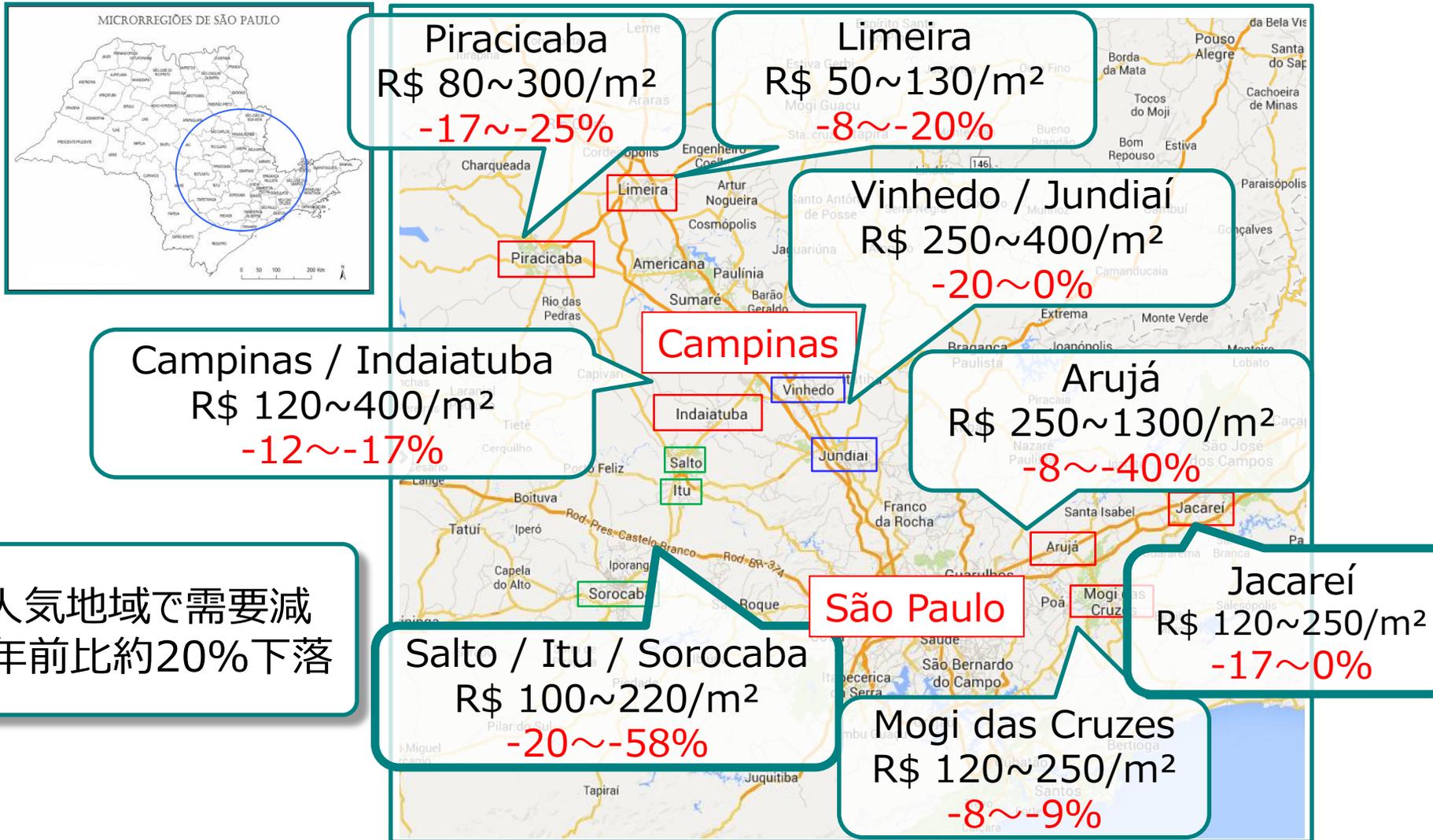


#### 販売価格上昇率



# 不動産市場

## サンパウロ近郊の工業用地価格（2016年7月）



## 4. プレハブ業界 (NAGAWA)

販売だけだったものから ⇒ 日本と同じ様にレンタル開始  
早い・安い・高品質・移設可能 等々

工場内での検査室



2週間で出来る本設建造物



# 5. 特殊技術

## 5-1) リオデジャネイロ地下鉄工事に貢献 (CGC)

do Governo do Estado do Rio de Janeiro, que vai ligar a Barra da Tijuca a Ipanema e transportar mais de 300 mil pessoas por dia, além de retirar das ruas cerca de 2 mil veículos por hora/pico. Serão seis estações (Jardim

Com a Linha 4, o passageiro poderá utilizar todo o sistema metroviário da cidade com uma única tarifa, deslocando-se da Barra até a Pavuna. Será possível ir da Barra a Ipanema em 13 minutos e, da Barra ao Centro, em 34 minutos.

Barra, que constrói o trecho entre o Jardim Oceânico, na Barra da Tijuca, e a Gávea, incluindo a estação; e o Linha 4 Sul, responsável pela obra entre Ipanema e Gávea.

### Trajeto da Linha 4

**16 KM DE EXTENSÃO**

Barra da Tijuca, São Conrado, Gávea, Leblon, Ipanema

**Tempo**

Barra—Nossa Senhora do Socorro	13min
Nossa Senhora do Socorro—Gávea	5min
Gávea—Barra	9min
Antero de Quental—Barra	35seg

**駅部水没**

**止水完了**

Telefax: (21) 2134-3700  
Responsável pela obra entre Ipanema e Gávea

CONCES  
RIO BA

## 5. 特殊技術

### 5-2 学会発表

10/19~22 BELO HORIZONTEで4団体の集いがあります。

- ①第18回ブラジル土質学会
- ②第7回ブラジル岩盤学会
- ③第5回南米若手地盤技術者の勉強会
- ④第1回国際交流地盤技術者の研修会

リオデジャネイロ地下鉄工事での日本の止水技術を発表する。

### 5-3 サンパウロ工業大学修士課程で講演9/17 日本の技術を紹介



- 建設業が、縮小して良いか。
- 縮小は優秀な技術者や作業員を手放してしまっていて良いか。
- ブラジルコストにより、価格の下げは限界がある。
- マンションや土地の価格は更に下がる。
- 欧州企業のBR企業M&Aは脅威か。



- 欧州企業のM & Aは怖くない、日本の技術で対抗できる。
- 失業率が高いうちに有能な人材を集める。



- 今こそゼイ肉をそぎ落とせ！
- 多方面に注力しよう！まだやっていない事がある！  
ビジネスチャンスは待っていてもやってこない

**繊維 部会**

**南村 幸彦 部会長**

**Departamento de Fiação e Tecelagem**

**Presidente: Yukihiro Minamimura**

# 2016年上期の回顧と下期の展望

---

どん底の時期ならではの戦略は？－課題整理と対処方法－



2016年8月25日

繊維部会

部会長 東洋紡ブラジル 南村幸彦

# 目次

---

## 2016年上期 の回顧

- 総評
- 綿花
- 綿糸
- OE糸・合繊
- 生地・既製服
- ファスナー

## 下期の展望

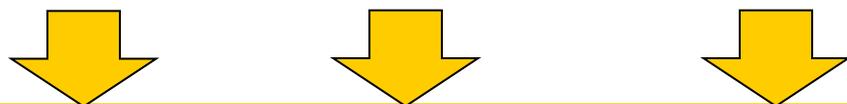
- 世界の綿花需給
- レアル反発の影響
- 市況

## 副題

- 課題整理
- 提言

# 16年上期 総評

景気後退〉家計購買力低下〉衣料品支出の減少〉



**衣料製品の価格下落＝糸・織布素材の価格下落**



**原料費高騰 コストインフレ**



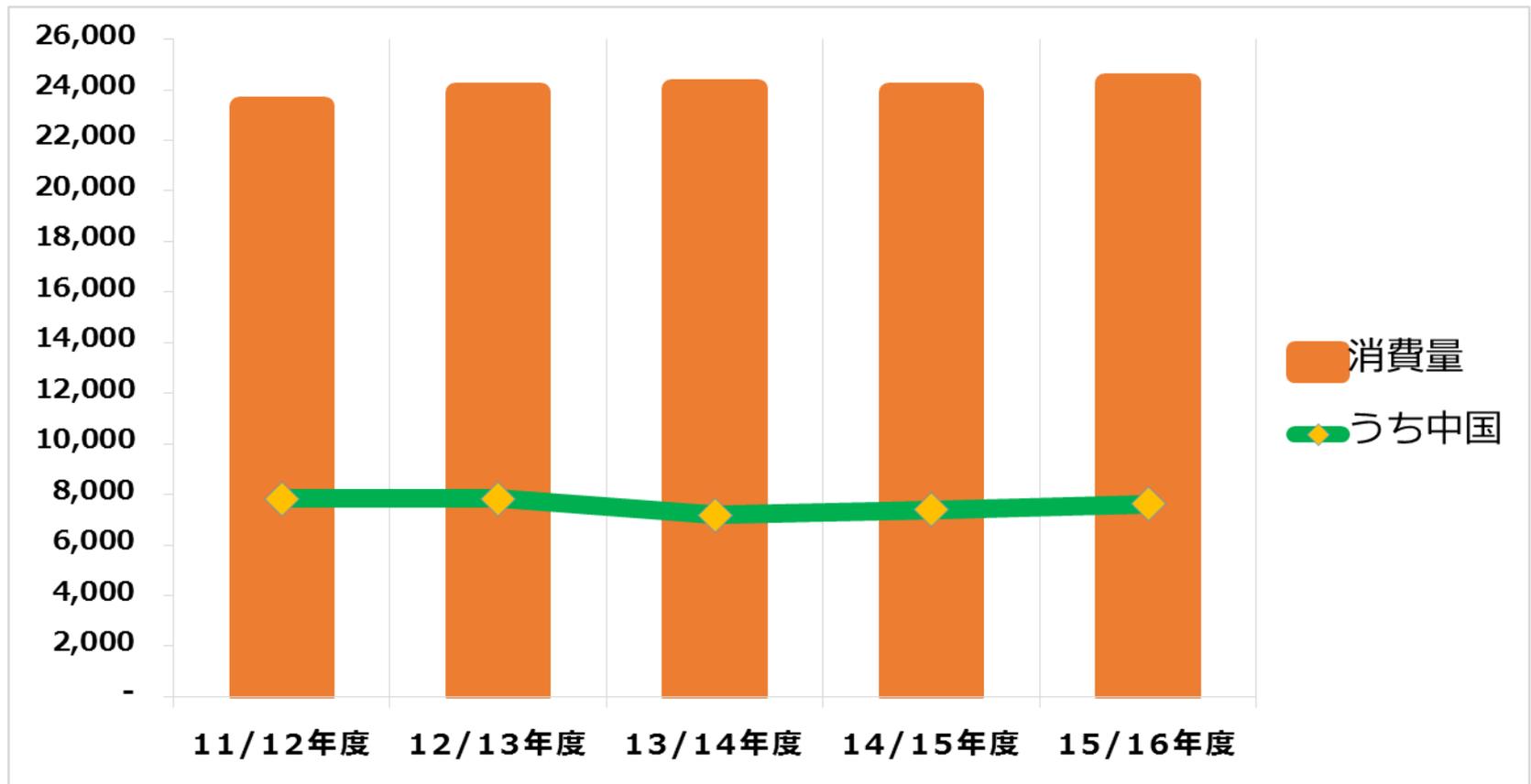
綿花の品質向上〉国際競争力UP〉輸出増加

〈NY綿花相場高〉



- 原料高と製品安の狭間で、繊維事業は苦境の半年間。利益なき闘い。

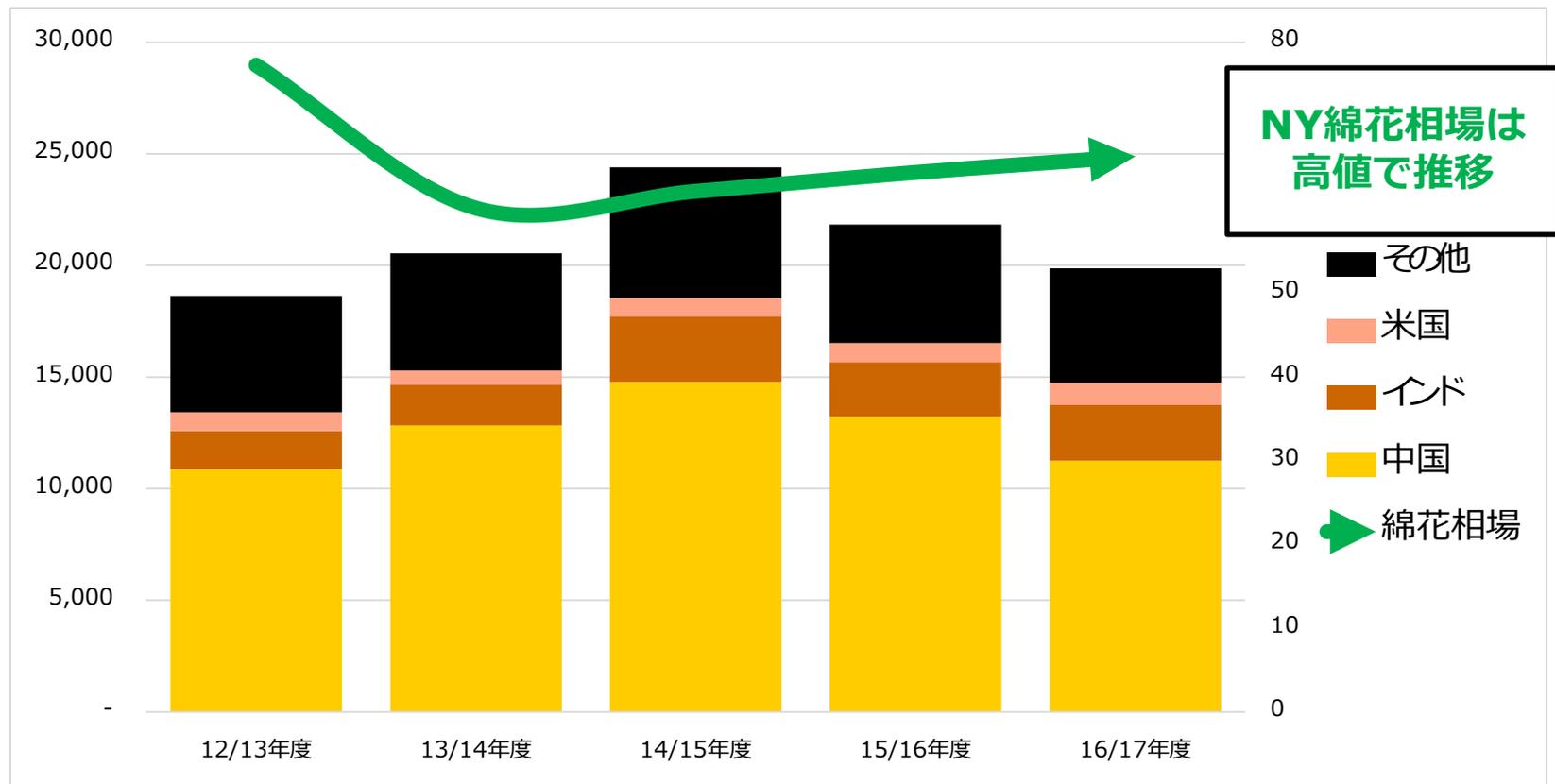
# 世界の綿花 消費量



米国農務省発表 単位：千トン

- 中国経済の鈍化とEUの景気低迷を背景にして、世界の綿糸や織布の市況は好転しなかった。

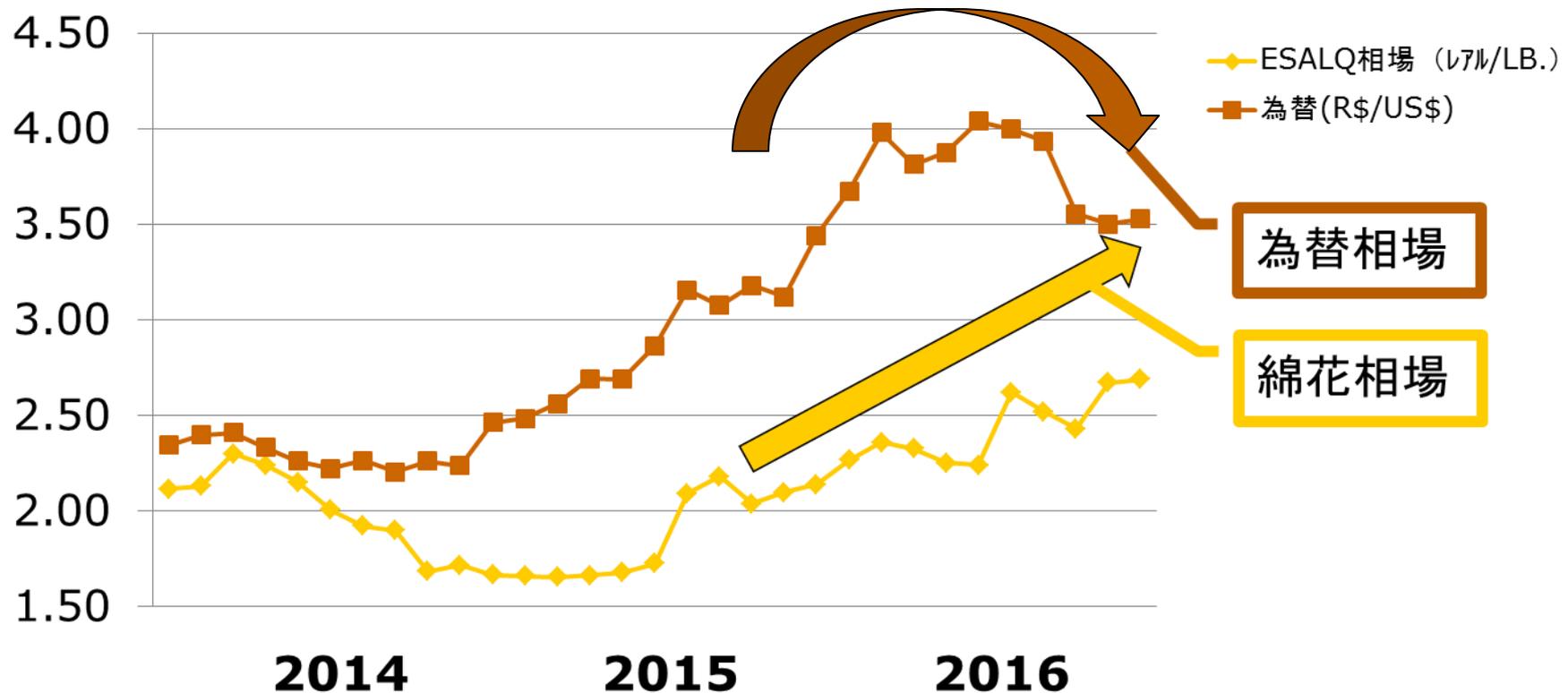
# 世界の綿花 在庫量とNY綿花相場



米国農務省発表 単位：千トン

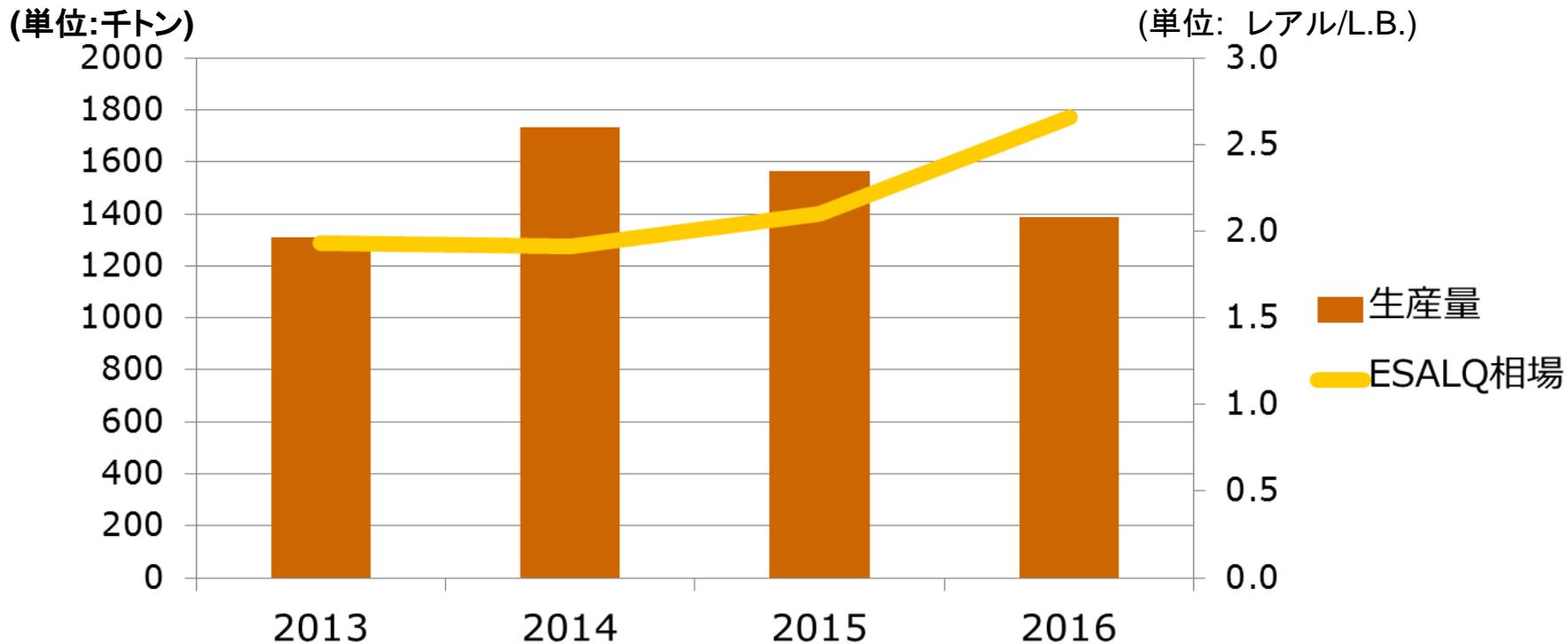
- 需給ポジションの緩和状態は続くが、投機マネーによりNY綿花相場は高値で推移。
- 年末に向けては沈静化すると予測するが、天候不順には要注意。

# ブラジルの綿花 為替相場と商品相場



- レアル安が進んだため綿花農家の輸出志向が強まり、綿花価格が高騰。
- 逆にレアル高になるとNY綿花相場に沿って価格を上げる。いいとこ取り。

# ブラジルの綿花 生産量と相場

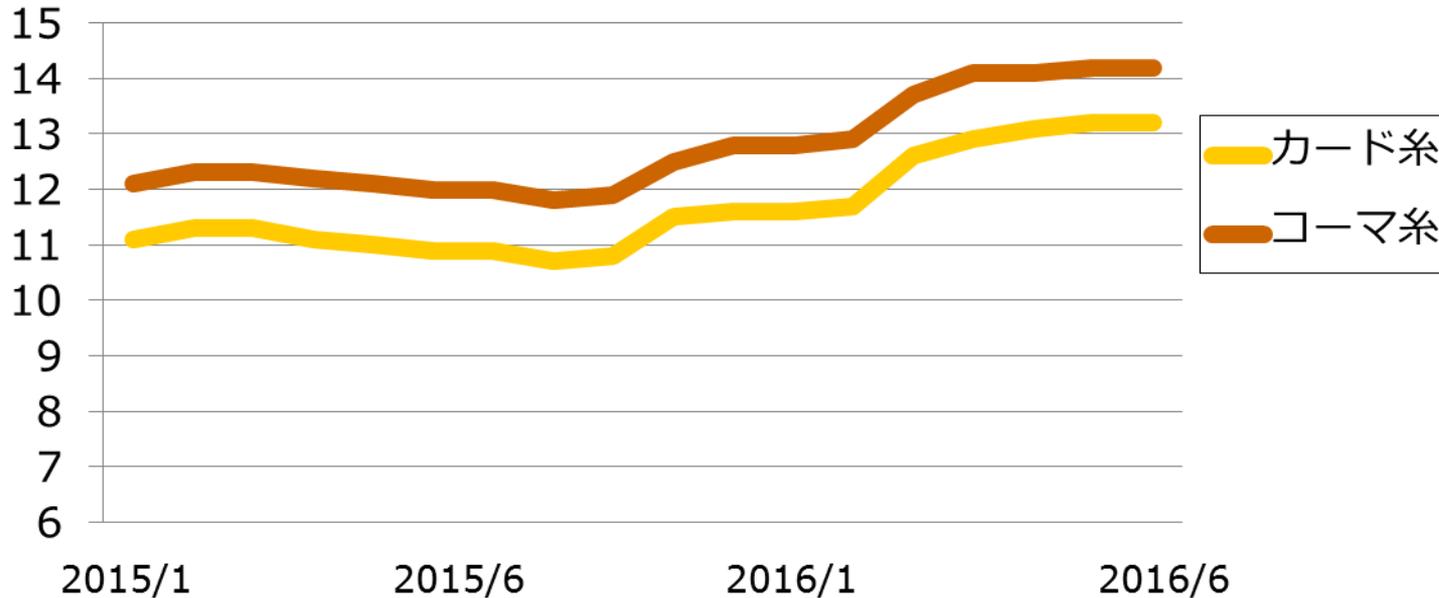


- 消費需要減で国内需給バランスが回復したが綿花価格は高止まり。
- 下期は降雨不足による生産量減少が予想されており、適正品質の綿花が減って価格の高騰が続く見込み。

# 国内の綿糸相場

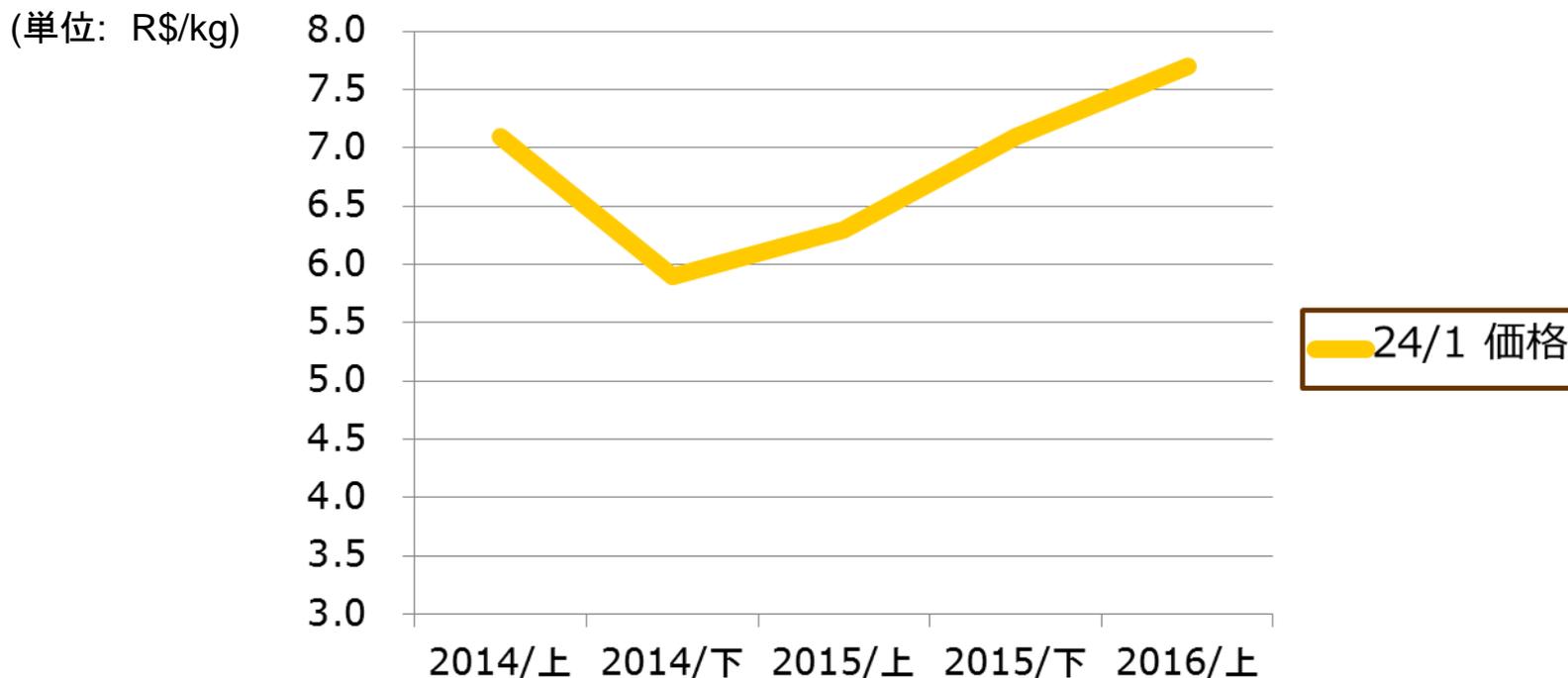


(単位: R\$/kg)



- 市況の悪化を受け、一部の日系、ブラジル紡績会社は減産を強いられた。
- ブラジル紡績(特に北伯)は高いコスト競争力を武器にフル生産、安値販売を続け、供給減でも相場価格は上がらなかった。

# オープンエンド系の相場



- (上) 好調: ニット用太番手糸、ニット用細番手糸、綿混糸、インディゴジーンズ  
不調: 産業繊維、装飾製品

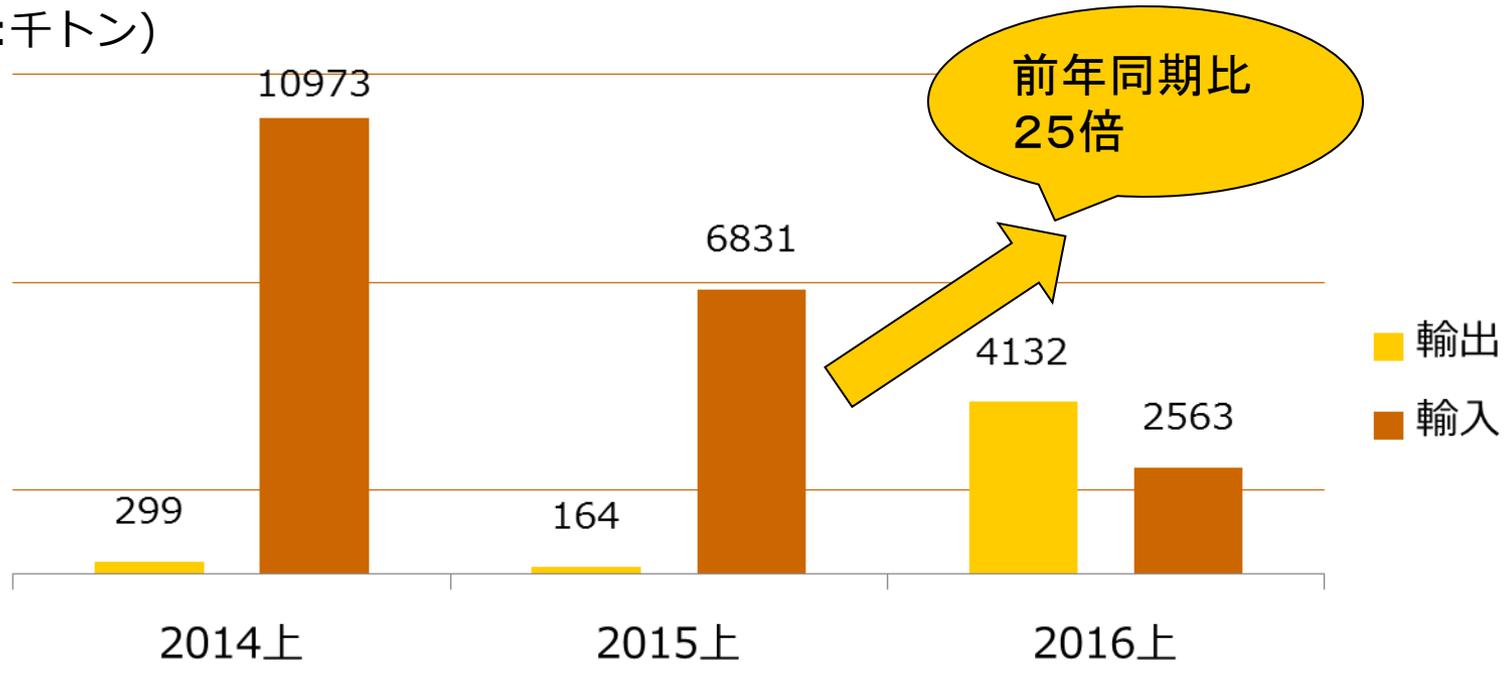
- (下) 上半期と同じ

好調の要因: 厳しい寒さが続いたことで、冬物ニット製品の需要が伸びた。

# 綿糸の輸出入



(単位:千トン)

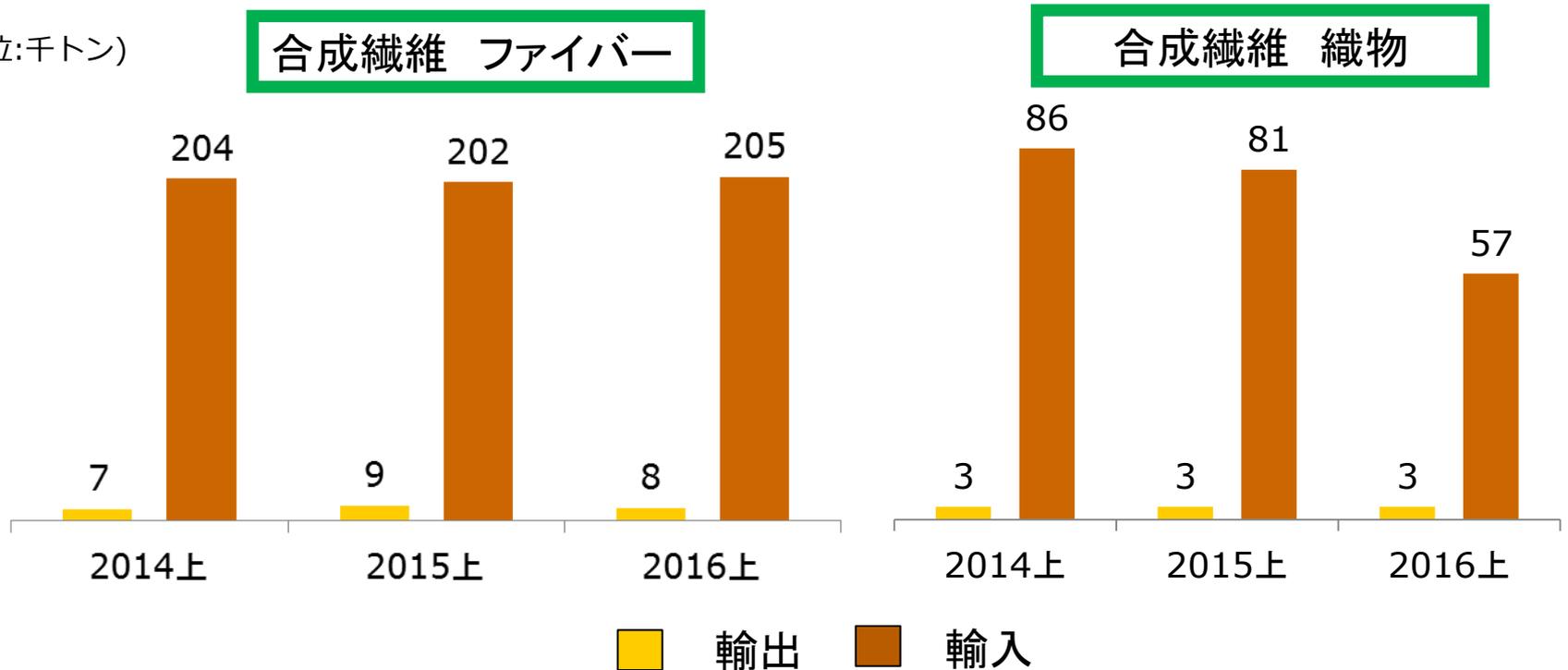


- (上)リアル安が進んだため、大手ブラジル紡績を中心にペルー・コロンビアなど南米向けの輸出が好転。逆に綿糸の輸入は半減した。
- (下)リアルの反発による採算悪化から、輸出にブレーキがかかるものの、一定量は継続すると見込む。輸入は需給バランスが改善されずに低位で推移する。

# 合成繊維の輸出入



(単位:千トン)

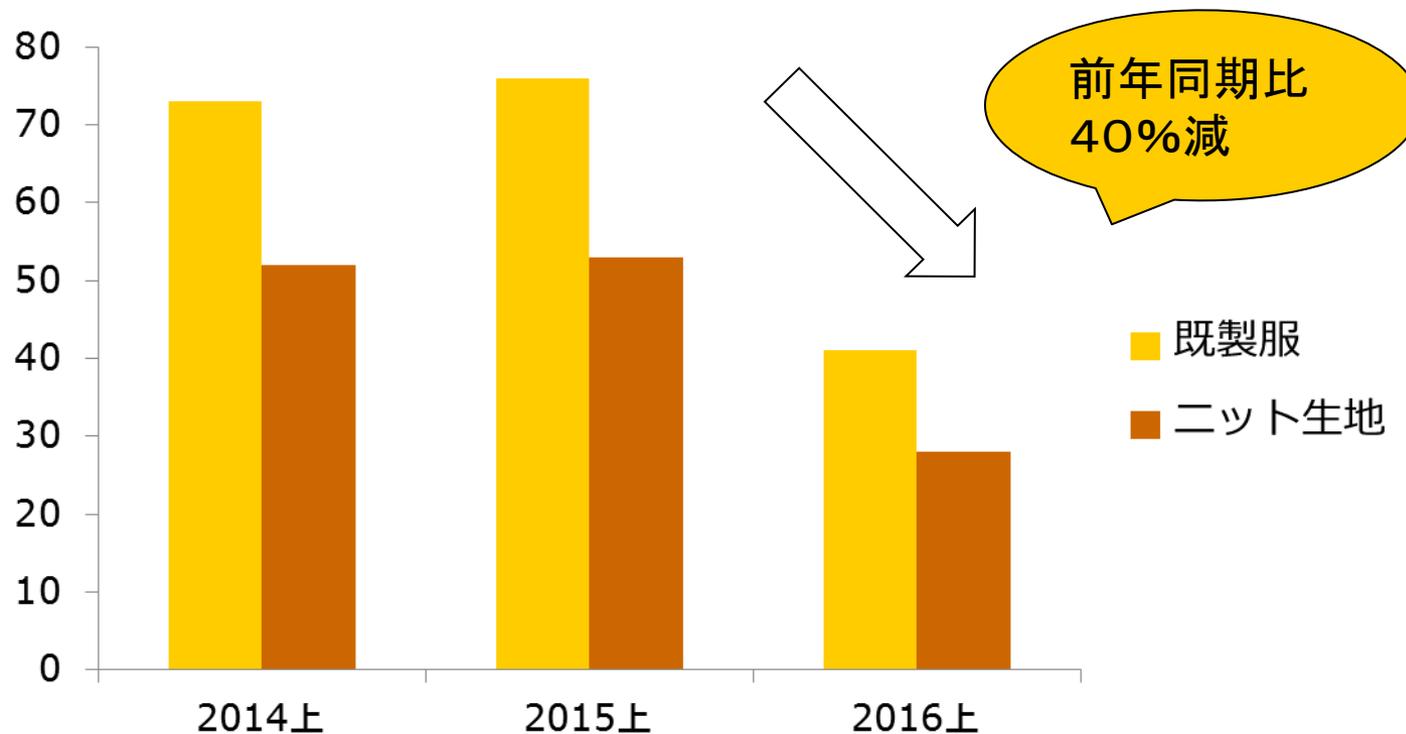


- 政争による混乱から経済政策が機能せず、市場が低迷を続けた。特に、企業向けユニフォームの需要は、業績の悪化により大幅に減少した。
- 下期は、ブラジル経済の回復の兆しにより、レアルの反発が予測されて、国外販売は上半期よりも困難となろう。

# ニット生地・既製服の輸入実績



(単位:千トン)

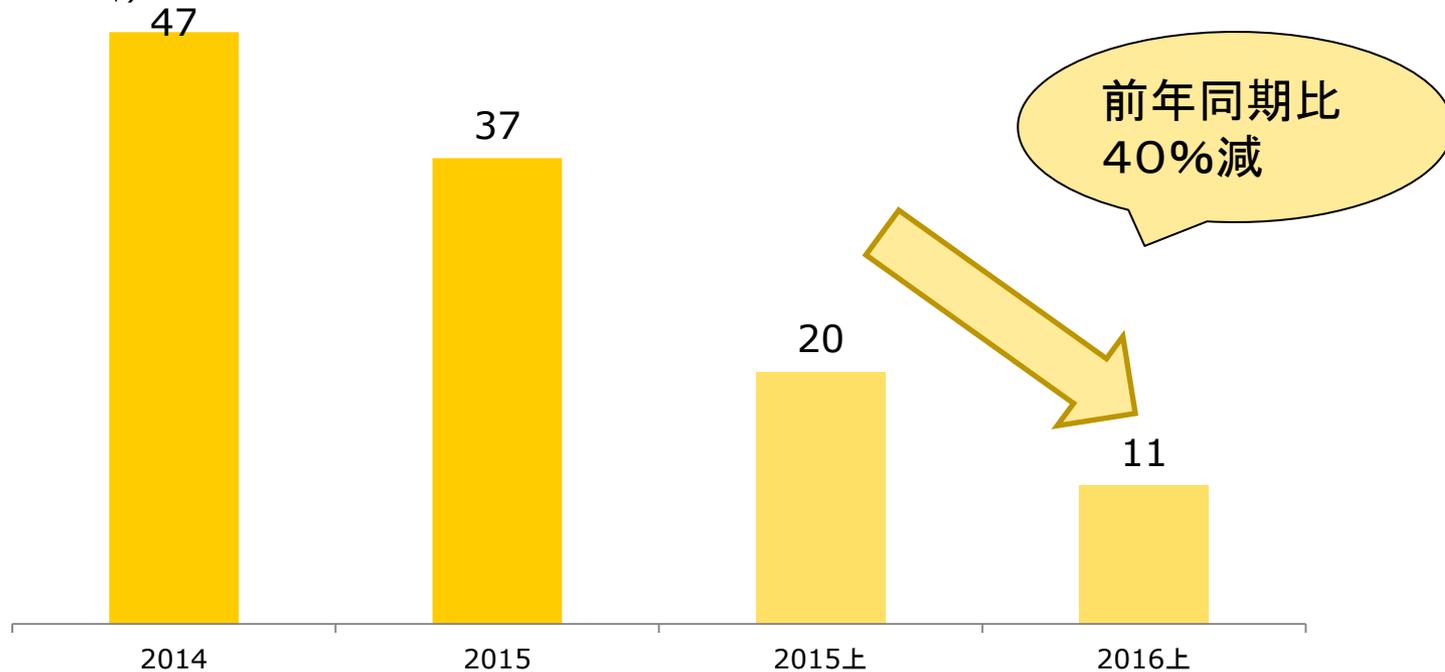


- 対前年同期比で、生地と既製服の輸入は40%以上減った。
- 小売業界は、軒並み売り上げがダウンし、チェーン店の店舗数が減った。小売店の売上が回復するまでは、厳しい状態が続く見込み。

# ファスナーの輸入実績



(単位:百万US\$)



- ブラジル全体の景気低迷が消費の低迷を招いて、各衣料品販売店の売上が不振。輸入衣料の減少と並行するファスナーの輸入も40%を超える減少。
- 再びリアル高となれば、輸入が増えて国内産業は苦しくなり、消費低迷が続くおそれがある。

# 目次

---

## 2016年上期 の回顧

- 綿花
- 綿糸
- OE糸・合織
- 生地・既製服
- ファスナー

## 下期の展望

- 世界の綿花需給
- レアル反発の影響
- 市況

## 副題

- 課題整理
- 提言

# 下期の展望

## 世界の綿花 需給

- 世界的にバランスは緩んでいるが、投機マネーの流入で綿花相場の下げは弱い。

## リアル反発 の影響

- 綿糸の輸出は、一定量が継続される。
- 縫製品の輸入が増えれば、糸と織物の売値が下落する。

## 市況

- 市況を好転させる材料は乏しい。
- 新しい市場づくりの準備期間。

## まとめ

- 本格的な回復は2017年以降。
- 損失を最小限に食い止めて春を待つ。

# 目次

---

## 2016年上期 の回顧

- 綿花
- 綿糸
- OE糸・合織
- 生地・既製服
- ファスナー

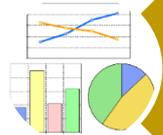
## 下期の展望

- 世界の綿花需給
- レアル反発の影響
- 市況

## 副題

- 課題整理
- 提言

# 課題整理



10年後を見据えた事業拡大のため、長期的な視野で地道にブラジル国内市場を開拓する。



信頼できる現地パートナーの探索と提携により、100%自前主義から脱する。



ブラジル独特の法制を理解し対応するべく現地企業として実地での経験を蓄積し、ブラジル化を深める。



糸だけでは出せない付加価値を衣料品トータルで表現し、国内不況に強い業態へと変わる。

# ブラジル政府への提言



## ブラジル工業の国際競争力強化

- 次に来る経済成長期を、競争力強化のチャンスに！



## 新政権による政治の安定

- 政治の安定が経済政策への信頼、信用回復の基礎



## ブラジルコストの改善

- 長期的な視野に立ち、経済成長の足かせを外す



## 海外技術導入への優遇支援

- ブラジルコストを回避できる特例や特区など新制度

---

Muito Obrigado  
ありがとうございました。

繊維部会

# 講評

在サンパウロ日本国総領事/  
ブラジル日本商工会議所名誉顧問

中前 隆博

Avaliação do  
Cônsul Geral do Japão em São Paulo/  
Conselheiro de Honra da  
Câmara de Com. e Ind. Japonesa do Brasil

Takahiro Nakamae

**コメント**

**在ブラジル日本国大使館**

**小林 和昭 参事官**

**Comentário do  
Conselheiro da Embaixada do Japão**

**Kazuaki Kobayashi**

閉会の辞  
大久保 敦 総務・企画委員長

**APRESENTADOR**

**Presidente da Comissão  
de Coordenação Geral/ Planejamento :**

**Atsushi Okubo**